

いしかわ型
復興住宅
モデル
プラン集

はじめに

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、石川県内の住家の被害は11万棟を超え、中でも能登6市町においては、全壊が約5,800棟、半壊が約16,000棟に上りました。

発災直後から県においては、住宅に関する災害対応として、1月4日から開始した被災建築物応急危険度判定に始まり、応急仮設住宅の整備や恒久住宅の確保に関する様々な支援について順次、取り組み、現在は、応急仮設住宅の整備が完了するなど、当面の仮の住まいが確保された状況となっています。

今後は、被災者の生活再建を図るためにも、恒久的な住まいを確保することが大きな課題であります。

「いしかわ21世紀住まいづくり協議会」では、石川県と連携し、被災された方々に具体的なイメージを持ち、再建意欲を高めていただけるよう、様々なライフステージに応じた「いしかわ型復興住宅」について、県内に拠点を置く住宅生産関係者に、これまでに培ったノウハウを活かしつつ、工夫を凝らしたプランを提案していただくこととしました。

この「いしかわ型復興住宅」については、『地域とつながる新たな能登暮らし』をテーマに、地震に強く、地域産材等を活用したコンパクトでコスト低減に配慮した住宅のプランを提案いただきました。

当プラン集は、様々な住宅プランの提案に加え、公的支援制度や住宅再建の資金計画・返済計画の立て方の紹介のほか、被災した住宅を改修によって再建する方々のための住宅耐震改修や宅地復旧に関する補助制度の紹介等も併せて掲載しています。

本協議会は、良質で、石川県にふさわしい住宅の供給に寄与することを目指すこととしております。

本プラン集が、被災された皆様の一日も早い住宅再建につながれば幸いです。

令和7年3月

いしかわ21世紀住まいづくり協議会

目次

I いしかわ型復興住宅モデルプランについて	3
II いしかわ型復興住宅モデルプランのご紹介	5
(モデルプラン集の見方の説明)	
モデルプランの提案事業者(グループ)について	7
単身・夫婦向けプラン	9
ファミリー向けプラン	65
III 住まいの再建に関する支援策のご紹介	119
IV 住宅再建時の資金計画や返済計画の立て方	125
V 令和6年能登半島地震 住宅耐震化・宅地復旧に関するご案内	136
VI 空き家の活用に関する情報	141
VII 県産材の活用支援に関する情報	142
VIII 参考・災害復興住宅融資のご案内	143

いしかわ型復興住宅やモデルプランの提案事業者に関するお問い合わせ先

各モデルプランについて	住宅建設に関する具体の相談については、各プランの提案事業者に直接お問合せください。 ※連絡先は、提案プランのシート左下に掲載しています。
支援制度について	P153に支援制度に関するお問い合わせ先を掲載しています。
融資制度について	住宅金融支援機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル） 0120-086-353
モデルプラン集について	いしかわ21世紀住まいづくり協議会 (事務局) 一般財団法人 石川県建築住宅センター 〒920-0968 石川県金沢市幸町12-1 石川県幸町庁舎 2 階 (代表) TEL : 076-262-6543 / FAX : 076-260-8475 URL : http://ikjc.jp/index.html E-mail : info@ikjc.jp

I いしかわ型復興住宅モデルプランについて

いしかわ型復興住宅とは

いしかわ型復興住宅は、『地域とつながる新たな能登暮らし』をテーマとし、子育て世帯から高齢者世帯まで顔の見える「コミュニティ」づくりや、能登らしい「景観」の形成、気候への配慮や県産材活用といった「地域特性」への対応など5つの要件に配慮した住宅となっています。

『5つの要件』

①コミュニティ

- 子育て世帯から高齢者世帯まで顔の見える開かれた住宅

②景観（まちなみ）

- 地域で形成される景観への配慮

③地域特性

- 気候（雪・雨）への配慮
- 県産材の積極的な活用

④住宅の基本性能

- 耐震性能の確保
- 環境負荷への配慮
- バリアフリーへの配慮

⑤コスト（費用）

- コンパクトでコスト低減に配慮

『5つの要件』について

①コミュニティ

- ・ 地域コミュニティを意識し、子育て世帯から高齢者世帯まで顔の見える開かれた住宅とする

②景観（まちなみ）

- ・ 伝統的な家並みが残る景観に配慮する
- ・ 各地域で形成される街並みや自然景観と調和を図るよう外観や色彩について配慮する

③地域特性

- ・ 雪や雨などが多いいしかわの気候特性に配慮する
（サンルームや除雪用具置き場などの検討）

④住宅の基本性能

- ・ 構造材や内装材等に県産材を積極的に使用する
- ・ 安心、安全に暮らせるよう耐震性能を確保する
- ・ 自然の風や光を取り込む工夫や深い軒の出を設け夏の日射を遮へいするなど環境負荷に配慮する

⑤コスト（費用）

- ・ 段差解消や玄関、トイレ、浴室等への手摺の設置などバリアフリーに配慮する
- ・ 住宅再建を考慮し、コンパクトな計画にするなどコスト低減に配慮する
（リビングアクセス型とするなど廊下を極力減らす）
（窓やドア等の建具等に規格品を採用する など）

住宅の基本性能について

住宅の基本性能については、「耐震性」や「省エネルギー性」など様々な住宅の性能を分かりやすく表示する「住宅性能表示制度」があります。

いしかわ型復興住宅では、「耐震性能の確保」「環境負荷への配慮」「バリアフリーへの配慮」の観点から、住宅性能表示基準による一定の「等級」基準を満たすことを求めています。

耐震性能の確保

耐震性能を確保するためには、柱と柱の間に斜めに入れる「筋かい」や構造用合板等の板状の「面材」を多く配置することにより構造体の強さを確保することが重要です。(耐震等級1～3)

いしかわ型復興住宅は、耐震等級2（建築基準法で想定する地震力の1.25倍の地震力に対する耐震性能）以上とすることを求めています。

環境負荷への配慮

環境負荷を低減するためには、冷房や暖房にかかる消費エネルギーを抑えるための断熱性能を向上させ、エネルギー消費量の少ない設備機器を採用するなど省エネルギー性能を向上させることが重要です。

断熱等性能等級 …「外壁、窓等を通しての熱の損失の防止を図るための断熱化等による対策の程度」を等級で表示したもの。(等級1～7)

一次エネルギー消費量等級…「断熱性能に加え、暖冷房、換気、給湯、照明などの設備の省エネ性能などを総合的に勘案して、「一次エネルギー消費量の削減のための対策程度」を等級で表示したもの。(等級1～6)

(建築物省エネ法により、2025年4月に、すべての新築住宅に「省エネ基準適合」が義務化され、断熱等性能等級4以上、一次エネルギー消費量等級4以上とする必要があります。)

いしかわ型復興住宅は、断熱等性能等級4以上、一次エネルギー消費量等級4以上とするとともに、自然の風や光を取り込む工夫などを求めています。

バリアフリーへの配慮

高齢者等の移動時の安全性の確保や介助のしやすさなどを考慮し、出入り口の段差解消や、玄関、トイレ、浴槽等への手摺の設置、廊下の幅や浴室・トイレの広さなどに配慮すること等が重要です。

いしかわ型復興住宅は、高齢者等配慮対策等級3程度とすることを求めています。

●住宅性能表示制度について、詳しくは次のホームページでご覧下さい。

・国土交通省

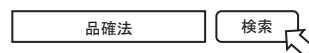
「住宅の品質確保の促進等に関する法律」

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000016.html

・一般社団法人 住宅性能評価・表示協会

「パンフレット 住宅性能表示制度」

<https://www.hyoukakyokai.or.jp/download/pamphlet.html>



Ⅱ いしかわ型復興住宅モデルプランのご紹介 (モデルプラン集の見方の説明)

ここでは、いしかわ21世紀住まいづくり協議会が提案する「いしかわ型復興住宅」のモデルプラン集の見方をご説明いたします。

- 各事業者(グループ)から提案いただいた各プランを見開き2頁のシートにまとめました。
- シートの作成にあたっては、各事業者(グループ)が提出した応募申請書の内容をほぼそのまま記載しておりますので、提案内容の詳細や実施現場における具体的な工事費用等は各事業者の連絡窓口にご確認ください。

- 提案事業者(グループ)の名称です

- モデルプラン(代表的事例)の基本的な諸元を紹介します。

- モデルプランの名称です

- モデルプランの特徴とメッセージの紹介です。

- 提案プランにおける、いしかわ型復興住宅5つの要件への対応・反映内容について紹介します

- 提案事業者(グループ)の代表者の連絡窓口を紹介します

B1 宏州建設株式会社

強くコンパクトでエコな住まいの3LDK

モデルプランの特徴とメッセージ

- ・地震に強く、耐震等級3(最高等級)の平屋建て
- ・南側に大きな開口で明るく、広いベンチでのんびり
- ・家事動線を短く、家事楽設計

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	52.99㎡(16.1坪)・平屋
標準工期	4ヶ月
設計	宏州建設株式会社
概算工事費	1,903万円(税込)
施工	宏州建設株式会社

主な外部仕上げ

屋根	和瓦
外壁	防火サイディング+アクリルリシン吹付
建具	アルミ建具(YKK330)

主な内部仕上げ

床	カラーフロー
壁	ビニールクロス
天井	ビニールクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査、地盤改良費、屋外電気工事、屋外給排水工事、エアコン、カーテン、家具、申請費用、登記費用

【いしかわ型復興住宅5つの要件】提案内容

① コミュニティ	南面に開口、広くゆったりとベンチで団らん
② 景観(まちなみ)	伝統的な黒瓦、外壁は街並みに調和した色彩
③ 地域特性	軒の出を深くし、大きな玄関庇、柱材に県産材
④ 住宅の基本性能	耐震等級3、断熱等級5、一次エネルギー消費等級6 エコな住まい、バリアフリー住宅
⑤ コスト(費用)	コンパクト設計でコスト低減 廊下をなくし床面積の低減によるコスト低減

施工者の基本情報(連絡窓口)

代表社名	宏州建設(株)	所在地	石川県金沢市駅西本町1丁目3番15号
代表者	山田 外志雄	担当者	山田 真大
電話番号	076-263-5355	E-mail	info@koshukensetsu.co.jp

ホームページ2次元コード


- 主な外部仕上げ、内部仕上げなどです

- グループの事業者のホームページにリンクします

- 平面図は室を各プラン統一して着色しています。
色分けは以下のとおりです。



- モデルプランの平面図や
パースなどを紹介します。

いしかわ型復興住宅 ファミリー向けプラン

平面図



立面図



内観パース



自由提案



外観パース



シートをみる際の注意点

- モデルプランの提案であり、敷地に
じた設計やご要望に応じた設計変更な
どについては、各事業者にご相談くだ
さい。
- 「いしかわ型復興住宅」では耐震等級な
どの住宅の基本性能の基準を定めてい
ます。設計打ち合わせの際に担当者に
耐震性能や省エネ性能などを確認して
ください。
(なお、第三者機関による住宅性能評価
書を取得する際は、所定の手続きが必
要です。)
- 概算工事費は、奥能登地域での建設を
想定した 建設工事費 (税込) を目安
として記載しています。敷地の位置や
建設時期などにより、変更となること
がありますので、詳しくは各事業者 (グ
ループ) の連絡窓口に確認してくださ
い。
「概算工事費に含まれない項目」につい
ては、各プランに記載の「概算工事費
に含まれない費用」を確認してくださ
い。

各プランシートの概算工事費は、
令和7年2月時点の情報です。
最新の価格 (一覧) は、県の
ホームページで公開しています。

モデルプランの提案事業者(グループ)について

今回のモデルプランに提案いただいた事業者(グループ)は、石川県内で住宅の設計・施工を行う事業者です。建設に関する対応に加え、住宅再建等についての相談や建設後の維持修繕まで対応します。
提案いただいた、30グループ、55プランについて掲載します。

A.【单身・夫婦向けプラン】 28プラン

	事業者(グループ)名称	モデルプラン名称	階数/延べ面積	概算工事費(税込)
1	トラスト住建株式会社	人との繋がりを感じる住まい	平屋/44.62㎡	1,712万円
2	みづほ工業株式会社	いしかわつどいの家	平屋/45.53㎡	1,485万円
3	宏州建設株式会社	強くコンパクトでエコな住まいの2LDK	平屋/45.54㎡	1,738万円
4	東急建設株式会社	可搬型木造建物「モクタスキューブ」で作る復興住宅	平屋/45.59㎡	2,420万円
5	株式会社 梶谷建設 +JBN(一社)石川県工務店協会	NOTO平屋の家	平屋/46.27㎡	1,600万円
6	ゆきわりそうの会	「繋ぐ」平屋	平屋/47.20㎡	1,900万円
7	ひまわりほーむグループ	平屋PLAN「和」15坪・断熱6・準耐火・耐震3	平屋/47.20㎡	1,760万円
8	のとの家づくりチーム： ほそ川建設+i Architects	土間のある家	平屋/47.35㎡	2,000万円
9	ニューハウス工業株式会社	軒下と出窓ベンチの家	平屋/47.40㎡	1,721万円
10	北陸リビング社	ホクリビモデル「やすらぎ」	平屋/47.52㎡	1,711万円
11	株式会社梶谷建設	KAJITANI平屋モデル	平屋/47.92㎡	1,600万円
12	沢野建設工房	いしかわ和らぐミニ	平屋/47.92㎡	1,800万円
13	駒沢建工/キャロットホーム	今と10年後を見据えた「のともらい型健康住宅」	平屋/48.85㎡	1,750万円
14	のとの家づくりチーム： ほそ川建設+松川秀幸建築設計事務所	夫婦世帯 横長敷地型	平屋/49.57㎡	2,000万円
15	チドリスタジオ+新協+岸田木材+中野	能登杉トラスの住宅(コンパクトタイプ)	平屋/49.60㎡	1,760万円
16	都市建設エンジニアリング・ 松本大建築設計事務所 共同体	のびやかな縁側のある住まい	平屋/49.68㎡	1,500万円
17	飛鳥住宅株式会社	陽だまりテラスのある住まい	平屋/49.68㎡	1,800万円
18	株式会社 クロダハウス	能登の豊かな自然と暮らす「終の棲家」コンパクトな平屋	平屋/49.68㎡	1,700万円
19	株式会社 ココ地建	畳リビングと縁側デッキのある平屋住宅	平屋/50.46㎡	1,870万円
20	しんきょうSTYLE	終(つい)の住処 平屋プラン	平屋/51.15㎡	1,980万円
21	株式会社 家元	景観配慮型 平屋建てフレキシブル住宅(15坪タイプ)	平屋/51.34㎡	1,939万円
22	沢野建設工房 +JBN(一社)石川県工務店協会	いしかわ和らぐバリアフリー	平屋/52.05㎡	2,000万円
23	芳賀沼製作+kyma	まちと連続する小さな住まい(平屋)	平屋/52.17㎡	1,837万円
24	株式会社 アントール	16坪 平屋プラン	平屋/53.00㎡	1,480万円
25	タマダ株式会社・株式会社ビーエムシー	CONNECTIA(コネクティア)	平屋/57.23㎡	1,650万円
26	さくらホームグループ 株式会社 AXSデザイン	cutto with(キュット ウイズ) 4018	平屋/58.24㎡	1,485万円
27	ひまわりほーむ	防災・高基礎平屋18坪	平屋/59.61㎡	1,921万円
28	ひまわりほーむ +JBN(一社)石川県工務店協会	JBN・平屋建物PLAN 20T断熱6・準耐火・耐震2以上	平屋/61.27㎡	1,873万円

部門別・延べ面積順（概算工事費は税込）
提案事業者の名簿は、P151にも掲載しています。

概算工事費は、令和7年2月時点の情報です。
最新の価格（一覧）は、県のホームページで公開しています。

B.【ファミリー向けプラン】 27プラン

	事業者（グループ）名称	モデルプラン名称	階数／延べ面積	概算工事費（税込）
1	宏州建設株式会社	強くコンパクトでエコな住まいの3LDK	平屋／52.99㎡	1,903万円
2	家元・坂茂建築設計グループ	DLT復興住宅	平屋／62.94㎡	2,760万円
3	株式会社 家元	景観配慮型 平屋建てフレキシブル住宅（20坪タイプ）	平屋／64.59㎡	2,521万円
4	北陸リビング社	ホクリビモデル「つどい」	平屋／65.12㎡	1,991万円
5	のとの家づくりチーム： ほそ川建設+i Architects	田の字の家	平屋／68.32㎡	2,500万円
6	チドリスタジオ+新協+岸田木材+中野	能登杉トラスの住宅（ファミリータイプ）	平屋／69.50㎡	2,200万円
7	タマダ株式会社・株式会社ビーエムシー	CONNECTIA（コネクティア）	平屋／71.74㎡	1,991万円
8	トラスト住建株式会社	コンパクトでも充実した暮らしができる住まい	平屋／71.89㎡	2,430万円
9	しんきょうSTYLE	終（つい）の住処 2階建てプラン	2階／73.23㎡	2,486万円
10	ニューハウス工業株式会社	大きな軒下のある平屋	平屋／76.28㎡	2,144万円
11	東急建設株式会社	可搬型木造建物「モクタスキューブ」で作る復興住宅	平屋／76.71㎡	3,630万円
12	ひまわりほーむ	耐震・省エネ高基礎平家25坪	平屋／77.84㎡	2,150万円
13	株式会社 クロダハウス	能登の豊かな自然を取り込む「家族が集う」センターリビングの家	平屋／78.25㎡	2,400万円
14	さくらホームグループ 株式会社 AXS デザイン	SHIFT（シフト）4524	平屋／78.66㎡	2,100万円
15	沢野建設工房 +JBN(一社)石川県工務店協会	いしかわ和らぐファミリー	2階／79.32㎡	2,500万円
16	株式会社 アントール	24坪 二階建てプラン	2階／79.48㎡	1,780万円
17	ひまわりほーむグループ	平屋PLAN「楽」・24坪 断熱6・準耐火・耐震3	平屋／80.32㎡	2,110万円
18	みづほ工業株式会社	いしかわ家族の彩り	平屋／80.71㎡	1,980万円
19	芳賀沼製作+kyma	まちと連続する小さな住まい（2階）	2階／86.12㎡	2,460万円
20	飛鳥住宅株式会社	LDKに勾配天井を設けた開放感のある住まい	2階／87.21㎡	2,650万円
21	ひまわりほーむ +JBN(一社)石川県工務店協会	JBN 2階建 27T・断熱6・準耐火・耐震2以上	2階／88.18㎡	2,000万円
22	株式会社 梶谷建設 +JBN(一社)石川県工務店協会	NOTO ファミリーの家	2階／90.88㎡	2,420万円
23	ゆきわりそうの会	「繋ぐ」2階屋	2階／93.57㎡	2,600万円
24	株式会社 梶谷建設	KAJITANI 能登モデル	2階／94.18㎡	2,420万円
25	のとの家づくりチーム： ほそ川建設+松川秀幸建築設計事務所	ファミリー世帯 横長敷地タイプ	2階／94.60㎡	2,500万円
26	駒沢建工／キャロットホーム	能登の自然や景観に調和した「のともらい型子育て住宅」	平屋／97.30㎡	2,500万円
27	ひまわりほーむグループ +JBN(一社)石川県工務店協会	耐震「最高等級3」省エネ「最高等級7」高基礎（積雪・水害）太陽光（5kw）	平屋／123.38㎡	3,326万円

人との繋がりを感じる住まい

モデルプランの特徴とメッセージ

ご友人、ご近所の方が自然と集まれるような空間を意識しました。

素足でも過ごせるよう畳敷きとし、寝転んだり、床に座って読書や新聞など穏やかに過ごすことができます。

外からご友人が遊びにいらっしゃるとリビングの窓を開けてベンチに座って談笑を楽しめます。農園スペースで育てた野菜をベンチを介してお裾分け、なんてことも。温かく会話が弾む住まいをご提案します。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 44.62㎡ (13.5坪)・平屋

標準工期 4～5ヶ月

設 計 トラスト住建株式会社

概算工事費 1,712万円 (税込)

施 工 トラスト住建株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

リビングと行き来できるようにベンチを設け、立ち話しなど自然と集まれるようなスペースとしました。

② 景観 (まちなみ)

瓦屋根が主流としている住宅が多くあり、一体感を出すため、平板瓦を屋根素材としました。

③ 地域特性

雨や雪など天候に左右されることが多いため、玄関や物干しスペースには屋根を設け、洗濯物が濡れないようにしました。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2相当。断熱材にはアイシネン（吹付けウレタン断熱材）、樹脂サッシを使用し、気密測定を現場ごと行うなど、断熱性能も確保した暖かい住まいとしました。

⑤ コスト (費用)

窓や建具など規格品を採用。廊下などの移動だけの部分をなくし、無駄のないシンプルなデザインとしました。

主な外部仕上げ

屋根 平板瓦

外壁 防火サイディング 塗装品

建具 断熱樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 畳、フローリング

壁 クロス

天井 クロス

概算工事費に含まれない費用

外構工事、カーテン、空調設備、家具家電、地盤工事、これらに係る諸経費

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 トラスト住建(株)

所在地 石川県金沢市西金沢4丁目126番地4

代 表 者 中村 健

担当者 薮 昭彦

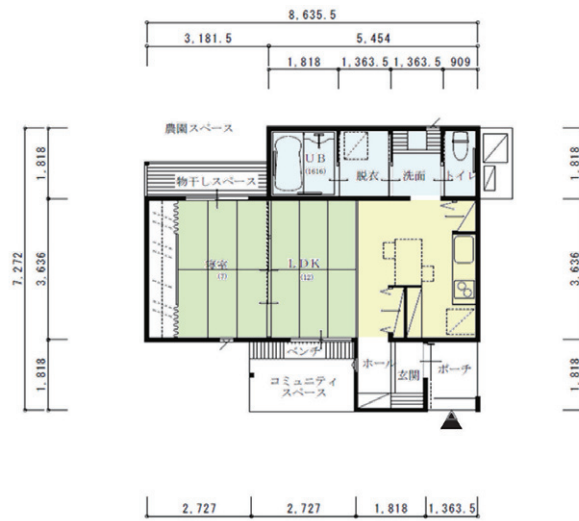
電話番号 076-240-3001

E-mail home@trust-jk.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



自由提案



外観パース



いしかわつどいの家

モデルプランの特徴とメッセージ

景観を意識した外観、地域の方とのつながりを意識した間取りから『つどいの家』と名付けました。

地域のつながりを大切に、助け合い、協力しながら復興していくようお願いを込めました。

また、安心して生活していただけるよう耐震等級3など住宅の性能も充実しています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 45.53㎡ (13.8坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設 計 みづほ工業株式会社

概算工事費 1,485万円 (税込)

施 工 みづほ工業株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

地域の方とのコミュニケーションを図るため、軒下に広い縁側を設けLDKから外へのつながり誘導するような間取りにしました。

② 景観 (まちなみ)

屋根は瓦(黒)、外壁は一部杉板張りとし、伝統的な街並みが残る地域でも馴染むように配慮しました。

③ 地域特性

雪が多い地域のためポーチ横の軒下スペースを広く取り除雪道具などを置いておけるスペースを確保しました。また石川県の気候を考慮し洗面脱衣室内にサンルームスペースを設けました。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3
断熱等級4
高齢者等配慮対策等級3

⑤ コスト (費用)

コスト低減に配慮した住宅とするため、規格品サイズのサッシを採用し、また床面積を減らすためLDKから直接洗面脱衣に入るなど廊下を最小限にする間取りとなるように意識しました。

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 サイディング・杉板張り

建具 既製品

主な内部仕上げ

床 フローリング・CF

壁 クロス

天井 クロス

概算工事費に含まれない費用

- ・屋外電気工事
- ・屋外給排水工事
- ・地盤補強工事
- ・外構工事
- ・エアコン
- ・カーテン
- ・家具工事
- ・家電
- ・登記に要する費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 みづほ工業(株)

所在地 石川県金沢市八日市5丁目562番地

代表者 梅谷 基樹

担当者 松田 竜紀

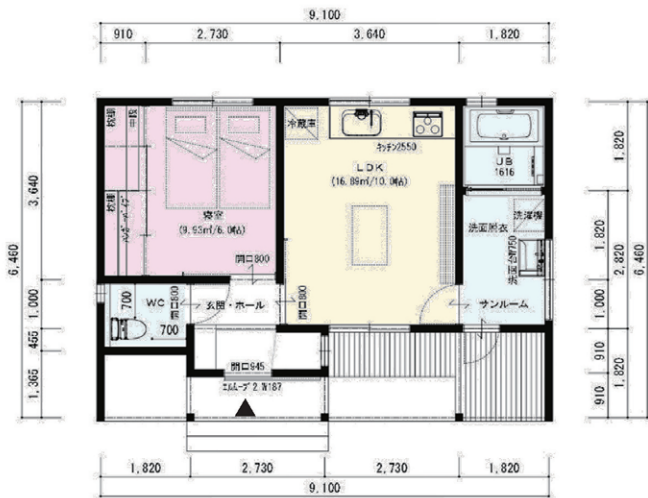
電話番号 076-240-7010

E-mail info@mizuho-ie.com

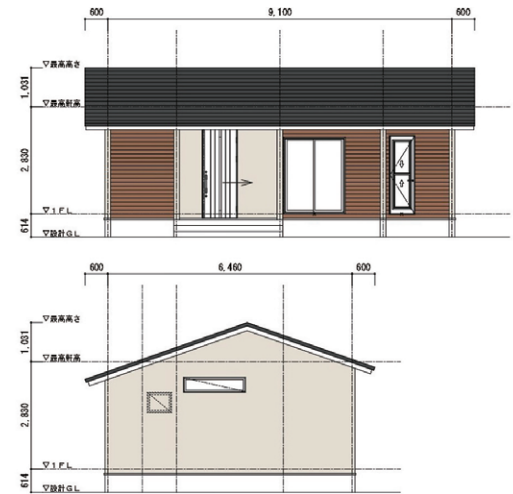
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



強くコンパクトでエコな住まいの2LDK

モデルプランの特徴とメッセージ

- ・地震に強く、耐震等級3（最高等級）の平屋建て
- ・南側に大きな開口で明るく、広いベンチでのんびり
- ・家事動線を短く、家事楽設計

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	45.54㎡（13.8坪）・平屋
標準工期	4ヶ月
設計	宏州建設株式会社
概算工事費	1,738万円（税込）
施工	宏州建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

- ① **コミュニティ** 南面に開口、広くゆったりとベンチで囲らん
- ② **景観（まちなみ）** 伝統的な黒瓦、外壁は街並みに調和した色彩
- ③ **地域特性** 軒の出を深くし、大きな玄関庇、柱材に県産材
- ④ **住宅の基本性能** 耐震等級3、断熱等級5、一次エネルギー消費等級6
エコな住まい、バリアフリー住宅
- ⑤ **コスト（費用）** コンパクト設計でコスト低減
廊下をなくし床面積の低減によるコスト低減

主な外部仕上げ

屋根	和瓦
外壁	防火サイディング+アクリルリシン吹付
建具	アルミ建具（YKK330）

主な内部仕上げ

床	カラーフロア
壁	ビニールクロス
天井	ビニールクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査、地盤改良費、屋外電気工事、屋外給排水工事、エアコン、カーテン、家具、申請費用、登記費用

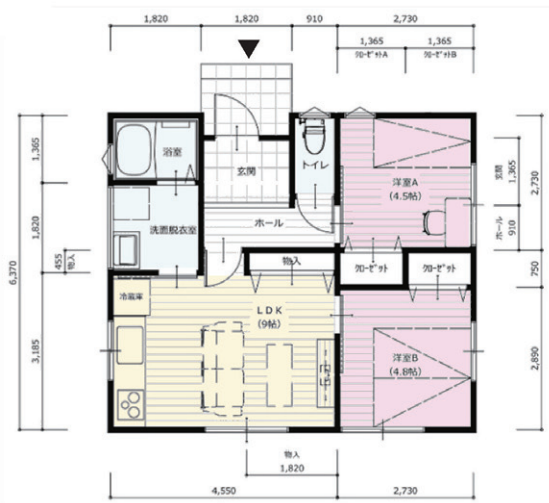
施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名	宏州建設(株)	所在地	石川県金沢市駅西本町1丁目3番15号
代表者	山田 外志雄	担当者	山田 真大
電話番号	076-263-5355	E-mail	info@koshukensetsu.co.jp

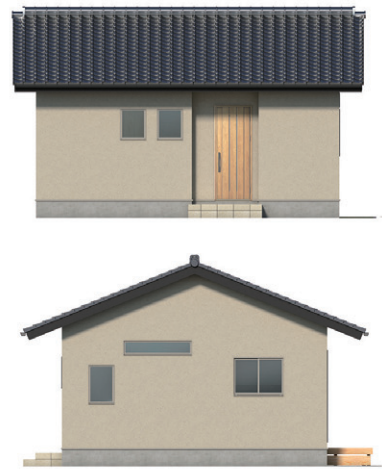
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



自由提案



外観パース



可搬型木造建物「モクタスキューブ」で作る復興住宅

モデルプランの特徴とメッセージ

当社が開発した可搬型木造建物「モクタスキューブ」を使った45㎡タイプの住宅です。

水回りまでセットした木造ユニット（1ユニット15㎡）を工場生産し、現地まで運搬して連結・設置するため、現地での工事工程が少なく、短い工期での完成が可能です。

コンパクトで整形な、使い勝手の良い住宅です。
「モクタスキューブ」は能登半島地震において、復興支援者用宿舎や輪島塗工房として採用して頂きました。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 45.59㎡（13.8坪）・平屋

標準工期 約3ヶ月

設計 向設計合同会社

概算工事費 2,420万円（税込）

施工 東急建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

住人と近隣のお互いの顔が見える開かれた住宅を目指し、リビング・ダイニングには掃き出し窓を2か所設け、地域とのコミュニケーションを生むプランとしています。屋外に開いた明るく開放的な空間です。

② 景観 (まちなみ)

外壁には落ち着いた色味の木目調の金属サイディングを使用し、地域や街並みを問わず、景観に馴染む外観としています。

③ 地域特性

内装には木材を多く使用することで、木の温もりが感じられる空間としています。オプションにて県産材を使用することも可能です。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3、断熱等級4（Ua値0.6以下）を確保しています。
また、高齢者等配慮対策等級3を満たしたバリアフリーに配慮した計画としています。

⑤ コスト (費用)

ユニットを工場生産する為、現地での工事費用を抑えることができます。また、住宅設備や開口部のサッシは規格品を採用することでコスト低減を図ります。
※現在の概算工事費は遠方より施工者を派遣する想定費用となっており、地元業者にて現地工事が可能な場合、費用は下がることが想定できます。

主な外部仕上げ

屋根 金属折版屋根

外壁 金属サイディング

建具 アルミ樹脂複合サッシ
(Low-e 複層ガラス)

主な内部仕上げ

床 天然木フローリング

壁 ビニルクロス（腰壁部：シナ合板）

天井 シナ合板

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、屋外電気工事費、外構工事費、植栽工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、可動式家具、諸手続き費用、登記費用

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 東急建設(株)

所在地 東京都渋谷区渋谷1-16-14

ホームページ2次元コード

代表者 寺田 光宏

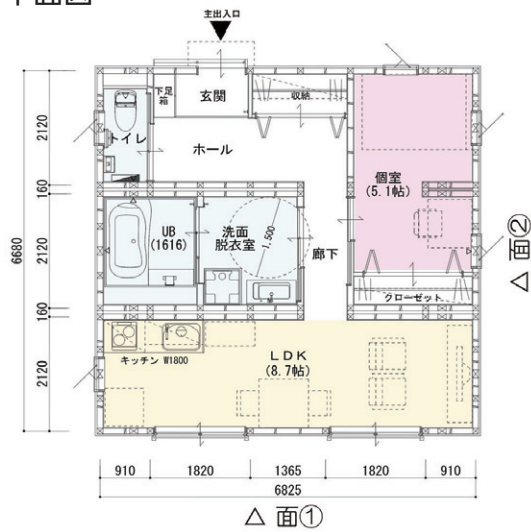
担当者 価値創造推進室 イノベーション推進部/熊本 桂

電話番号 03-5466-5077 (価値創造推進室)

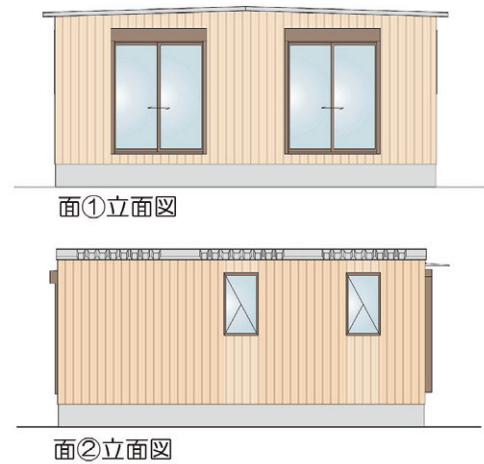
E-mail a0113011@tokyu-cnst.co.jp



平面図



立面図



内観パース



LDKより屋外を望む

自由提案

【モクタスキューブの特徴】



工場で建物を製作



トラックで運搬



現地で施工した基礎に
運んできた建物を設置



これにより、短い工期
での完成が可能です。



外観パース



※ウッドデッキを含む外構、植栽は別途工事になります。

NOTO平屋の家

モデルプランの特徴とメッセージ

シンプルで使いやすい間取りとなっています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 46.27㎡ (14.0坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設 計 梶谷建設建築設計事務所

概算工事費 1,600万円(税込)

施 工 JBN(一社)石川県工務店協会

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

玄関ポーチにベンチや、リビングの窓外にデッキを置くことが出来、ご近所の方と井戸端会議などコミュニケーションをとって頂けます。

② 景観 (まちなみ)

黒瓦とポーチに取り付けた木格子で能登らしさのある外観となっています。

③ 地域特性

玄関の出入りに屋根の雪が落ちて来ないように屋根の形状に気を付けています。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2
断熱等級5
一次エネルギー消費量等級6
バリアフリー

⑤ コスト (費用)

被災者の住宅再建の応援としてコンパクトでコスト低減に配慮した住宅となっています。

主な外部仕上げ

屋根 和瓦葺き(4寸勾配)

外壁 防火サイディングの上弾性リシン吹付

建具 樹脂サッシ(ペアガラス)

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、
地盤補強工事、外構工事、エアコン、
カーテン、家具工事、登記に要する費用

施工者の基本情報(連絡窓口)

代表社名 (株)梶谷建設

所在地 石川県小松市軽海町ツ82番地1

代表者 梶谷 寛

担当者 多田 由香

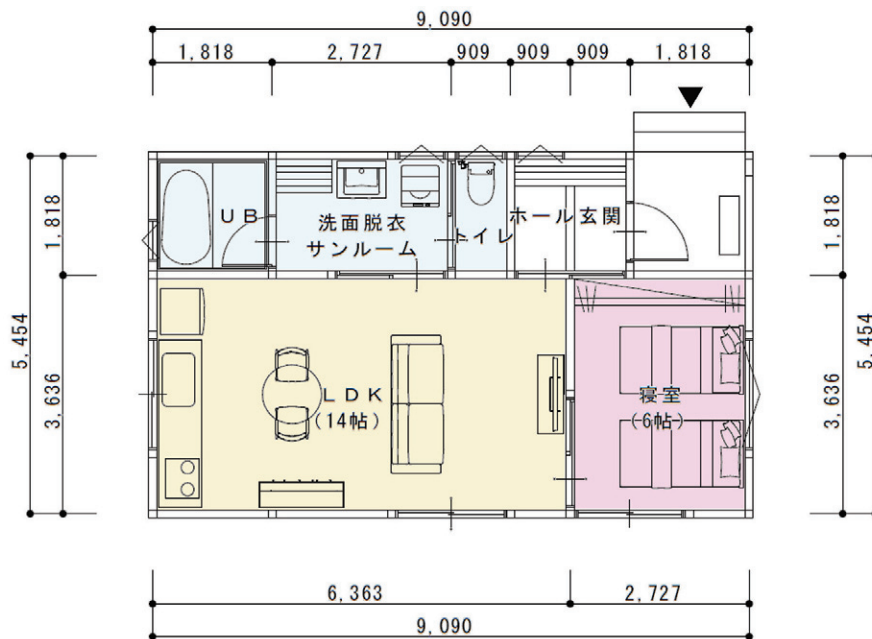
電話番号 0761-47-3311

E-mail kazitani1848@kajic.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



単身・夫婦向けプラン

立面図

立面図



外観パース



「繋ぐ」 平屋

モデルプランの特徴とメッセージ

地元にとどまる単身、二人暮らしを想定しました。
これまでのコミュニティはそのままでも、コミュニケーションのとり方は変化せざるを得ないと思われるので、時間の流れに即したプランです。
外部スロープとウッドデッキは別途工事で、必要になった時に取り付け可能としました。屋根はメンテナンスがしやすい瓦、外壁は県産材の下見板張り及びサイディング張りとししました。
女性建築士たちが仲間で集まり、暮らしやすさ、地域や人、希望や将来・・・いろいろなものへの繋がりを考えたプランです。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	47.20㎡ (14.3坪)・平屋
標準工期	着工後4ヶ月
設計	アーチェス一級建築士事務所/ 設計室タイム 一繪デザイン建築事務所/ ことり設計舎
概算工事費	1,900万円 (税込)
施工	有限会社 サカガミ 有限会社 角谷建設

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

地域の方が行き交う道から見えやすい場所に掃き出し窓を配置し、そこを経由してリビングにいる住人とコミュニケーションをとりやすくなるよう動線を考えました。リビングの中にキッチンを取り込み、住人と訪ねてこられた方が話しやすいようにしました。

② 景観 (まちなみ)

自然豊かな地域の景観に配慮し、屋根は黒瓦、外壁は県産材の杉を下見板張りし、塗装で仕上げました。

③ 地域特性

除雪の為に道具や工具など収納する外部収納を設け、天候の悪い土地柄を考慮し、ウッドデッキやサンルームを別途で計画できます。

④ 住宅の基本性能

耐震等級は2の基準にし住宅の強度を高めました。省エネについては、断熱等性能等級は6かつ一次エネルギー消費量等級6で計画しました。バリアフリーに関しては、高齢者等配慮対策等級3にそって考えました。

⑤ コスト (費用)

コンパクトでシンプルなプランづくりに心掛けました。

主な外部仕上げ

屋根	日本瓦葺き (黒瓦) 4.5寸勾配
外壁	石川県産杉下見板張り塗装仕上 窯業系サイディング塗装板
建具	樹脂サッシュ (複層ガラス)

主な内部仕上げ

床	木質系フローアー張り
壁	クロス貼
天井	クロス貼

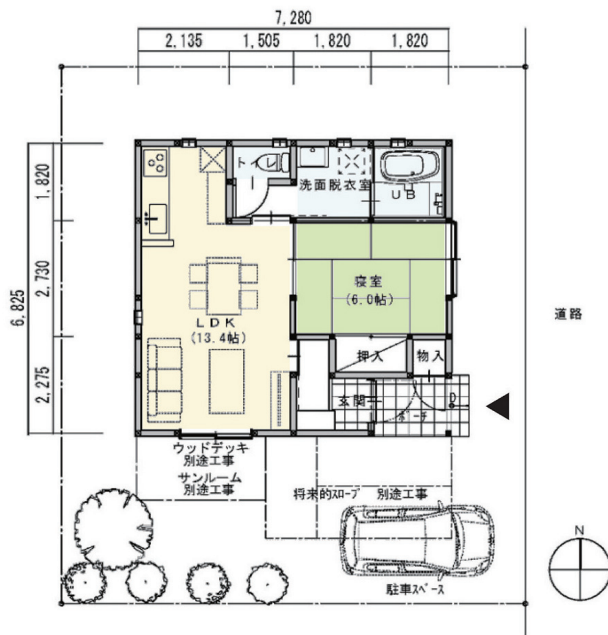
概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、地盤補強費、外構工事、エアコン工事、家具工事、カーテン・ブラインド工事、外部スロープ、ウッドデッキ、サンルーム、登記に関する費用、諸手続きに関する費用

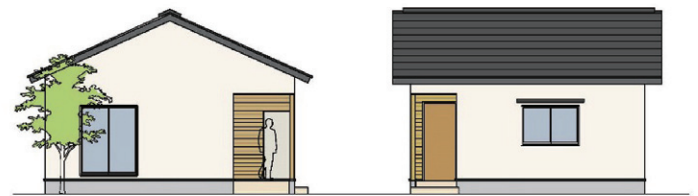
施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名	(有)サカガミ	所在地	石川県野々市市新庄2丁目228-1
代表者	坂上 ゆかり	担当者	坂上 ゆかり
電話番号	076-248-1818	E-mail	skgm1818@hop.ocn.ne.jp

平面図



立面図



単身・夫婦向けプラン

内観パース



自由提案



外観パース



平屋PLAN「和」15坪・断熱6・準耐火・耐震3

モデルプランの特徴とメッセージ

土間は昔ながらの日本の住宅において重要な役割を果たしてきました。

外と内を緩やかにつなぐこの空間は、靴を脱ぐスペースや趣味の道具を置く場所としてだけでなく、家族や友人ご近所さんとの交流の場としても活用できます。

震災で失われた能登ならではの在所コミュニティを残していきたい・・・。

そんな願いを込めた復興プランです。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 47.20㎡ (14.3坪)・平屋

標準工期 4～5ヶ月

設計 株式会社ひまわりほーむ
設計室石川

概算工事費 1,760万円 (税込)

施工 ひまわりほーむグループ
(ひまわりほーむ、イノベーションジャパン)

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

土間と昔ながらの縁側を思い出させるウッドデッキを活用して季節を感じる工夫を取り入れています。この空間があることでご近所や友人が遊びに来て落ち着いて会話を愉しむことができます。田畑のことや家族の話題などを地域の人たちと話すことで以前の地域を復活させることができます。

② 景観 (まちなみ)

平屋は建物の高さが揃いやすく、統一感のある美しい景観を形成します。家の前には緑豊かな植栽や花を植えることでまちなみに活気が生まれます。また、ウッドデッキ（縁側）を設けることで古き良き建物になります。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、和室の窓際には物干しができるスペースがあります。晴れた日はウッドデッキで洗濯物も干すことができます。

④ 住宅の 基本性能

住宅性能表示
構造等級3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3・
省エネルギー断熱等級6/7
一次エネルギー等級7/7

⑤ コスト (費用)

シンプルな形にすることで建物全体の構造費用が抑えることができます。また、工期短縮を目指すためにメーカーと交渉し能登復興プラン仕様を作成。ただし、耐震等級3と断熱等級6以上は必須とした建物となっています。

主な外部仕上げ

屋根 瓦または板金

外壁 塗装版サイディング

建具 外部：樹脂サッシトリプルガラス
内部：既製品建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア

壁 クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良
電気引込ポール、家具工事
屋外給排水工事、カーテン工事
エアコン工事、申請費用、登記費用
諸手続き費用

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 (株)ひまわりほーむ 所在地 石川県金沢市新保本4丁目66-6

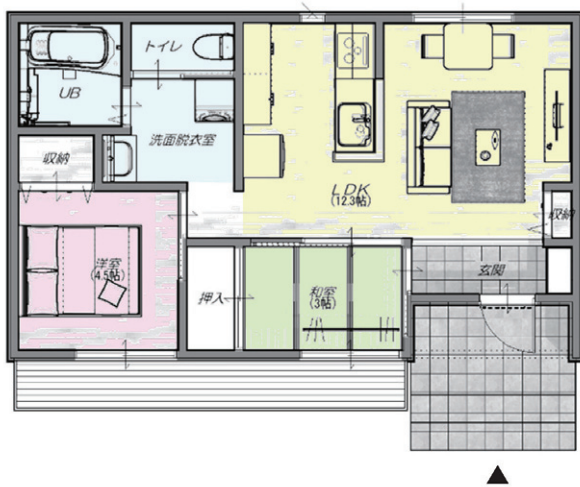
代表者 加葉田 和夫 担当者 池腰 正隆

電話番号 076-269-8103 E-mail contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



ひまわりほーむ
安心の住宅性能

耐震等級3
(最高等級)

地盤保証はもちろん
液状化検査つき

省令準耐火

火災の延焼を遅らせる
省令準耐火仕様
火災・地震保険も割引

断熱等級6^{以上}

暖房光熱費削減ZEH仕様
さらに太陽光発電で
家計を手助け

A8 のとの家づくりチーム： ほそ川建設+i Architects

土間のある家

モデルプランの特徴とメッセージ

土間のセミパブリックゾーンがあることで、プライバシーが守られるような計画としました。
また仲のいい近所さんと世間話をしたり、プライベートな時間を過ごしたりといろんな活用ができる場とすることができます。
軒も大きく出してあるため、開口を開け放せば軒下と一体で空間を利用することも可能です。
内部建具は視線は通さず、柔らかい光を通す障子とすることで空間同士を仕切ったり繋いだりと自由に対応できます。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 47.35㎡ (14.3坪)・平屋

標準工期 6ヶ月

設計 一級建築士事務所 i Architects

概算工事費 2,000万円 (税込)

施工 ほそ川建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

土間や大きい軒下空間を設けることで、近隣の方と一緒にお茶したり、おしゃべりしたりと可能性をもせてる計画としました。また大きな開口とすることで外を伺い、気になったりすることで自発的なコミュニケーションを誘発できます。

② 景観 (まちなみ)

景観形成重点地区にも計画できるよう、屋根には伝統的な黒瓦、外壁には押縁下見板張りすることで伝統的な景観を継承する配慮としています。

③ 地域特性

軒の出を大きく取ることによって雨や雪を気にすることなく半屋外空間として活用できます。土間空間もまた日常生活においてサンルームや除雪に必要な物品の置場としても活用できます。構造材は県産材を使用した外壁材とします。

④ 住宅の 基本性能

安心安全に配慮し耐震等級2以上とすることや断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6(ZEH基準)とする計画も可能です。土間と諸室の段差は可能な限り低く抑えバリアフリーに配慮しています。

⑤ コスト (費用)

廊下のない計画とすることで可能な限り全体をコンパクト化し、内部においては収納になりうる箇所にも建具を設けず、居住後に居住者にてカーテン等で目隠しをしてもらうことでコストを抑える計画としています。

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 押縁下見板張り (杉)

建具 障子、フラッシュ

主な内部仕上げ

床 フローリング

壁 不燃クロス

天井 不燃クロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、諸手続き費用、登記費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 ほそ川建設(株)

所在地 石川県金沢市示野町西3番地

代表者 細川 顕司

担当者 佐々木 伊織

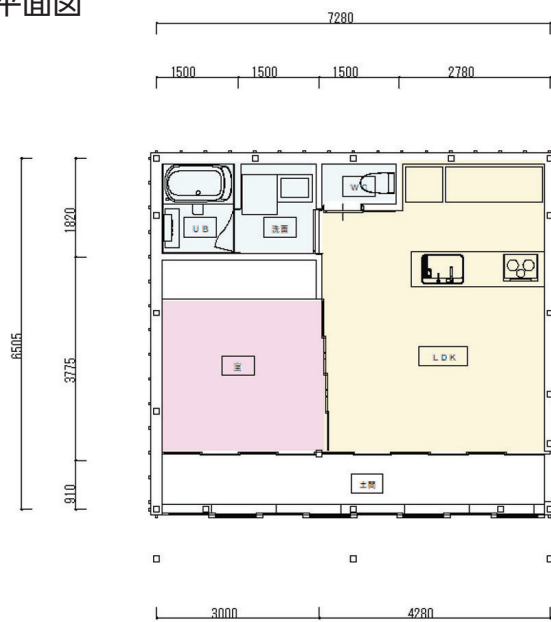
電話番号 076-267-8008

E-mail info@hosokawakensetsu.co.jp

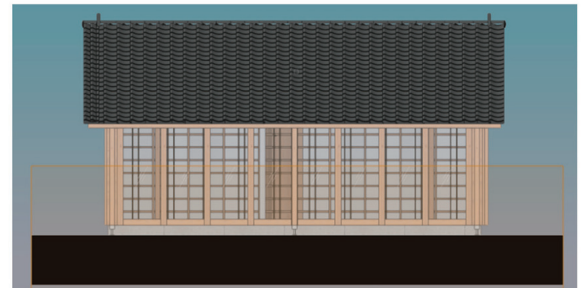
ホームページ2次元コード



平面図



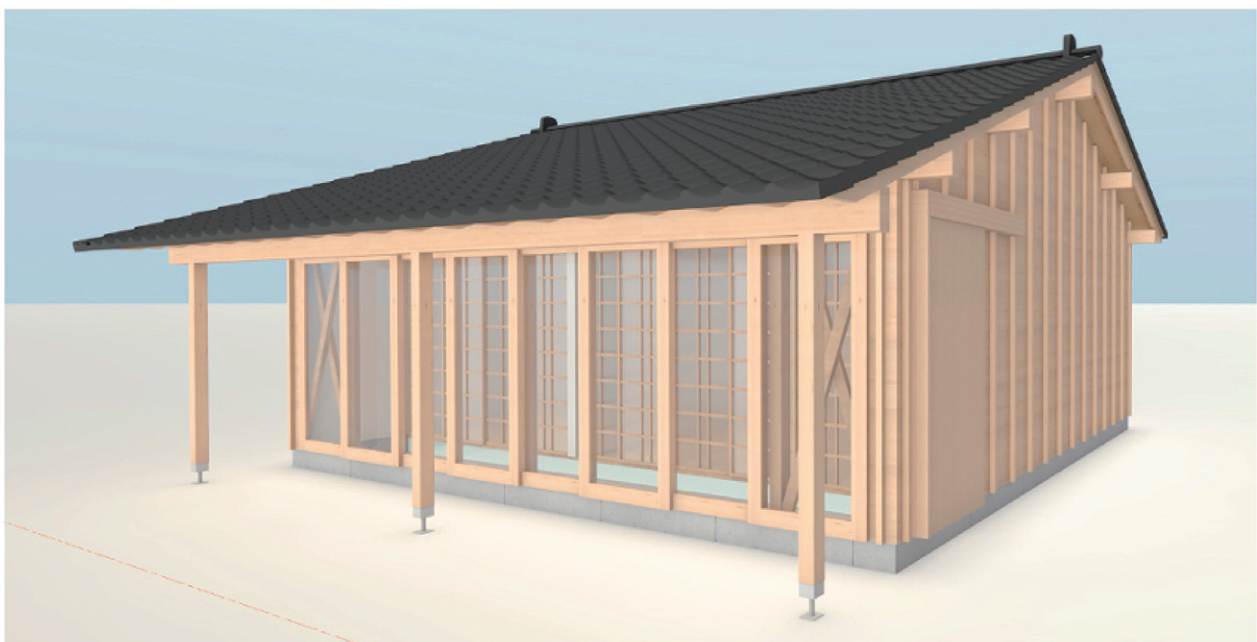
立面図



内観パース



外観パース



軒下と出窓ベンチの家

モデルプランの特徴とメッセージ

伝統的な建築様式である「通り庇」を思わせる深い軒下空間はリビング・ダイニングからつながります。

天気の良い日は家族や気の合う友人とお昼ごはんやおしゃべりを楽しんだり、前に広がる家庭菜園で収穫した野菜を広げて一服のお茶を楽しんだり、楽しみがいっぱいです。

室内ではリビングに設けた窓際のベンチに腰掛ければ、四季の移ろいを感じながら読書や家族や友人との会話が楽しめます。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 47.40㎡ (14.4坪)・平屋

標準工期 約3ヶ月 (基礎着工～完成)

設計 ニューハウス工業株式会社

概算工事費 1,721万円 (税込)

施工 ニューハウス工業株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

リビング・ダイニングを表の通りに向けて配置すれば、内と外の間に大きな軒下空間を設けたことで地域とのつながりが一層深まります。深い軒は雨除けとしてや夏の強い日差しからも守ってくれますから、縁側(濡れ縁)やデッキを設ければ外での楽しい生活が広がります。

② 景観 (まちなみ)

軒と勾配がある切妻屋根に防災性の高い瓦を使うことで北陸の気候に適した屋根にしました。外壁は土壁風の仕上げをベースに玄関廻りに石川県産材の天然木の羽目板を使い既存の景観や風土に融和するようにしました。

③ 地域特性

雨や雪、湿気が多い石川県でも安心な高耐久設計だから実現する“長寿命な家”がニューハウスの特徴です。冬場に配慮した少し広めの玄関ポーチや大型ランドリーを取り入れた間取りも石川の生活には欠かせません。

④ 住宅の基本性能

耐震等級3(許容応力度計算)と工業化ベタ基礎による高い耐震性能と省エネ義務基準(2025年)を大きく上回った断熱性能で安全・安心かつ快適で省エネな高性能住宅を提供いたします。バリアフリー設計はもちろん、停電時に非常灯になる保安灯や大きな地震で発生する通電火災に備えた感震ブレーカーなど災害にも配慮しました。

⑤ コスト (費用)

廊下を最小とする設計をはじめ踏み型(ウォークイン型)収納をあえて採用しない収納設計などコンパクトな間取りでありながら居室の広さや収納量を重視しました。外の軒下空間やオリジナルの出窓型のベンチもリビングの広さを感じさせる工夫の一つです。

主な外部仕上げ

屋根 平瓦 (F型/防災瓦)

外壁 窯業系サイディング/一部木製羽目板

建具 高性能樹脂窓
(ガス入りLow-E複層ガラス)

主な内部仕上げ

床 木質フローリング

壁 ビニルクロス

天井 ビニルクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、構造計算費、屋外給排水工事費、電気引込工事費、浄化槽設置費、エアコン、照明工事費、カーテン(本体)、外構工事費(縁側(濡れ縁)や植栽も外構工事)、移動可能な家具や家電製品、食器棚、借入経費等の諸手続き費用、登記費用、現場状況経費(建築地による)

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 ニューハウス工業(株)

所在地 石川県金沢市西泉1丁目66番地1

代表者 村上 哲也

担当者 岡山 靖史 (金沢東支店)

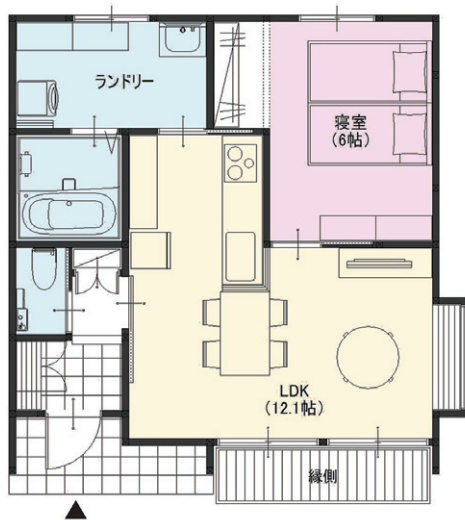
電話番号 076-252-6100

E-mail info@newhouse-newhouse.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



単身・夫婦向けプラン

内観パース



内観パース



外観パース



ホクリビモデル『やすらぎ』

モデルプランの特徴とメッセージ

間取りは1LDKとし、広いリビングは遠くに住む子供たちの帰省や近隣の方々との和気あいあいとした団欒を過ごせる空間とした。炎の揺らめきが身も心も暖めてくれる薪ストーブをオプション設置も可能とした。

構造は石川県産かが杉を使ったログハウス。ログハウスの丸太組構造は地震にも強く耐久性にも優れ、準耐火45分の防火性能も有している。杉材が持つ香りや穏かな木目が住まいする人に安らぎを与えてくれる。また断熱性能も高く、夏涼しく冬暖かい。さらに調湿性能にも優れ湿気の多い石川県の冬や梅雨の時期もカラッと過ごせる。

提案プランの概要

構造・工法 木造・丸太組構法

延床面積・階数 47.52㎡ (14.4坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設 計 株式会社北陸リビング社

概算工事費 1,711万円 (税込)

施 工 株式会社北陸リビング社

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 杉ログ材現し・サイディング (妻側)

建具 樹脂ペアガラスサッシ/木製室内建具

主な内部仕上げ

床 カラーフローリング

壁 杉ログ現し・一部羽目板 (パイン)

天井 化粧石膏ボード

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費・地盤補強工事・屋外電気工事・屋外給排水工事・浄化槽設置・エアコン・カーテン・家具工事・外構工事・諸手続き費用・登記費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

玄関先にはルーフデッキを設け、ご近所の方と玄関先で気軽に会話が楽しめるスペースを設けた。

② 景観 (まちなみ)

外壁は木質 (ログ壁) 現し、屋根は瓦とし自然豊かな能登半島の真っ青な海と青空、新緑の山間の景観にマッチする色あいとした。

③ 地域特性

雨や雪に配慮し玄関ポーチには屋根をかけ、屋外用具置場としてのスペースを設けた。
構造材、内装材には使用材積約20㎡のかが杉を使用している。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2
断熱等級4かつ一次エネルギー消費量等級4を満たしている。
室内の段差を解消し浴室やトイレには手摺を設置した。

⑤ コスト (費用)

室内には廊下を無くし、コンパクトながら有効スペースを最大限に活用した間取りとした。
丸太材は流通する4mの素材を無駄なく活用出来るようメーターモジュールを採用しプラン作成した。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)北陸リビング社 所在地 石川県能美市辰口町573-1

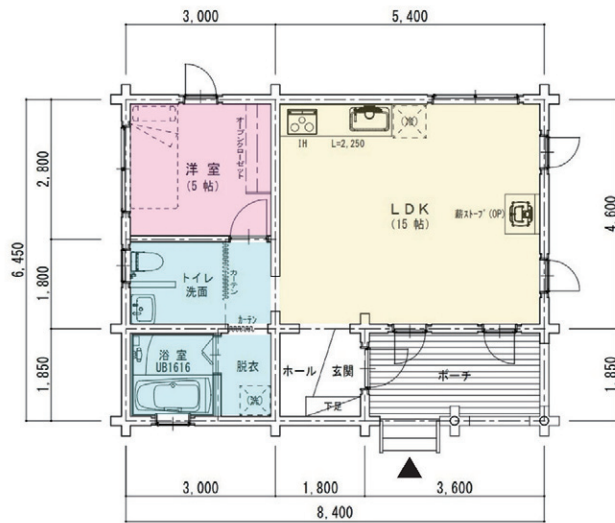
代表者 北出 秀樹 担当者 堀内 昭孝

電話番号 0761-51-2200 E-mail info@hokurikuliving.com

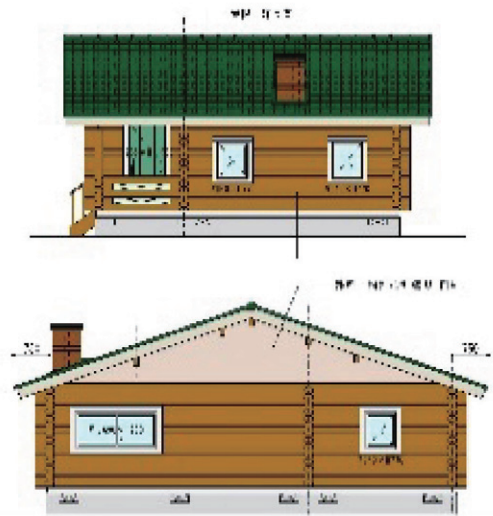
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



KAJITANI平屋モデル

モデルプランの特徴とメッセージ

シンプルで動きやすい動線で明るく温かい暮らしやすい家

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 47.92㎡ (14.5坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設計 梶谷建設建築設計事務所

概算工事費 1,600万円 (税込)

施工 株式会社梶谷建設

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

LDKにデッキを設け近所の方とおしゃべりができる開かれた間取り

② 景観 (まちなみ)

黒瓦で平入りの能登らしさのある周りの景観を壊さない外観

③ 地域特性

石川の気候に合った県産材を使い永く気持ちよく暮らせる家

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2
断熱等級5
一次エネルギー消費量等級6
バリアフリー

⑤ コスト (費用)

被災者の住宅再建を考慮しコンパクトでコスト低減に配慮した住宅

主な外部仕上げ

屋根 和瓦葺き (4寸勾配)

外壁 防火サイディングの上弾性リシン吹付

建具 樹脂サッシ (ペアガラス)

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、
地盤補強工事、外構工事、エアコン、
カーテン、家具工事、登記に要する費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)梶谷建設

所在地 石川県小松市軽海町ツ82番地1

代表者 梶谷 寛

担当者 多田 由香

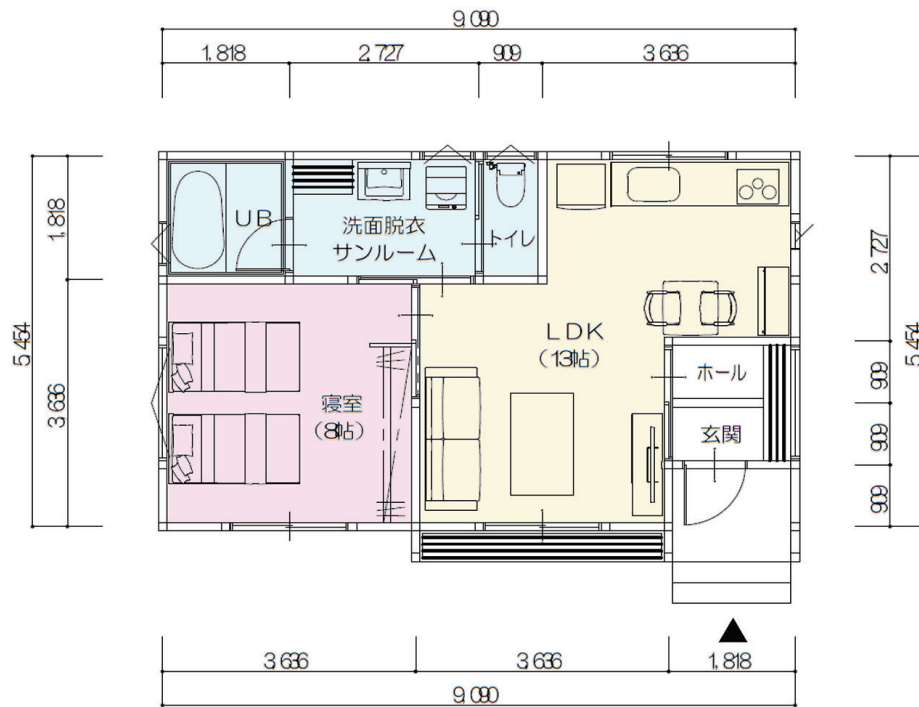
電話番号 0761-47-3311

E-mail kazitani1848@kajic.co.jp

ホームページ2次元コード



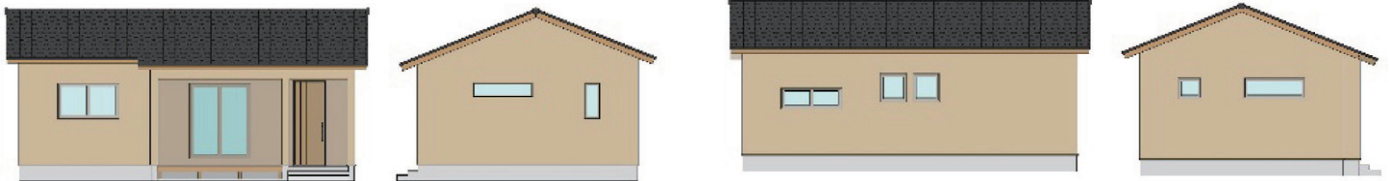
平面図



単身・夫婦向けプラン

立面図

立面図



外観パース



いしかわ和らぐミニ

モデルプランの特徴とメッセージ

コンパクトで使いやすい間取りです。

※別途、高断熱かつ太陽光発電で光熱費を抑えられるプランや外部にスロープを設置するプランもご提案できます。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 47.92㎡ (14.5坪)・平屋

標準工期 約4ヶ月

設計 株式会社 沢野建設工房

概算工事費 1,800万円 (税込)

施工 株式会社 沢野建設工房

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

濡縁（オプション）により外に開かれた住まいを演出します。

② 景観 (まちなみ)

黒瓦と外壁の一部を下見板として地域との調和をはかります。

③ 地域特性

キッチン裏にアルミ製サンルーム（オプション）を置けば、雨を気にせず洗濯できます。

④ 住宅の 基本性能

断熱等級5

⑤ コスト (費用)

1800万円 (税込) ～
廊下をなくし、室内ドアも減らしてコストダウンを図っています。
※諸条件や打合せ内容によって変動いたします。

主な外部仕上げ

屋根 日本瓦 4.0寸勾配

外壁 窯業系サイディング リシン吹付仕上
一部下見板張り

建具 ペアガラス樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

外構工事、エアコン工事、カーテン工事、
家具工事、地盤改良工事、屋外電気工事、
屋外設備工事、その他

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 (株)沢野建設工房 所在地 石川県かほく市七窪木5-1

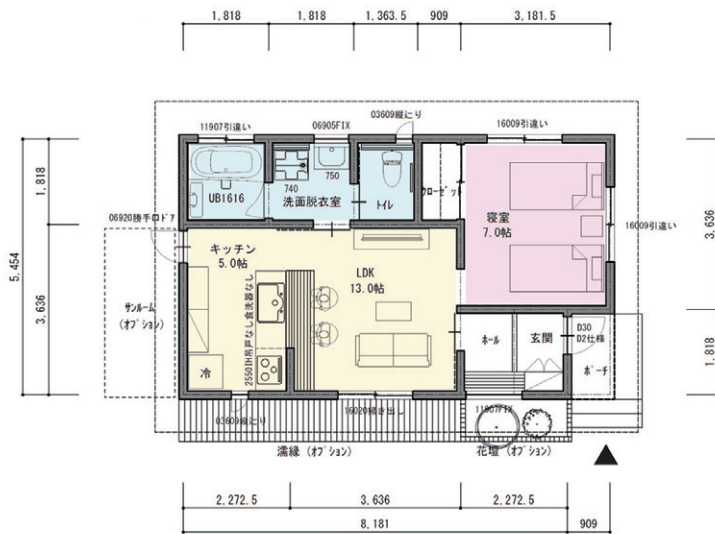
代表者 澤野 幸樹 担当者 上 仁史

電話番号 076-283-3360 E-mail sawano@sawano-kk.com

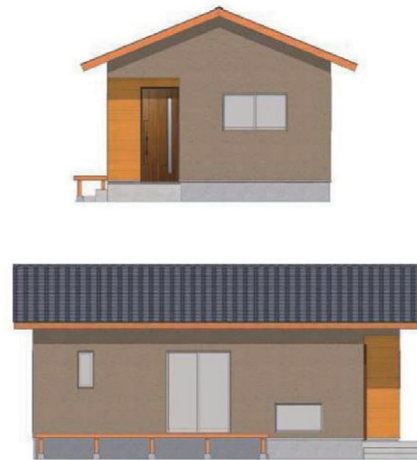
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



単身・夫婦向けプラン

内観パース



内観パース



外観パース



今と10年後を見据えた「のとみらい型健康住宅」

モデルプランの特徴とメッセージ

全戸を引戸、手すりを設置し、AIやIoT技術を活用した見守りサービスを提案します。

モデルプランはくつろぐ時間が多いいリビングを中心に、寝室、水まわりへつながる設計プラン。水まわりをまとめることで、家事動線を短縮し、日常の家事をスムーズにおこなえる女性目線プランです。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 48.85㎡ (14.8坪)・平屋

標準工期 約3.5ヶ月

設計 株式会社駒沢建工
一級建築設計事務所

概算工事費 1,750万円 (税込)

施工 株式会社駒沢建工

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 サイディング張り、吹付仕上げ

建具 アルミ樹脂複合サッシ
断熱片開き戸

主な内部仕上げ

床 フロアー12mm張り

壁 クロス張り

天井 クロス張り

概算工事費に含まれない費用

外構工事・地盤改良費・屋外給排水工事・家具工事など

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

玄関から繋がるテラススペースにて地域の方々のコミュニケーションを促す。

② 景観 (まちなみ)

伝統的な黒瓦を使用し、外壁も落ち着いたグレーにすることで、昔ながらの街並みに溶け込みようなデザイン。

③ 地域特性

雪や雨の多い石川の気候に配慮し、サンルームを確保。

④ 住宅の 基本性能

バリアフリーを超えたユニバーサルデザイン住宅
耐震等級2、断熱等級5かつ一次エネルギー消費量
等級6

⑤ コスト (費用)

収納や、廊下のドアをなくし、無駄を省いた代わりにAIやIoT技術を活用した、見守りサービスや遠隔診療技術を提案。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)駒沢建工

所在地 石川県小松市今江町6丁目681番地

代表者 駒澤 茂

担当者 設計部 田中、北

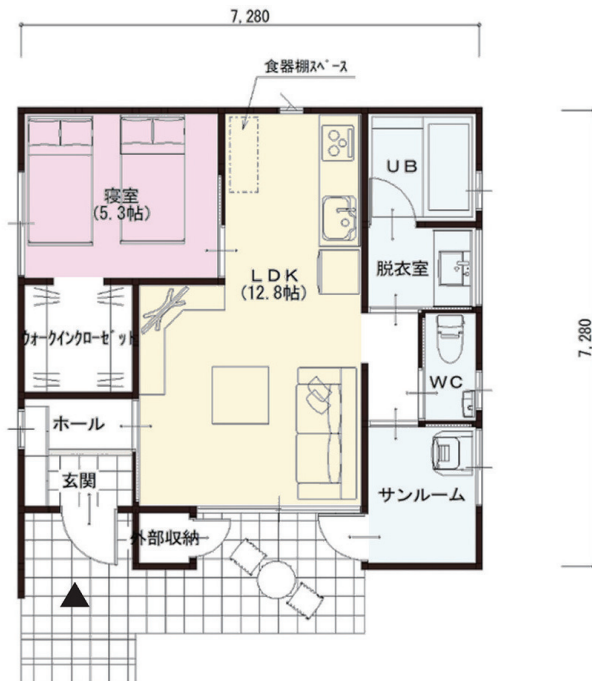
電話番号 0761-21-1289

E-mail (代表) carrot@carrot-home.co.jp

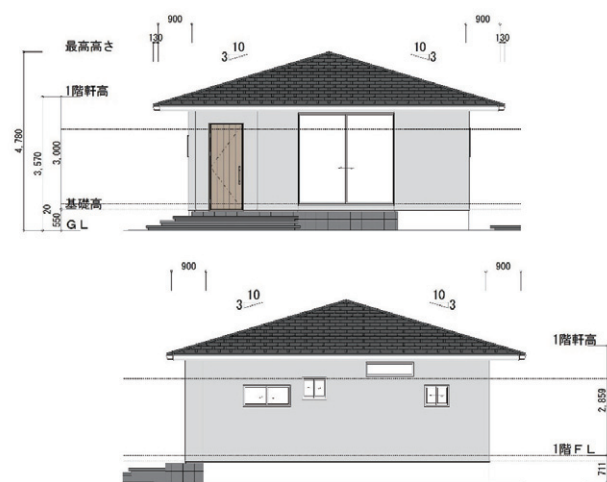
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



外観パース



A14 のとの家づくりチーム： ほそ川建設＋松川秀幸建築設計事務所

夫婦世帯 横長敷地型

モデルプランの特徴とメッセージ

能登地方に見られる、道路に面して大きな開口部の縁側を設け祭り等、イベント時に地域のコミュニティを生む空間としている。
LDKには高窓を設け、中を見せたくないときにも通風、採光を確保している

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 49.57㎡ (15.0坪)・平屋

標準工期 6ヶ月

設計 合同会社松川秀幸建築設計事務所

概算工事費 2,000万円 (税込)

施工 ほそ川建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

近隣とのコミュニティースペースとして、建物正面に縁側を設ける

② 景観 (まちなみ)

能登地方の平屋町家をモチーフとした外観
瓦葺き、下見板張りとして、既存の街並みに合わせる

③ 地域特性

高さを抑え、冬の風の影響を抑える
県産材の利用

④ 住宅の 基本性能

壁を増やし、耐震等級を上げる
縁側庇の上に開口部を設け、室内に通風をとりこむ

⑤ コスト (費用)

建具は伝統的な標準寸法のものを使用
解体する民家などからの既存建具の再利用も可能とする

主な外部仕上げ

屋根 瓦葺き

外壁 下見板張り、サイディング

建具 木製格子戸、アルミサッシ

主な内部仕上げ

床 地産木材無垢フローリング

壁 PB下地クロス貼り

天井 木羽目板

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、諸手続き費用、登記費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 ほそ川建設(株)

所在地 石川県金沢市示野町西3番地

代表者 細川 顕司

担当者 佐々木 伊織

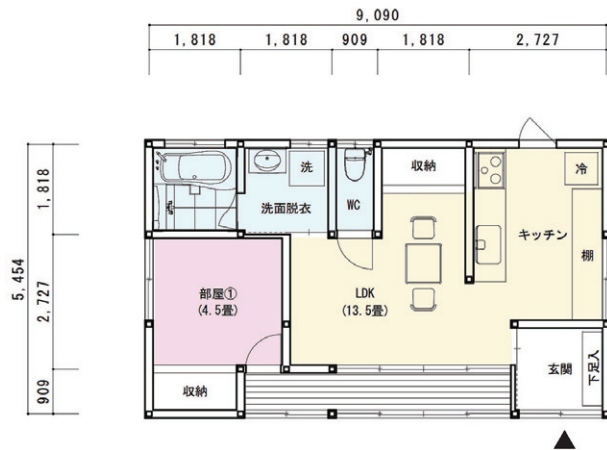
電話番号 076-267-8008

E-mail info@hosokawakensetsu.co.jp

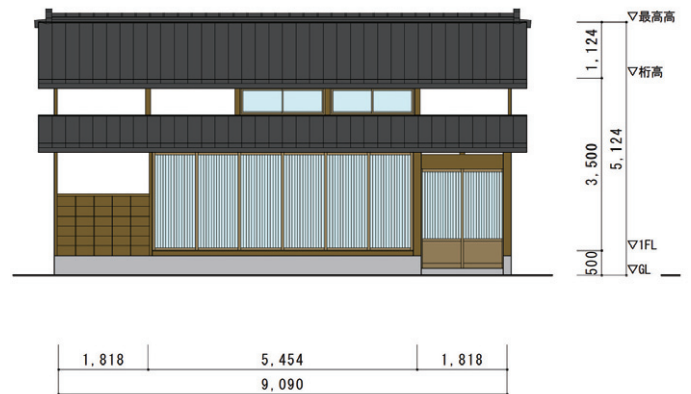
ホームページ2次元コード



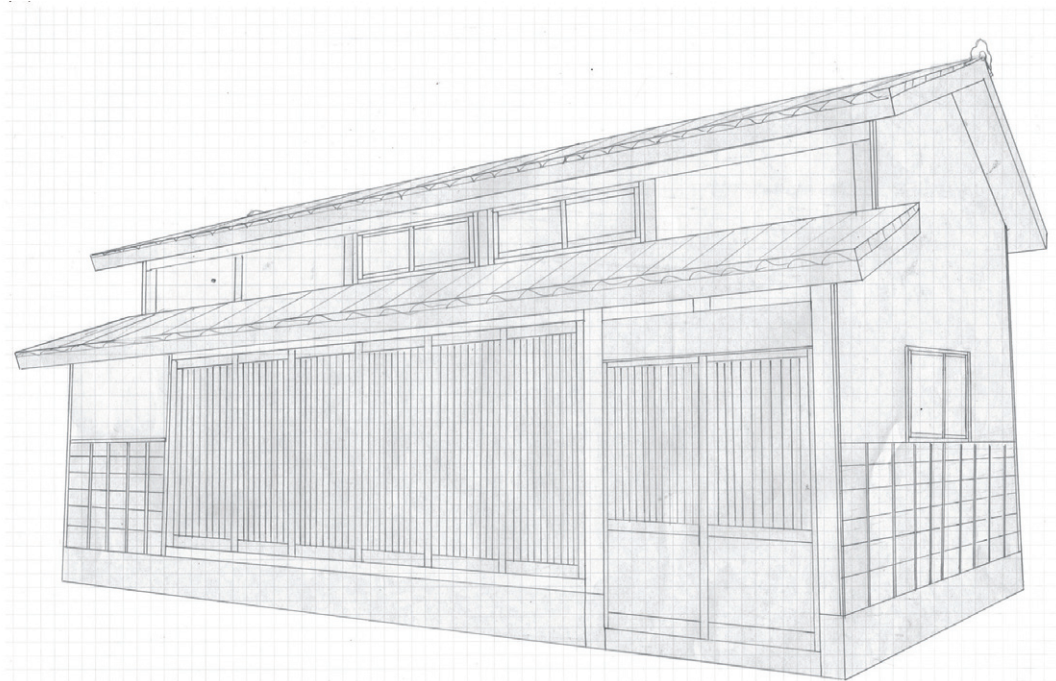
平面図



立面図



外観パース



能登杉トラスの住宅（コンパクトタイプ）

モデルプランの特徴とメッセージ

土間リビングに馴染みのある若年層や、生業も組み合わせさせた兼用住宅（農業、店舗、アトリエ等）を求める方々の選択肢が増えるように意識して設計しました。

また、能登の木を使うために、昔のようなシンプルな木材供給網とし、どこの森の木を使ったかまでわかる住宅をつくります。プレカットを省き、大工さんによる手刻み技術を用い、かつ組み易い小屋組みをデザインしています。

住宅を建てる行為が、大工さんの技術継承や森の好循環への一助になり、個人だけでなく能登全体の復興にも関わられる仕組みを考えました。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 49.6㎡（15.0坪）・平屋

標準工期 4～5ヶ月

設計 チドリスタジオ

概算工事費 1,760万円（税込）

施工 新協建設工業 石川支店

主な外部仕上げ

屋根 瓦葺、ガルバリウム鋼板

外壁 リシン吹付、能登杉板貼り

建具 アルミ樹脂複合サッシ

主な内部仕上げ

床 コンクリート土間、能登杉フローリング、長尺シート

壁 クロス貼り

天井 シナ合板、クロス貼り

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、地盤調査+補強工事、外構工事、エアコン、カーテン、家具工事、確認申請費用、登記費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

兼用住宅としてもつかえるように、正面がお店の様
に開かれたリビングを持ち、用途に合わせて開放感
をコントロールできる計画としました。

② 景観 (まちなみ)

能登の歴史ある住宅は立派な妻面を持ちます。この
建物も妻入りとしてコンパクトながら立派な妻面を
持つ様に計画しました。また、部分的に瓦屋根と板
金屋根を組み合わせ、街並みへの配慮と軽量化で耐
震性をあげることを同時に考えています。

③ 地域特性

雨雪の多い石川県の気候に利便性の高い軒下スぺ
ースや広い土間スペースを備え、様々な使い方ができ
ます。LDKを土間と一体的なコンクリート床とし
て、より汎用性の高い仕様に変更することもできます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2、断熱等級4の仕様を標準としています
が、各等級をグレードアップすることも検討可能で
す。また、土間の間口が広く、将来の福祉用具等が
設置しやすいように配慮しています。

⑤ コスト (費用)

廊下をなくすことで面積を抑える、住宅の開口部等
は規格品サイズを採用する、使用する木材規格を大
きく2つに絞り材料を無駄なく使うことで、コスト
低減を意識しています。

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 新協建設工業(株)石川支店

所在地 石川県金沢市法光寺町207-4

代表者 武田 正彦

担当者 栢森 公代

電話番号 076-257-2535

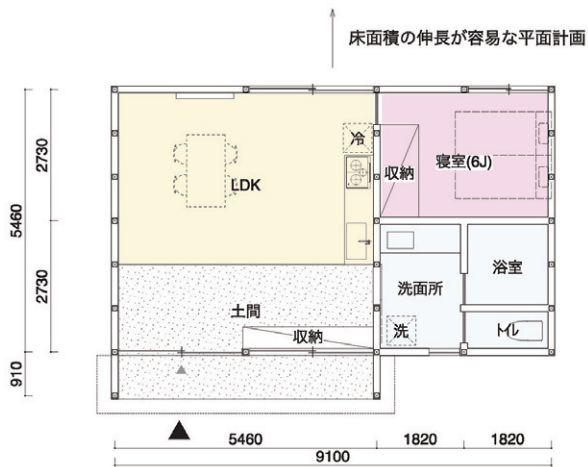
E-mail kayamori@shinkyo-ken.com

ホームページ2次元コード



チドリスタジオ

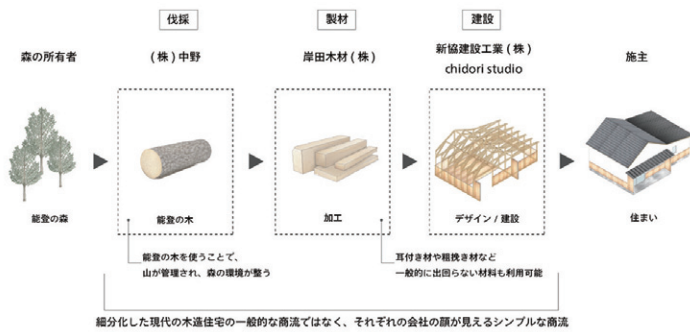
平面図



内観パース



自由提案



住宅に使われる能登杉の来歴まで分かるシンプルな流通

能登の杉を使った屋根架構が室内にも見える

外観パース



能登の歴史ある住宅の妻壁が特徴的であるように、本住宅も妻面が印象的なデザインとしています

のびやかな縁側のある住まい

モデルプランの特徴とメッセージ

のびやかな縁側とひさしを正面にもつ住まいです。

仮設住宅にはないゆとりを得られるよう、小さいながらもひろがりを感じられる住宅としました。間仕切りがなく見通すことができ、縁側を通して生活が外にひろがります。

また、自由な間取りに変更可能で、親世帯が住まなくなった後、子世帯が地域に戻った際の拠点となったり、賃貸住宅・店舗・集会所等として再利用することもできます。様々な使い勝手に対応でき、末長くお使い頂けます。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 49.68㎡ (15.1坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設計 松本大建築設計事務所

概算工事費 1,500万円 (税込)

施工 都市建設エンジニアリング株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

のびやかな縁側とひさしが住まいを外に開いています。地域の皆さんを気軽に迎え入れることができ、縁側は、ほがらかな語らいの場となります。

② 景観 (まちなみ)

シンプルな片流れ屋根と深い軒が、伝統的な街並みに調和します。正面外壁は天然木板貼りとし、全体の色彩も景観に配慮したものとします。

③ 地域特性

除雪用具にも配慮した十分な外部収納を、玄関脇に設けています。正面立面の内外壁、および室内の天井を天然木の県産材で仕上げます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2、断熱等性能等級4かつ一次エネルギー消費量等級4とし、耐震等級3、断熱性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6を目指します。段差を15cm以下とし、玄関からは全てフラットとしてバリアフリーに配慮しています。

⑤ コスト (費用)

単純な平面・架構とし、通路はなく、サッシは規格品を使用。天井裏をなくし、建物高さを抑えます。コストに配慮しながら、屋根に沿うゆとりある天井高を確保、深い軒につつまれた縁側を設け、ひろがりのある豊かな生活を実現します。

主な外部仕上げ

屋根 カラーガルバリウム鋼板葺き

外壁 天然木貼り (正面)
窯業系サイディング (側背面)

建具 アルミサッシュ (外部)・木製建具 (内部)

主な内部仕上げ

床 木製フローリング

壁 天然木貼り (正面側)
ビニルクロス貼り (その他)

天井 天然木貼り

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、外構工事費、浄化槽設置費、カーテン、移動可能な家具、諸手続き費用、登記費用は含まない
(標準的な屋外給排水工事費、造り付け家具、エアコン、縁側は工事費に含む)
これらに係る諸経費

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 都市建設エンジニアリング(株)

所在地 石川県白山市安吉町13番地1

代表者 徳田 智保

担当者 黒川 隆裕

電話番号 076-275-2664

E-mail tkeg.kurokawa@gmail.com

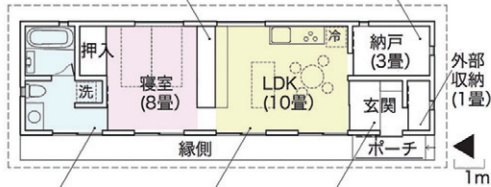
ホームページ2次元コード



平面図

大きな部屋を家具で間仕切り、寝室・リビングとして使っています。天井がつながり、ひろがります。

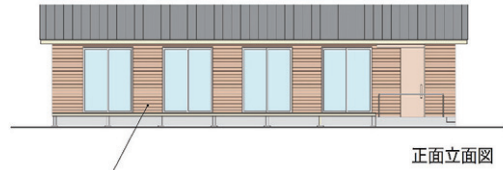
たっぷりとした納戸と外部収納を設けて十分な収納に配慮しています。



直接縁側に出られて、軒下を物干し場として使うことができます。昔ながらの縁側につながり生活が外にひろがります。視線が奥に伸びていき、ひろがりが感じられます。

小さいながらもひろがりのある住まい

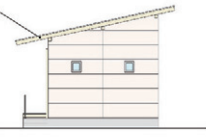
立面図



正面立面図

6間の長い縁側が部屋をつなぎ外につながるゆとりある生活を演出します。正面の外壁は天然木で仕上った優しい印象です。

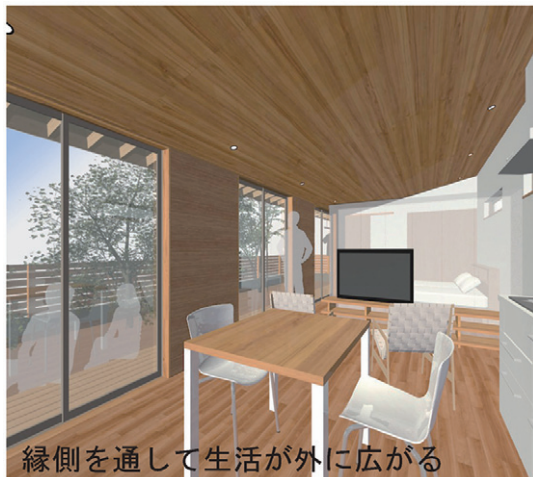
建物全体に渡る深い軒が縁側・ポーチをつつみ込みます。また気軽に人々を迎え入れる表情をつくり出します。



側面立面図

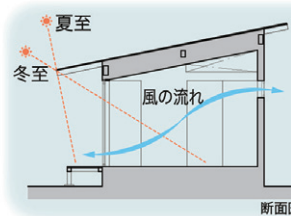
のびやかな縁側のある住まい

内観パース



縁側を通して生活が外に広がる

自由提案



快適な光と風の流れ



2個室を確保した例



カフェとした例

世代の変化に応じて、子世帯が住んだり、賃貸住宅や店舗・集会所とする等、様々な使い勝手に対応できるよう自由な間取りへの変更を可能としています。

変化に対応できる間取り

外観パース



縁側は、ほがらかな語らいの場となる

陽だまりテラスのある住まい

モデルプランの特徴とメッセージ

深い軒が存在感があり、地域のコミュニティとしてテラスを活用。

床は無垢材の温かみと調湿機能で、住む方に安らぎと快適性をもたらします。

省エネで長持ちLED、オール電化を採用。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 49.68㎡ (15.1坪)・平屋

標準工期 5～6ヶ月

設 計 飛鳥住宅株式会社

概算工事費 1,800万円 (税込)

施 工 飛鳥住宅株式会社

主な外部仕上げ

屋根 日本瓦

外壁 サイディング+下見板

建具 ダイケン製

主な内部仕上げ

床 無垢フローアー

壁 ビニールクロス

天井 ビニールクロス

概算工事費に含まれない費用

屋外給排水工事 地盤改良工事

外構工事 カーテン工事

エアコン工事 家具工事

屋外電気工事 浄化槽設置工事

家電 借入、登記に要する費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

LDK 前に屋外テラスをもうけた。

② 景観 (まちなみ)

外観は、夏季の日射を考慮して軒を深くし、シンプルな切妻屋根とし、太陽光発電の設置に配慮。

③ 地域特性

外壁には、能登の街並みに馴染むように、グレーのサイディング+下見板を使用。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2 断熱等級6

⑤ コスト (費用)

シンプルな間取りでコンパクトな設計で見た目を大きく見せる。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 飛鳥住宅(株)

所在地 石川県金沢市三口新町3-3-18

代 表 者 永原 慎之輔

担当者 竹本 聡

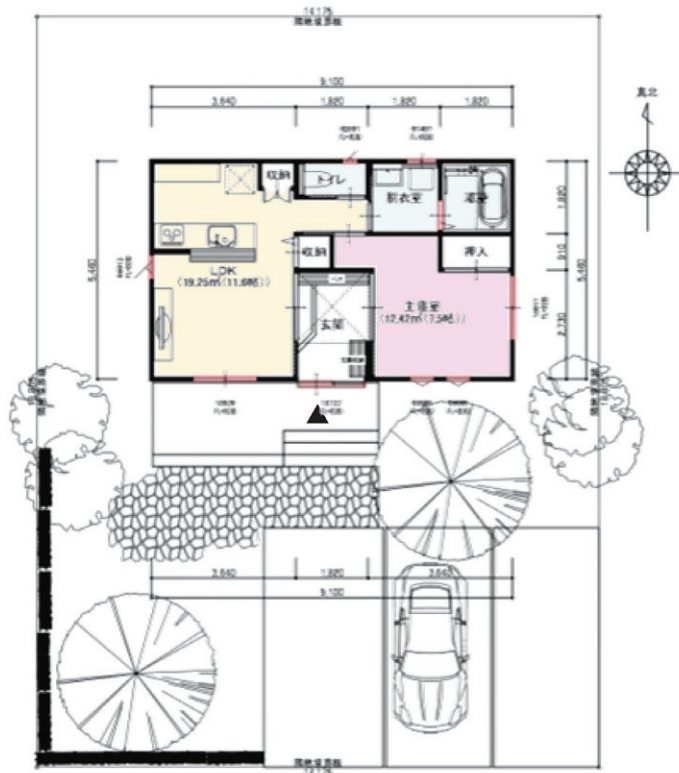
電話番号 076-222-1122

E-mail take@yoisumai.jp

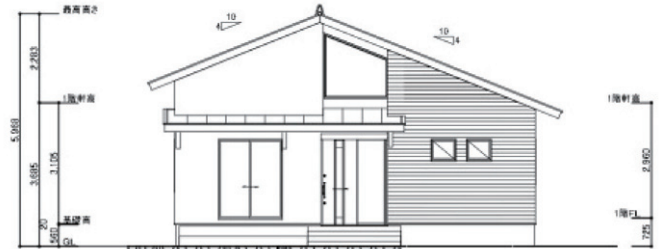
ホームページ2次元コード



平面図

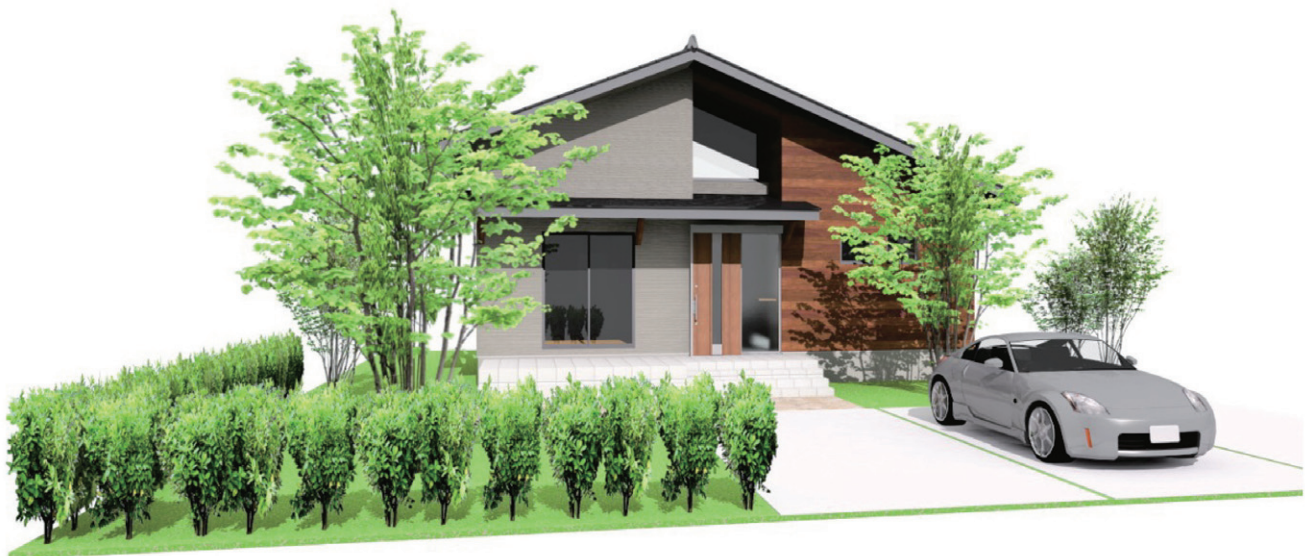


立面図



単身・夫婦向けプラン

外観パース



能登の豊かな自然と暮らす「終の棲家」コンパクトな平屋

モデルプランの特徴とメッセージ

「家が一番安心で心地よい」夫婦世帯、または単身世帯にとって、一番大切なのは日々の暮らしの安心感です。コミュニケーションの取り方は人それぞれ、ダイニングに近い場所に掃き出し窓と縁側を配置、仲の良いご近所同士が収穫したての野菜を分け合って、シンプルに穏やかに暮らすご夫婦や単身の方をイメージしたプランです。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	49.68㎡ (15.1坪)・平屋
標準工期	4.5ヶ月
設計	株式会社クロダハウス 一級建築士事務所
概算工事費	1,700万円 (税込)
施工	株式会社クロダハウス

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

震災を経て、避難所での生活、仮設住宅を経験して能登に留まる事を選ばれた夫婦世帯、または単身世帯の方が自分たちのプライバシーを重視して「安心・安全・快適」に暮らしながら、ダイニングの縁側でご近所同士のコミュニティが楽しめます。

② 景観 (まちなみ)

切妻屋根のコンパクトな家が。能登の自然な景観・街並みに温かく自然に溶け込みます。

③ 地域特性

シンプルな形状の建物、切妻屋根にすることで、ゲリラ的な豪雨時の雨水の流れ、能登の特徴的な水分量が多い雪の重量が屋根に均等にかかる事など、災害時のトラブル軽減が見込めます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級：3
断熱等級：5
一次エネルギー消費量等級：6

⑤ コスト (費用)

夫婦世帯・単身世帯を対象としてなるべくシンプルにかつ生活しやすい動線を考え、壁も少なくワンフロアでの低コスト設計を実現しました。

主な外部仕上げ

屋根	ガルバリウム鋼板AT葺き
外壁	窯業系サイディング
建具	外部：複層ガラス樹脂サッシ 内部：建材建具

主な内部仕上げ

床	建材フロア
壁	クロス仕上
天井	クロス仕上

概算工事費に含まれない費用

外構・植栽・地盤調査
地盤改良/地盤補強工事
屋外電気工事・屋外給排水工事
浄化槽工事・エアコン・カーテン
家電品・置き家具・登記費用
諸手続き費用・これらに係る諸経費

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)クロダハウス	所在地 石川県金沢市駅西新町3-13-2
代表者 東 一寛	担当者 黒澤 雄介
電話番号 076-234-3060	E-mail sweden@kurodahouse.jp

ホームページ2次元コード



畳リビングと縁側デッキのある平屋住宅

モデルプランの特徴とメッセージ

夫婦（単身）世帯の為にコンパクト平屋住宅。リビングには畳を配置し、落ち着いた空間を演出。縁側・畳スペース・キッチンが日常のくつろぎスペースとなるだけでなく、ご近所さんや家族とのふれあいの場となる落ち着いた空間を演出。カウンスペースでは夫婦それぞれの時間を過ごしていただけるよう配慮しました。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	50.46㎡（15.3坪）・平屋
標準工期	6ヶ月
設計	株式会社ココ地建 ココ地建設計室
概算工事費	1,870万円（税込）
施工	株式会社ココ地建

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

- ① コミュニティ**
リビングからの縁側デッキを計画し、地域の方とのコミュニティに配慮。
- ② 景観（まちなみ）**
下見板風の外壁や、黒瓦をイメージした板金屋根を採用し景観に配慮。
- ③ 地域特性**
雨や雪の多い地域に適した屋根の出のある住宅。雪かきの道具をしまえる外部収納を計画。構造材に県産材を活用。
- ④ 住宅の基本性能**
耐震等級3
断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6
- ⑤ コスト（費用）**
コスト削減に配慮し、廊下を極力無くすとともに、間仕切の建具も無くすことで、コスト削減を図った。

主な外部仕上げ

屋根	板金 縦葺き
外壁	サイディング
建具	既製品建具

主な内部仕上げ

床	突板フローアー貼り
壁	ビニールクロス貼り
天井	ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

- ・外構工事等

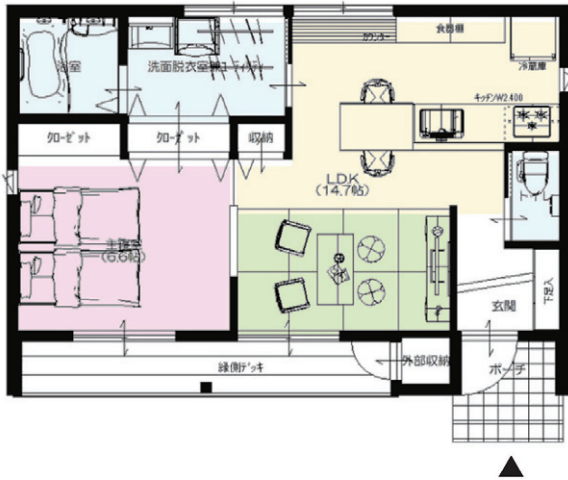
施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名	（株）ココ地建	所在地	石川県白山市茶屋2丁目114-1
代表者	岡島 正幸	担当者	三村 司
電話番号	076-276-8200	E-mail	mimura@cocochiken.com

ホームページ2次元コード



平面図



立面図

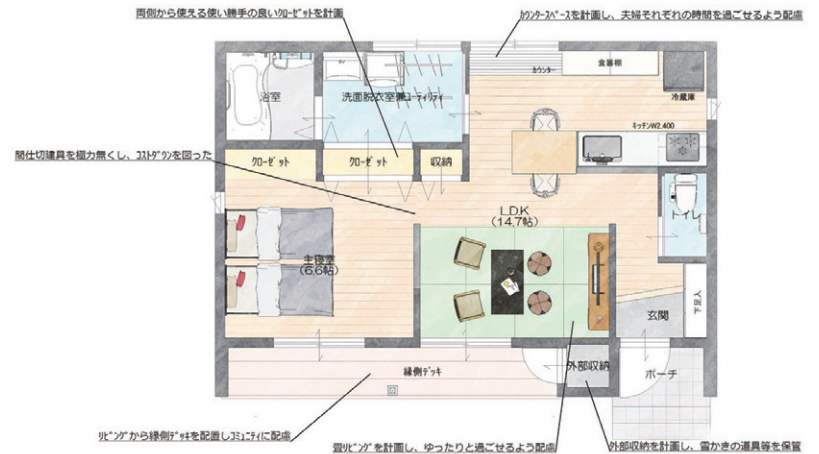


単身・夫婦向けプラン

内観パース



自由提案



外観パース



終(つい)の住処 平屋プラン

モデルプランの特徴とメッセージ

終の住処と名付けました。コンパクトな家とは言え居場所を出来るだけ作って、住まいや生活を楽しんでいただけるよう工夫しました。

大きな玄関引き戸からLDKに光を入れ、近所の方とは開放的に、道路からは納戸を配して中が見えない位置にして閉鎖的にしてプライバシーを守ります。廊下を少し広くして、将来的な身体の変化にも対応できるようにしています。

末永く使っていただけるそれを願ってモデルプランの名前を付けました。能登産の材料、能登の人たちの力を借りて建設し、産業復興の一助になりたいと願う建物です。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 51.15㎡ (15.5坪)・平屋

標準工期 5ヶ月

設計 新協建設工業(株)
石川支店一級建築士事務所

概算工事費 1,980万円(税込)

施工 新協建設工業(株)石川支店

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板立平葺き

外壁 防火サイディング 弾性リシン吹付

建具 木製

主な内部仕上げ

床 杉フローリング

壁 和紙クロス

天井 和紙クロス

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事 屋外給排水工事

外構工事 家具工事 空調工事

地盤調査 地盤改良工事

カーテン工事 確認申請費用

登記費用 家電製品

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

大きな玄関引き戸で中の様子が確認できる開かれた住まいであるとともに、中庭を利用し、地域のコミュニティも大切に出来る間取りとしています。

② 景観 (まちなみ)

勾配屋根とし、地域の古い建物と違和感のない作りとしています。コア部分の板貼りもその一つです。

③ 地域特性

雨の多い地域ですから、軒が建物を守り庇は梅雨時期でも窓が明けられるよう配慮しています。雪対策は雪止めで落雪対策、荷重に対しては在来木造の地域性を活かして材料のサイズを決めます。風に対しても同様です。

④ 住宅の 基本性能

構造基準等級2
省エネ基準等級4

⑤ コスト (費用)

能登産を使うという事で商流を見直し、コストを検討します。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 新協建設工業(株) 石川支店

所在地 石川県金沢市法光寺町207-4

代表者 武田 正彦

担当者 栢森 公代

電話番号 076-257-2535

E-mail kayamori@shinkyo-ken.com

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



単身・夫婦向けプラン

内観パース



外観パース



景観配慮型 平屋建てフレキシブル住宅(15坪タイプ)

モデルプランの特徴とメッセージ

- ・和室間や和室とダイニングキッチンの間はふすまの開閉によって、ライフスタイルや住まい方の変化に対応できる計画としています。
- ・断熱材および耐力壁を一体化したパネルをあらかじめ製作することで、工事現場での作業の短縮化を図っています。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	51.34㎡ (15.6坪)・平屋
標準工期	4ヶ月
設計	株式会社 家元
概算工事費	1,939万円 (税込)
施工	株式会社 家元

主な外部仕上げ

屋根	ガルバリウム鋼板、瓦 (オプション) * パースは瓦
外壁	吹付け仕上げ、羽目板 (オプション) * パースは羽目板
建具	アルミ樹脂複合サッシ、木製建具

主な内部仕上げ

床	フローリング、畳、クッションフロア
壁	OSB合板、クロス貼り、シナ合板
天井	OSB合板

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、
地盤補強工事、外構工事、エアコン、カーテン、
登記関係

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

居室に面した縁側を設け、自発的なコミュニケーションが生まれやすくしています。
また平屋建てとすることで、高齢者世帯の見守り等
を行い易いように配慮しています。

② 景観 (まちなみ)

伝統的な住宅を参考に落ち着きがあり、各地域の景観に調和する色彩計画とします。

③ 地域特性

住宅の周囲に軒下空間、玄関ポーチおよび土間を設けており、除雪用具置き場等に利用することが可能です。
また県産木材を積極的に取り入れます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3基準および、断熱等性能等級4かつ一次エネルギー消費量等級4を満たす性能としています。

⑤ コスト (費用)

使用する木材を一般流通材に限定、また開口部のサッシ等も規格品としています。
廊下をなくし、コンパクトでありながら広い居住スペースを確保しています。

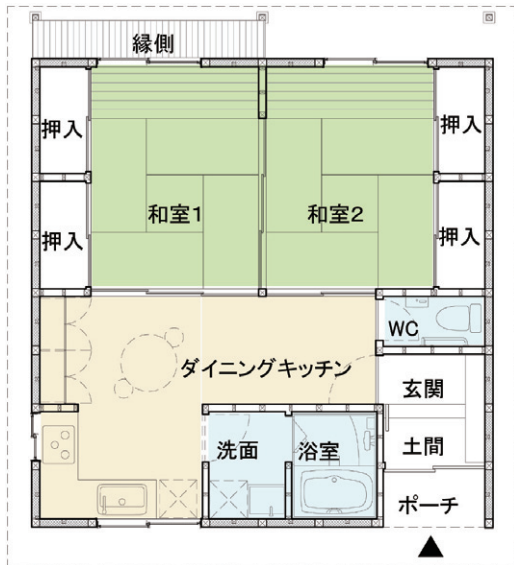
施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)家元	所在地 石川県金沢市問屋町1-27-1
代表者 羽田 和政	担当者 廣瀬 隆之
電話番号 076-255-1201	E-mail hirose@kanazawaiemoto.jp

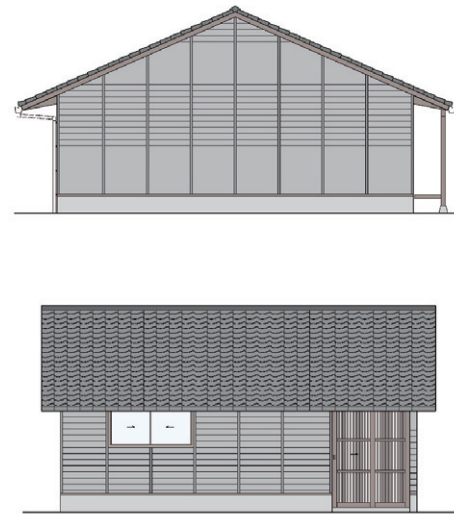
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



単身・夫婦向けプラン

内観パース



内観パース



外観パース



いしかわ和らぐバリアフリー

モデルプランの特徴とメッセージ

ポーチにスロープを付けるなどバリアフリーに考慮しています。

※別途、高断熱かつ太陽光発電で光熱費を抑えられるプランもご提案できます。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 52.05㎡ (15.8坪)・平屋

標準工期 約4.5ヶ月

設 計 株式会社 沢野建設工房

概算工事費 2,000万円 (税込)

施 工 JBN(一社)石川県工務店協会

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① **コミュニティ** 濡縁により外に開かれた住まいを演出します。

② **景観 (まちなみ)** 黒瓦と外壁の一部を下見板として地域との調和をはかります。

③ **地域特性** ウッドデッキの下に除雪道具が置けます。

④ **住宅の 基本性能** 断熱等級5

⑤ **コスト (費用)** 2000万円 (税込) ～
シンプルな間取りでバリアフリーとコストダウンを図っています。
※諸条件や打合せ内容によって変動いたします。

主な外部仕上げ

屋根 日本瓦 4.0寸勾配

外壁 窯業系サイディング リシン吹付仕上
一部下見板張り

建具 ペアガラス樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

外構工事、エアコン工事、カーテン工事、
家具工事、地盤改良工事、屋外電気工事、
屋外設備工事、その他

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)沢野建設工房 所在地 石川県かほく市七窪木5-1

代 表 者 澤野 幸樹 担当者 上 仁史

電話番号 076-283-3360 E-mail sawano@sawano-kk.com

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



まちと連続する小さな住まい（平屋）

モデルプランの特徴とメッセージ

住人がその時の天候や気分、または行事に合わせて空間を使える、小さくても選択性のある暮らしを提案します。道から寝室に至るまで連続的な空間で、外部への開放度が段階的になっています。

住人がその場その時に合わせて使う場所を選択できます。（地域とより繋がりたい時は縁側や居間、少し一人になりたいときは寝室など）別の空間に居ても空気が伝わるよう、また同じ空間に居ても1人にもなれるよう、床や天井の高さ、開口部を調整しています。それは外部との距離感や家族どうしの距離感を調整し、心地よい生活を送ることに繋がると考えています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法+タテログ構法

延床面積・階数 52.17㎡（15.8坪）・平屋

標準工期 2ヶ月

設計 株式会社kyma

概算工事費 1,837万円(税込)

施工 株式会社芳賀沼製作

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

居間のコーナー窓・縁側はまちと繋がり、自発的な（受動的にも）コミュニケーションを誘導します。また、一族が集まる際には一室の大きな空間として使えるよう、寝室の引戸はフルオープンできるようにしています。

② 景観（まちなみ）

外壁は杉の羽目板、屋根は経済性を考慮し折板屋根を採用しました。既存のまちなみに色彩を合わせることで、折板屋根という異素材がよいアクセントとなるよう考慮しています。

③ 地域特性

雨や雪が多い能登の気候特性に合わせ、道に面して屋根付きの縁側を設けています。縁側が地域との接点となり、周辺住民との関係性を構築する1つの契機になればいいと考えています。

④ 住宅の基本性能

（耐震）軸組構造+タテログパネルの耐震壁によって耐震性能を確保します。（省エネ・環境負荷）外壁はタテログパネル、屋根はグラスウールによって、断熱性能を確保します。また大きく出た屋根は夏季の強い日射を遮蔽します。

⑤ コスト（費用）

ローコストでも水準以上の居住性を実現するために以下を計画。①容積を最小限に抑える。②シンプルな軸組構造+タテログパネルで工期を短縮。③内壁はタテログパネルで内装材を省略。④折板屋根を採用し、垂木・野地板を省略。

主な外部仕上げ

屋根 折板屋根（ガルバリウム鋼板）

外壁 スギ板縦張り 押縁押さえ

建具 複層樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 フローリング+クッションフロア

壁 スギ現し仕上げ、一部クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

- ・地盤調査費
- ・地盤補強工事
- ・外構工事
- ・屋外電気工事
- ・屋外給排水工事
- ・浄化槽設置費
- ・エアコン
- ・カーテン、家具工事
- ・登記に要する費用
- ・諸手続き費用

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 ㈱芳賀沼製作

所在地 福島県南会津郡南会津町針生字小坂40-1 石川県輪島市河井町3-216-1 ホームページ2次元コード

代表者 芳賀沼 伸

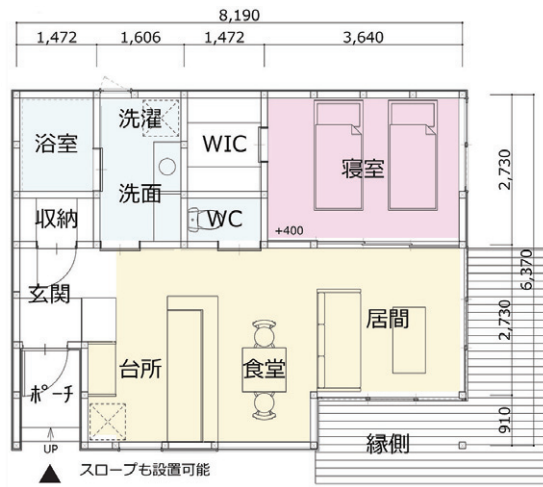
担当者 芳賀沼 克紀

電話番号 0241-64-2221

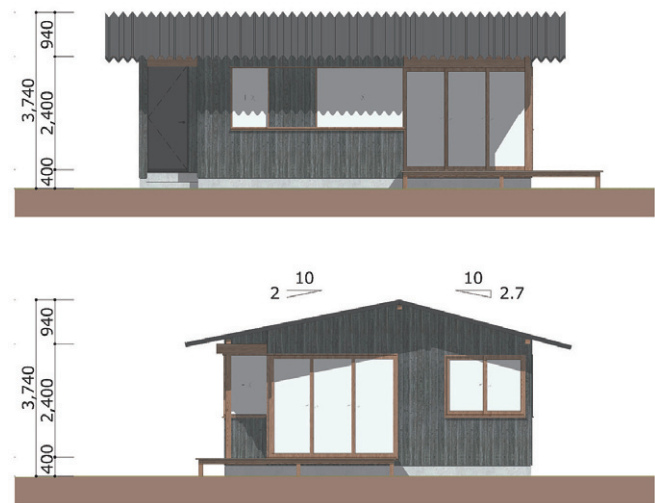
E-mail info@haganuma.co.jp



平面図



立面図



内観パース（小上り畳ver）



内観パース（掘下げver）



外観パース



16坪 平屋プラン

モデルプランの特徴とメッセージ

光熱費を極力削減できるよう、ワンルームのようなプランです
コンパクトでありながら収納は充実させ、居住スペースも十分く
つろげる空間としました

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	53.00㎡ (16.1坪)・平屋
標準工期	5ヶ月
設計	株式会社アントール
概算工事費	1,480万円 (税込)
施工	株式会社アントール

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| ①
コミュニティ | リビングに掃き出し窓を設け、屋外との一体化を図った |
| ②
景観
(まちなみ) | 落ち着いた色彩でまちなみの景観を損なわないようにした |
| ③
地域特性 | 雪の多い気候に配慮し玄関前は壁を設けて風除室となるようにした |
| ④
住宅の
基本性能 | 耐震等級3、ZEH基準とした |
| ⑤
コスト
(費用) | コンパクトで廊下のないシンプルな構造とした |

主な外部仕上げ

屋根	ガルバニウム鋼板
外壁	防火サイディング張り
建具	メーカー既製品

主な内部仕上げ

床	カラーフロア張り
壁	ビニールクロス貼
天井	ビニールクロス貼

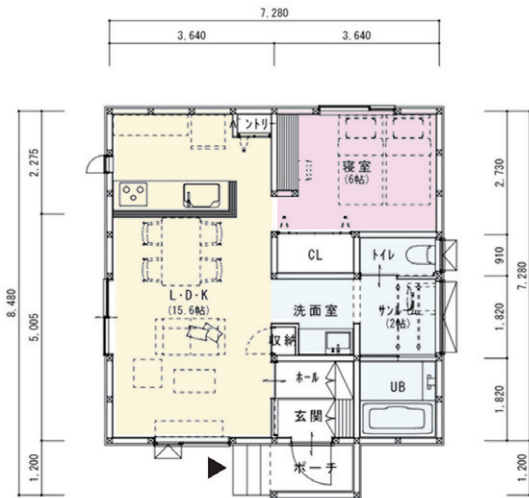
概算工事費に含まれない費用

外構工事 屋外給排水工事
屋外電気工事 地盤改良費
エアコン カーテン家具 登記費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)アントール	所在地 石川県七尾市小島町九部3番地
代表者 川上 孝一	担当者 白田
電話番号 0767-53-4311	E-mail m.shirata@antol.co.jp

平面図



立面図



単身・夫婦向けプラン

内観パース



内観パース



外観パース



CONNECTIA (コネクティア)

モデルプランの特徴とメッセージ

ゆとりを感じる広々としたLDKで夫婦2人で十分なプランです。広々とした開放的なLDKに加え、洋室2部屋、夫婦二人で住んでもゆとりと暮らせる十分なスペースを確保。

- ・木造ユニットハウスの高気密高断熱により、夏は涼しく、冬は暖かい。
- ・シンプルな設計でローコスト住宅（4ユニットです、ご希望に合わせてユニット数（1ユニット：4.3坪）の増減が可能です。
- ・モバイル建築だから工場で製作・移動・お客様宅での設置が短期間（着工開始から1.5ヶ月で完成）です。
- ・省令準耐火構造のため火災保険費用の割引が大きい。
- ・工場生産の木造ユニットハウスだから、将来再販売、再利用/移設が可能。
- ・木造ユニットだから、将来の再利用も可能。持続可能な建築物によりSDGs達成に貢献。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 57.23㎡（17.3坪）・平屋

標準工期 1.5ヶ月（着工開始より）

設計 ビーエムシー建築設計事務所

概算工事費 1,650万円（税込）

施工 タマダ株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

縁側の設置。

② 景観 (まちなみ)

外壁内装の選択が可能。
地域に合わせた色彩提供。

③ 地域特性

県産材を中心の木造建築とする。
積雪荷重1m対応。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2の安心安全な住宅。
バリアフリー対応型の住宅を備える。
Ua値0.42w/㎡・Kで断熱等性能等級6を確保。

⑤ コスト (費用)

将来を見据えてその場所での目的が終了した際、再利用/移設可能な住宅とする。（モバイル建築協会特性）フラット35対応。
シンプルな設計でローコスト住宅（4ユニットですが、ユニットの増減は可能です（要相談））。
短工期による諸費用（仮住まい費等）軽減。

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板 クリップパネル

外壁 ガルバリウム鋼板 成型鋼板

建具 YKK APW330

主な内部仕上げ

床 複合フローリング・県産材

壁 化粧石膏ボード

天井 化粧石膏ボード

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、外構工事、屋外給排水電気工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、下駄箱、諸手続き費用、登記費用、移設・設置費、照明器具（リビング、洋室）、給湯器、濡れ縁、アンテナ、設計・監督費

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 タマダ(株)

所在地 石川県金沢市無量寺町ハ61-1

代表者 玉田 善久

担当者 ①上野 昭 ②野城 一晃 ③宮森 憲治

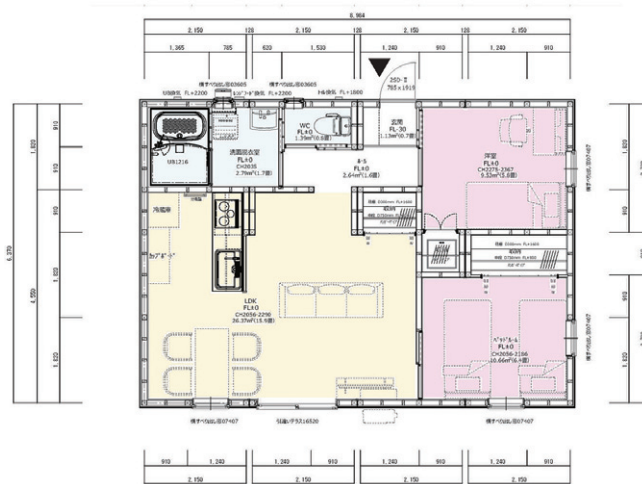
電話番号 076-204-6132

E-mail connectia@tamada.co.jp

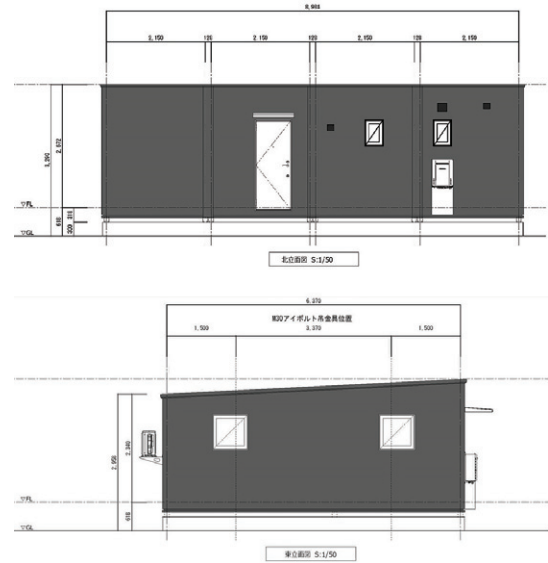
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



cutto with (キュット ウイズ) 4018

モデルプランの特徴とメッセージ

高性能ながらコストも抑えたコンパクトな平屋モデル。
間取りは2LDK、間口4.0間/18坪の計画でLDKからランドリールーム・ストレージへと続く動線。
エアコンだけに頼らずに風の流れを意識した重力換気に配慮したハイサイド窓を設けて環境にも配慮しています。

cutto_withというネーミングには、(キュット) コンパクトな住まいで被災された方に寄り添う (ウィズ) という願いが込められています。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	58.24㎡ (17.6坪)・平屋
標準工期	約4ヶ月
設計	株式会社 AXS デザイン
概算工事費	1,485万円 (税込)
施工	株式会社 AXS デザイン

主な外部仕上げ

屋根	ガルバリウム鋼板
外壁	窯業系サイディング
建具	樹脂窓 (ペアガラス)

主な内部仕上げ

床	突板フローアー
壁	ビニルクロス
天井	ビニルクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤改良費、外構費用、屋外電気工事、屋外給排水工事、エアコン、カーテン、家具、登記費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

- ① **コミュニティ** 正面に掃出し窓を設けることで内外との繋がりや気配を感じることができます
- ② **景観 (まちなみ)** 切妻片流れの屋根で能登に街並みに配慮したデザインになっています
- ③ **地域特性** 雪国には便利なランドリールームを配置しています
- ④ **住宅の基本性能** 断熱性能等級5 ZEH水準 ※性能評価書取得の場合アルミ制震ブレース搭載、重力換気装置
- ⑤ **コスト (費用)** コンパクト設計かつ規格化することでコストダウンを図ると共に復興支援住宅の為、特別価格となっています

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)AXS デザイン	所在地 石川県金沢市藤江北一丁目380番地
代表者 多江 義教	担当者 土本 優
電話番号 0120-130-333	E-mail info@axs-inc.jp

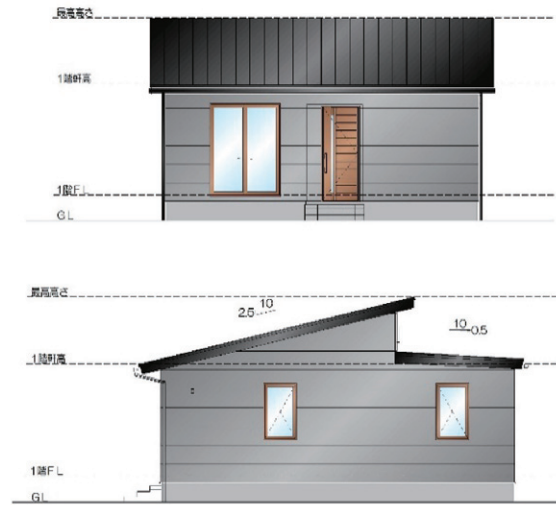
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



防災・高基礎平屋18坪

モデルプランの特徴とメッセージ

夫婦2人が今までの我が家と同じような生活を送って欲しいという願いを込めてプランを作成。
平屋は階段がなく移動もスムーズなため足腰の負担も少なく、安心して過ごせます。
またLDKと3枚引込の建具で仕切られた和室を合わせると約20帖という大空間になるため、狭苦しいというストレスはありません。息子や娘が帰省した際には和室を客間としても使用できます。リビングと和室からは自然光を十分に取り入れ、近所の方々と田畑などについて話し合う縁側も設けています。
耐震等級3、断熱等級6以上で震度7にも耐え、光熱費もお得な建物でこれからも、ふるさとの『能登』で元気に過ごしてください。

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

生まれ育った地はどんなに不便でも離れることはできません。特に『能登』は人と人のつながりを大切に生きています。助け合い、励まし合うコミュニティを第1に考えた平屋計画は縁側を設け近所の方々とのお話を愉しむ時間を作っています。この近所とのコミュニティこそが能登の田畑を復活させ、人を元気にさせ、能登の復興につながります。

② 景観 (まちなみ)

平屋のまちなみは、低層であることから近隣の住民同士が顔を合わせやすく、自然と交流が生まれやすい環境です。窓や庭からお互いの気配が感じられ、挨拶や会話が自然に生まれることで、強いコミュニティの形成を促します。特に高齢者や小さな子供がいる家庭にとっては、安心して暮らせる温かみのあるまちづくりに貢献します。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるスペースを兼ねた脱衣室になっています。また、当社は全棟無垢材、国産ひのき無垢4寸角を使用しています。サッシはトリプルガラスで断熱性も高いため、寒い冬場も家じゅうあたたかな空間となります。

④ 住宅の基本性能

住宅性能表示
構造等級3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3
省エネルギー断熱等級6/7一次エネルギー等級7/7
高基礎仕様

⑤ コスト (費用)

シンプルな形にすることで建物全体の構造費用が抑えることができます。また、工期短縮を目指すためにメーカーと交渉し能登復興プラン仕様を作成。ただし、耐震等級3と断熱等級6以上は必須とした建物となっています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 59.61㎡ (18.1坪)・平屋

標準工期 4～5ヶ月

設計 株式会社ひまわりほーむ
設計室石川

概算工事費 1,921万円 (税込)

施工 株式会社ひまわりほーむ

主な外部仕上げ

屋根 瓦または板金

外壁 窯業系サイディング

建具 外部：樹脂サッシトリプルガラス
内部：既製品建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア

壁 クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良、
電気引込ポール、家具工事、屋外給排水工事、
カーテン工事、エアコン工事、申請費用、
登記費用、諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)ひまわりほーむ 所在地 石川県金沢市新保本4丁目66-6

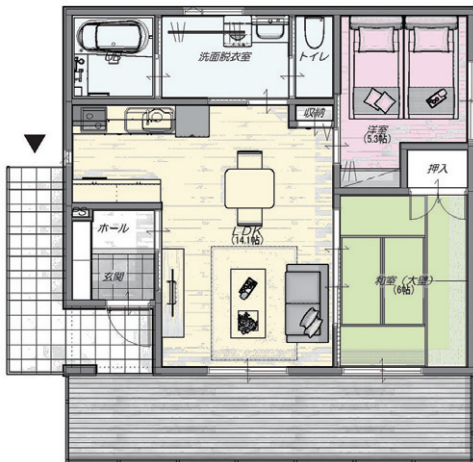
代表者 加葉田 和夫 担当者 池腰 正隆

電話番号 076-269-8103 E-mail contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



自由提案

高基礎仕様

100年以上もつ30N/mm²強度のコンクリート

基礎高1.2mのメリット

1. 巨大な床下収納に
2. 水害時の床上浸水を防ぐ
3. 湿気・白アリが上りにくく老朽化防止
4. 防犯性の上昇
5. 床下のメンテナンスが容易に
6. 眺望、陽当たりがよくなる



内観パース



内観パース



外観パース



ひまわりほーむ
安心の住宅性能

耐震等級3
(最高等級)

地盤保証はもちろん
液状化検査つき

省令準耐火

火災の延焼を遅らせる
省令準耐火仕様
火災・地震保険も割引

断熱等級6
以上

暖房光熱費削減ZEH仕様
さらに太陽光発電で
家計を手助け

JBN・平屋建物PLAN 20T 断熱6・準耐火・耐震2以上

モデルプランの特徴とメッセージ

夫婦2人が今までの我が家と同じような生活を送って欲しいという願いを込めてプランを作成。またLDKと和室を合わせると約20帖という大空間になるため、狭苦しいというストレスはありません。息子や娘が帰省した際には和室を客間としても使用できます。室内は段差のないバリアフリー仕様で、手すりの設置なども考慮し、安全性に配慮しています。日々の生活での安心感を大切に設計です。
玄関先には談話スペースを設けることで近所とのコミュニティも大切にしています。

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

生まれ育った地はどんなに不便でも離れることはできません。特に『能登』は人と人のつながりを大切に生きています。助け合い、励まし合うコミュニティを第1に考えた平屋計画は縁側を設け近所の方々とのお話を愉しむ時間を作っています。この近所とのコミュニティこそが能登の田畑を復活させ、人を元気にさせ、能登の復興につながります。

② 景観 (まちなみ)

平屋のまちなみは、低層であることから近隣の住民同士が顔を合わせやすく、自然と交流が生まれやすい環境です。窓や庭からお互いの気配が感じられ、挨拶や会話が自然に生まれることで、強いコミュニティの形成を促します。特に高齢者や小さな子供がいる家庭にとっては、安心して暮らせる温かみのあるまちづくりに貢献します。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるスペースを兼ねた脱衣室になっています。

④ 住宅の 基本性能

住宅性能表示
構造等級2or3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3・省エネルギー断熱等級6/7一次エネルギー等級7/7
断熱材は高性能グラスウール壁100mm 天井250mm

⑤ コスト (費用)

開口部の規格化を行い、コンパクトな建物にしました。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 61.27㎡ (18.6坪)・平屋

標準工期 4~5ヶ月

設計 株式会社ひまわりほーむ
設計室石川

概算工事費 1,873万円 (税込)

施工 JBN(一社)石川県工務店協会

主な外部仕上げ

屋根 瓦または板金

外壁 窯業系サイディング

建具 外部:樹脂サッシ 内部:既製品建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア

壁 クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良
電気引込ポール、家具工事
屋外給排水工事、カーテン工事
エアコン工事、申請費用、登記費用
諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)ひまわりほーむ 所在地 石川県金沢市新保本4丁目66-6

代表者 加葉田 和夫 担当者 池腰 正隆

電話番号 076-269-8103 E-mail contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



強くコンパクトでエコな住まいの3LDK

モデルプランの特徴とメッセージ

- ・地震に強く、耐震等級3（最高等級）の平屋建て
- ・南側に大きな開口で明るく、広いベンチでのんびり
- ・家事動線を短く、家事楽設計

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	52.99㎡（16.1坪）・平屋
標準工期	4ヶ月
設計	宏州建設株式会社
概算工事費	1,903万円（税込）
施工	宏州建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

- ① コミュニティ** 南面に開口、広くゆったりとベンチで団らん
- ② 景観（まちなみ）** 伝統的な黒瓦、外壁は街並みに調和した色彩
- ③ 地域特性** 軒の出を深くし、大きな玄関庇、柱材に県産材
- ④ 住宅の基本性能** 耐震等級3、断熱等級5、一次エネルギー消費等級6
エコな住まい、バリアフリー住宅
- ⑤ コスト（費用）** コンパクト設計でコスト低減
廊下をなくし床面積の低減によるコスト低減

主な外部仕上げ

屋根	和瓦
外壁	防火サイディング+アクリルリシン吹付
建具	アルミ建具（YKK330）

主な内部仕上げ

床	カラーフロア
壁	ビニールクロス
天井	ビニールクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査、地盤改良費、屋外電気工事、屋外給排水工事、エアコン、カーテン、家具、申請費用、登記費用

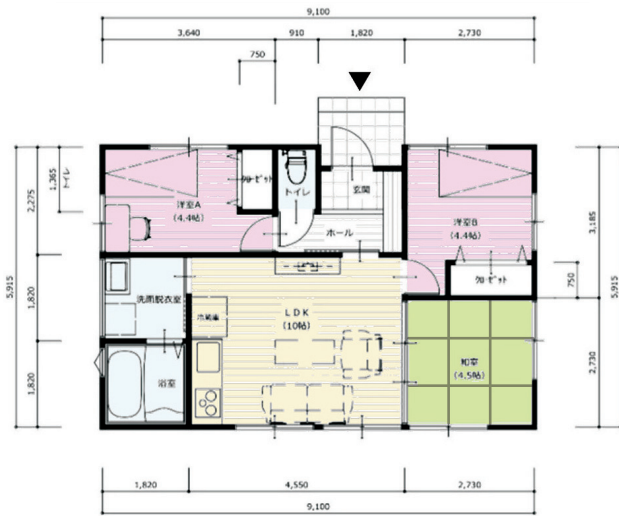
施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名	宏州建設(株)	所在地	石川県金沢市駅西本町1丁目3番15号
代表者	山田 外志雄	担当者	山田 真大
電話番号	076-263-5355	E-mail	info@koshukensetsu.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



自由提案



外観パース



DLT復興住宅

モデルプランの特徴とメッセージ

DLTとは、製材を並べて穴をあけ木ダボを差し込むだけのシンプルな工程で製造できる木質素材です。
これにより室内は、天然の木で囲まれた快適な空間としています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 62.94㎡ (19.1坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設計 株式会社 坂茂建築設計

概算工事費 2,760万円 (税込)

施工 株式会社 家元

主な外部仕上げ

屋根 瓦、ガルバリウム鋼板

外壁 羽目板

建具 アルミ樹脂複合サッシ、木製建具

主な内部仕上げ

床 フローリング、畳、クッションフロア

壁 木質仕上げ、クロス貼り

天井 OSB合板

概算工事費に含まれない費用

地盤調査および補強工事、構造計算費、
屋外電気工事、屋外給排水工事、
浄化槽設置費、外構工事、エアコン、
カーテン、置き家具費、登記関係、
諸手続き費

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

リビングダイニングに面した縁台を設け、自発的なコミュニケーションが生まれやすくしています。
また平屋建てとすることで、高齢者世帯の見守り等を行い易いように配慮しています。

② 景観 (まちなみ)

伝統的な住宅を参考に落ち着きがあり、各地域の景観に調和する色彩計画とします。

③ 地域特性

縁台や玄関ポーチおよび土間を設けており、除雪用具置き場等に利用することが可能です。
また県産木材を積極的に取り入れます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3基準および、断熱等性能等級4かつ一次エネルギー消費量等級4を満たす性能としています。

⑤ コスト (費用)

使用する木材を一般流通材に限定、また開口部のサッシ等も規格品としています。
廊下をなくし、コンパクトでありながら広い居住スペースを確保しています。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)家元

所在地 石川県金沢市問屋町1-27-1

代表者 羽田 和政

担当者 廣瀬 隆之

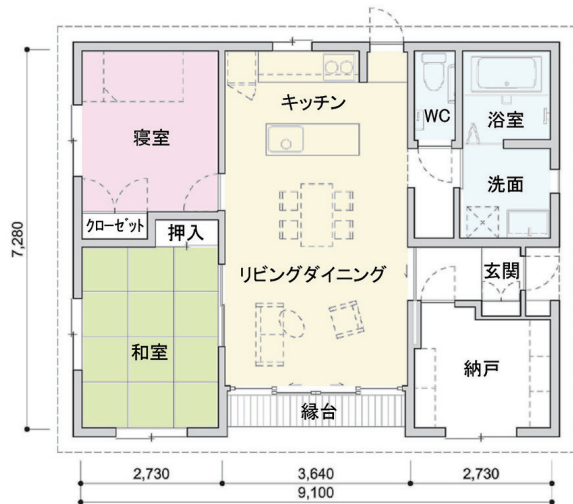
電話番号 076-255-1201

E-mail hirose@kanazawaiemoto.jp

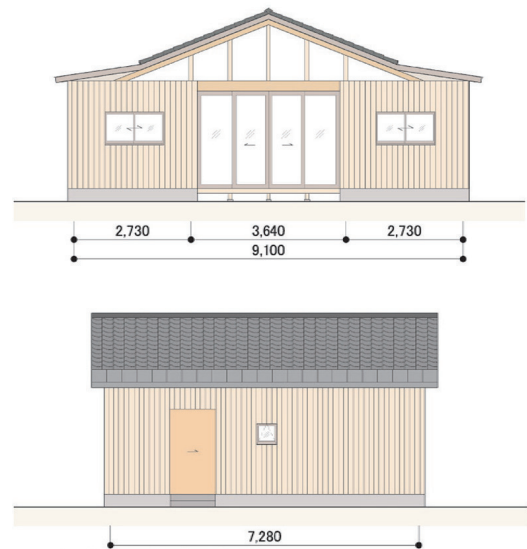
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



景観配慮型 平屋建てフレキシブル住宅(20坪タイプ)

モデルプランの特徴とメッセージ

- ・和室間や和室とダイニングキッチン、リビングの間はふすまの開閉によって、ライフスタイルや住まい方の変化に対応できる計画としています。
- ・断熱材および耐力壁を一体化したパネルをあらかじめ製作することで、工事現場での作業の短縮化を図っています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 64.59㎡ (19.6坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設 計 株式会社 家元

概算工事費 2,521万円 (税込)

施 工 株式会社 家元

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板、瓦 (オプション)
* パースは瓦

外壁 吹付け仕上げ、羽目板 (オプション)
* パースは羽目板

建具 アルミ樹脂複合サッシ、木製建具

主な内部仕上げ

床 フローリング、畳、クッションフロア

壁 OSB合板、クロス貼り、シナ合板

天井 OSB合板

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、地盤補強工事、外構工事、エアコン、カーテン、登記関係

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

居室に面した縁側を設け、自発的なコミュニケーションが生まれやすくしています。
また平屋建てとすることで、高齢者世帯の見守り等を行い易いように配慮しています。

② 景観 (まちなみ)

伝統的な住宅を参考に落ち着きがあり、各地域の景観に調和する色彩計画とします。

③ 地域特性

住宅の周囲に軒下空間、玄関ポーチおよび土間を設けており、除雪用具置き場等に利用することが可能です。
また県産木材を積極的に取り入れます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3基準および、断熱等性能等級4かつ一次エネルギー消費量等級4を満たす性能としています。

⑤ コスト (費用)

使用する木材を一般流通材に限定、また開口部のサッシ等も規格品としています。
廊下をなくし、コンパクトでありながら広い居住スペースを確保しています。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)家元

所在地 石川県金沢市問屋町1-27-1

ホームページ2次元コード

代表者 羽田 和政

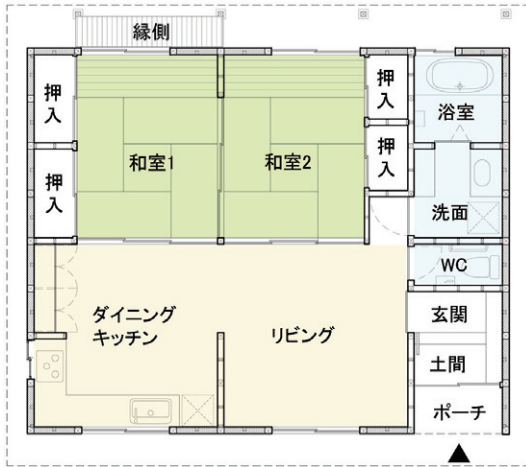
担当者 廣瀬 隆之

電話番号 076-255-1201

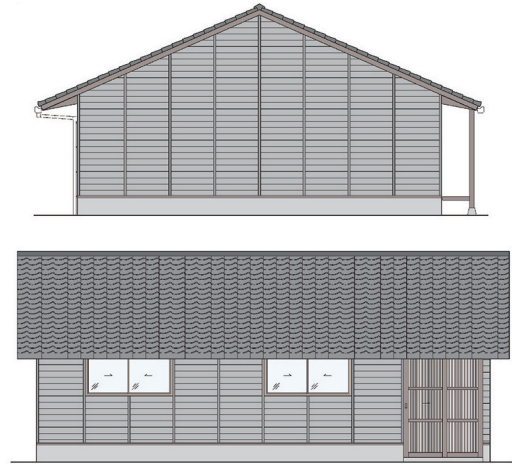
E-mail hirose@kanazawaiemoto.jp



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



ホクリビモデル『つどい』

モデルプランの特徴とメッセージ

間取りは2LDKとし、リビングダイニングは建物の中央に配し、各部屋のプライバシーを保てるように配慮した。広いリビングは遠くに住む子供たちの帰省や近隣の方々との和気あいあいとした団欒を過ごせる空間とした。炎の揺らめきが身も心も暖めてくれる薪ストーブをオプション設置も可能とした。

構造は石川県産かが杉を使ったログハウス。ログハウスの丸太組構造は地震にも強く耐久性にも優れ、準耐火45分の防火性能も有している。杉材が持つ香りや穏かな木目が住まいする人に安らぎを与えてくれる。また断熱性能も高く夏涼しく冬暖かい。さらに調湿性能にも優れ、湿気の多い石川県の冬や梅雨の時期もカラッと過ごせる。

提案プランの概要

構造・工法 木造・丸太組構法

延床面積・階数 65.12㎡ (19.7坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設計 株式会社北陸リビング社

概算工事費 1,991万円 (税込)

施工 株式会社北陸リビング社

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 杉ログ材現し・サイディング (妻側)

建具 樹脂ペアガラスサッシ/木製室内建具

主な内部仕上げ

床 カラーフローリング

壁 杉ログ現し・一部羽目板 (パイン)

天井 化粧石膏ボード

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費・地盤補強工事・屋外電気工事・屋外給排水工事・浄化槽設置・エアコン・カーテン・家具工事・外構工事・諸手続き費用・登記費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

玄関先にはルーフデッキを設け、ご近所の方と玄関先で気軽に会話が楽しめるスペースを設けた。リビングの掃き出し窓には地域の人たちとコミュニケーションが可能な縁台を設けた。

② 景観 (まちなみ)

外壁は木質 (ログ壁) 現し、屋根は伝統的な景観に配慮した黒瓦とし外観の色合いを落ち着いた色調とした。

③ 地域特性

雨や雪に配慮し玄関ポーチには屋根をかけ、屋外用具置場としてのスペースを設けた。構造材、内装材には使用材積約25㎡のかが杉を使用している。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2
断熱等級4かつ一次エネルギー消費量等級4を満たしている。
室内の段差を解消し浴室やトイレには手摺を設置した。

⑤ コスト (費用)

室内には廊下を無くし、コンパクトながら有効スペースを最大限に活用した間取りとした。
丸太材は流通する4mの素材を無駄なく活用出来るようメーターモジュールを採用しプラン作成した。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)北陸リビング社 所在地 石川県能美市辰口町573-1

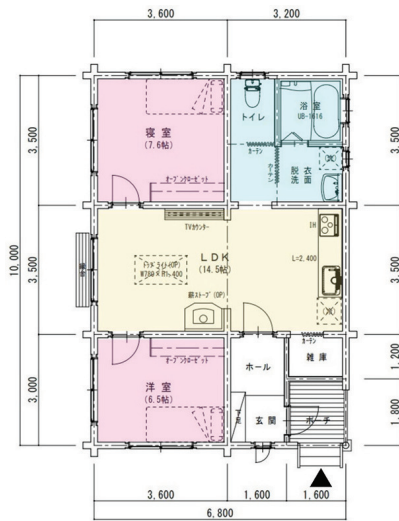
代表者 北出 秀樹 担当者 堀内 昭孝

電話番号 0761-51-2200 E-mail info@hokurikuliving.com

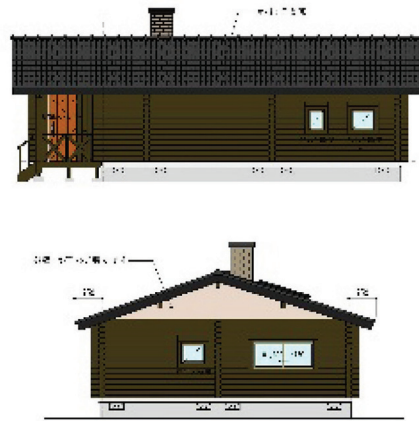
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



田の字の家

モデルプランの特徴とメッセージ

昔ながらの伝統的な田の字プランを踏襲した計画とすることで、震災により一変したとはいえ、これまで住んでいた家に感覚に近く、馴染み深いこれまでの生活スタイルに近い形で生活可能です。

平家とすることで地震に対して有利な計画としています。

大きなLDKを設けていますので、空間的にも十分必要な計画としてあります。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 68.32㎡ (20.7坪)・平屋

標準工期 6ヶ月

設計 一級建築士事務所 i Architects

概算工事費 2,500万円 (税込)

施工 ほそ川建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

玄関はリビングアクセスとし、大きいLDKを設けることで、近隣の方を招きやすい計画としました。また大きな開口とすることで外を伺い、気にさせたりと自発的なコミュニケーションを誘発できます。軒下にはベンチ設置も可能です。

② 景観 (まちなみ)

景観形成重点地区にも計画できるよう、屋根には伝統的な黒瓦、外壁には押縁下見板張りとする事で伝統的な景観を継承する配慮としています。

③ 地域特性

軒の出を大きく取ることによって雨や雪を気にすることなく半屋外空間として活用できます。大きなLDK空間も日常生活においてサンルームとしても活用できます。構造材は県産材を使用した外壁材とします。

④ 住宅の 基本性能

安心安全に配慮し耐震等級2以上とすることや断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6 (ZEH基準) とする計画も可能です。土間と諸室の段差は可能な限り低く抑えバリアフリーに配慮しています。

⑤ コスト (費用)

廊下のない計画とすることで可能な限り全体をコンパクト化し、内部においては収納になりうる箇所にも建具を設けず、居住後に居住者にてカーテン等で目隠しをしてもらうことでコストを抑える計画としています。

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 押縁下見板張り (杉)

建具 障子、フラッシュ

主な内部仕上げ

床 フローリング

壁 不燃クロス

天井 不燃クロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、諸手続き費用、登記費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 ほそ川建設(株)

所在地 石川県金沢市示野町西3番地

代表者 細川 顕司

担当者 佐々木 伊織

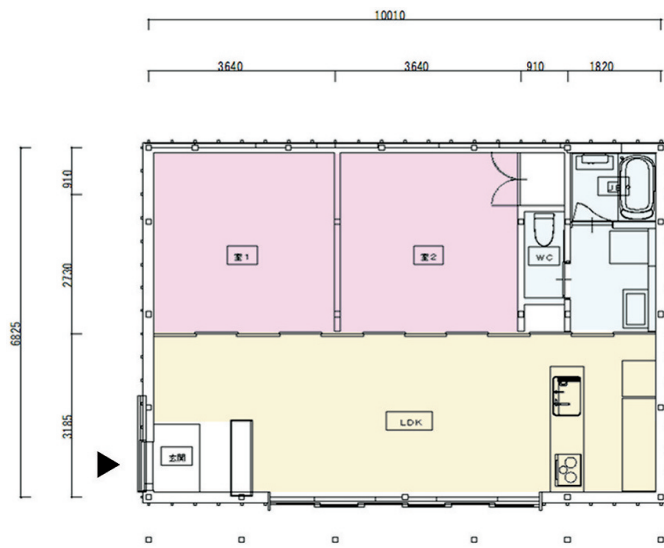
電話番号 076-267-8008

E-mail info@hosokawakensetsu.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



外観パース



能登杉トラスの住宅（ファミリータイプ）

モデルプランの特徴とメッセージ

土間リビングに馴染みのある若年層や、生業も組み合わせつつ兼用住宅（農業、店舗、アトリエ等）を求める方々の選択肢が増えるように意識して設計しました。

また、能登の木を使うために、昔のようなシンプルな木材供給網とし、どこの森の木を使ったかまでわかる住宅をつくります。プレカットを省き、大工さんによる手刻み技術を用い、かつ組み易い小屋組みをデザインしています。

住宅を建てる行為が、大工さんの技術継承や森の好循環への一助になり、個人だけでなく能登全体の復興にも関わられる仕組みを考えました。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 69.50㎡（21.1坪）・平屋

標準工期 4～5ヶ月

設計 チドリスタジオ

概算工事費 2,200万円（税込）

施工 新協建設工業 石川支店

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

兼用住宅としてもつかえるように、正面がお店の様に開かれたリビングを持ち、用途に合わせて開放感をコントロールできる計画としました。

② 景観 (まちなみ)

能登の歴史ある住宅は立派な妻面を持ちます。この建物も妻入りとしてコンパクトながら立派な妻面を持つ様に計画しました。また、部分的に瓦屋根と板金屋根を組み合わせ、街並みへの配慮と軽量化で耐震性をあげることを同時に考えています。

③ 地域特性

雨雪の多い石川県の気候に利便性の高い軒下スペースや広い土間スペースを備え、様々な使い方ができます。LDKを土間と一体的なコンクリート床として、より汎用性の高い仕様に変更することもできます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2、断熱等級4の仕様を標準としていますが、各等級をグレードアップすることも検討可能です。また、土間の間口が広く、将来の福祉用具等が設置しやすいように配慮しています。

⑤ コスト (費用)

廊下をなくすことで面積を抑える、住宅の開口部等は規格品サイズを採用する、使用する木材規格を大きく2つに絞り材料を無駄なく使うことで、コスト低減を意識しています。

主な外部仕上げ

屋根 瓦葺、ガルバリウム鋼板

外壁 リシン吹付、能登杉板貼り

建具 アルミ樹脂複合サッシ

主な内部仕上げ

床 コンクリート土間、能登杉フローリング、長尺シート

壁 クロス貼り

天井 シナ合板、クロス貼り

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、地盤調査＋補強工事、外構工事、エアコン、カーテン、家具工事、確認申請費用、登記費用

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 新協建設工業(株)石川支店

所在地 石川県金沢市法光寺町207-4

代表者 武田 正彦

担当者 栢森 公代

電話番号 076-257-2535

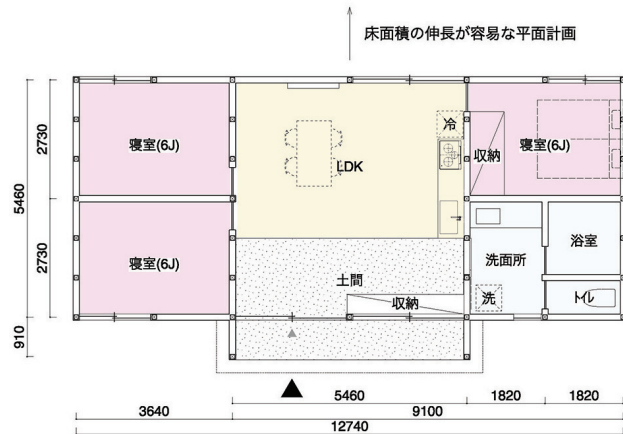
E-mail kayamori@shinkyo-ken.com

ホームページ2次元コード



チドリスタジオ

平面図

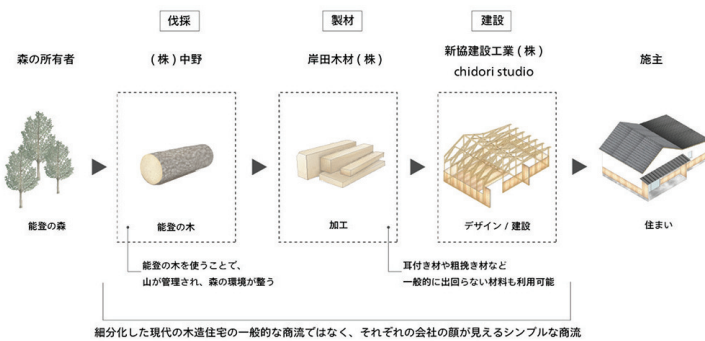


内観パース



ファミリー向けプラン

自由提案



能登の木を用いた顔の見えるシンプルな商流

能登の杉を使った屋根架構が室内にも見える

外観パース



能登地方の歴史ある家は妻壁が特徴的であるように、本住宅も妻面が印象的なデザインにしています

CONNECTIA (コネクティア)

モデルプランの特徴とメッセージ

広々とした開放的なLDKに加え、洋室が3部屋、各部屋に収納もあり、4人家族で住むには十分なスペースを確保。

- ・木造ユニットハウスの高気密高断熱により、夏は涼しく、冬は暖かい。
- ・シンプルな設計でローコスト住宅（5ユニットです、ご希望に合わせてユニット数（1ユニット：4.3坪）の増減が可能です。
- ・モバイル建築だから工場で製作・移動・お客様宅での設置が短期間（着工開始から1.5ヶ月で完成）です。
- ・省令準耐火構造のため火災保険費用の割引が大きい。
- ・工場生産の木造ユニットハウスだから、将来再販売、再利用/移設が可能。
- ・木造ユニットだから、将来の再利用も可能。持続可能な建築物によりSDGs達成に貢献。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 71.74㎡（21.7坪）・平屋

標準工期 1.5ヶ月（着工開始より）

設計 ビーエムシー建築設計事務所

概算工事費 1,991万円（税込）

施工 タマダ株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

縁側の設置。

② 景観 (まちなみ)

外壁内装の選択が可能。
地域に合わせた色彩提供。

③ 地域特性

県産材を中心の木造建築とする。
積雪荷重1m対応。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2の安心安全な住宅。
バリアフリー対応型の住宅を備える。
Ua値0.42w/㎡・Kで断熱等性能等級6を確保。

⑤ コスト (費用)

将来を見据えてその場所での目的が終了した際、再利用/移設可能な住宅とする。(モバイル建築協会特性) フラット35対応。
シンプルな設計でローコスト住宅（5ユニットですが、ユニットの増減は可能です（要相談））。
短工期による諸費用（仮住まい費等）軽減。

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板 クリップパネル

外壁 ガルバリウム鋼板 成型鋼板

建具 YKK APW330

主な内部仕上げ

床 複合フローリング・県産材

壁 化粧石膏ボード

天井 化粧石膏ボード

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、外構工事、屋外給排水電気工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、下駄箱、諸手続き費用、登記費用、移設・設置費、照明器具（リビング、洋室）、給湯器、濡れ縁、アンテナ、設計・監督費

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 タマダ(株)

所在地 石川県金沢市無量寺町ハ61-1

代表者 玉田 善久

担当者 ①上野 昭 ②野城 一晃 ③宮森 憲治

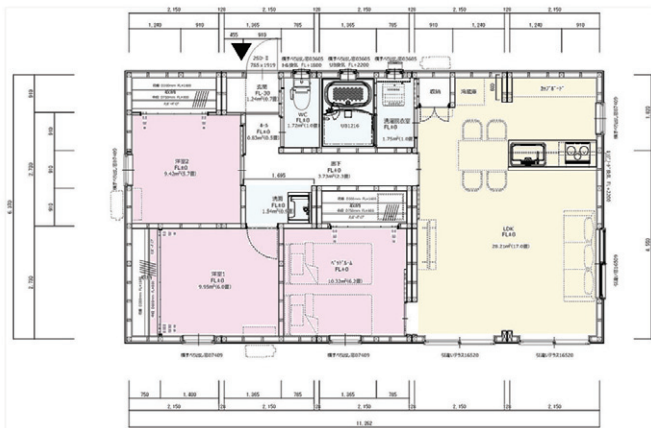
電話番号 076-204-6132

E-mail connectia@tamada.co.jp

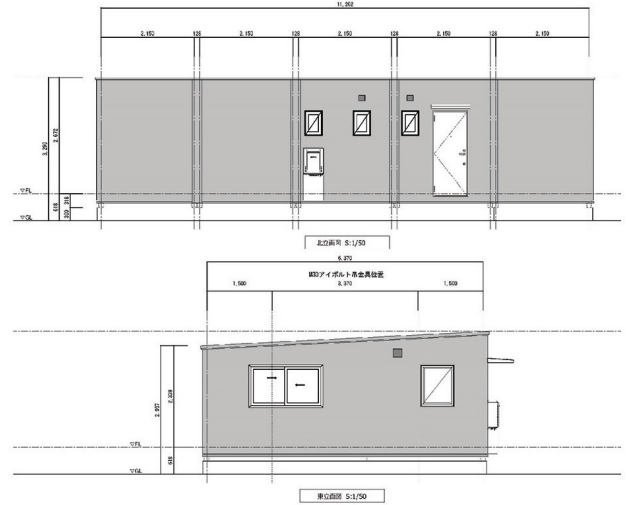
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



コンパクトでも充実した暮らしができる住まい

モデルプランの特徴とメッセージ

ご友人、ご近所の方が自然と集まれるようなコミュニティ空間を意識しました。

リビングと寝室は素足でも過ごせるよう畳敷きとし、寝転んだり床に座ったりと穏やかに過ごすことができます。

寝室の戸を開ければリビングと一体として広々使うことができます。家族全員が豊かに過ごせるように水回りを充実、収納スペースは多く設けました。ベンチに腰かけ、孤立せず温かく会話が弾む住まいをご提案します。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 71.89㎡ (21.8坪)・平屋

標準工期 5～6ヶ月

設 計 トラスト住建株式会社

概算工事費 2,430万円 (税込)

施 工 トラスト住建株式会社

主な外部仕上げ

屋根 平板瓦

外壁 防火サイディング 塗装品

建具 断熱樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 畳、フローリング

壁 クロス

天井 クロス

概算工事費に含まれない費用

外構工事、カーテン、空調設備、家具家電、地盤工事、これらに係る諸経費

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

コミュニティスペースにベンチを設け、立ち話しなど自然と集まれるようなスペースとし、ベンチには屋根を設け天候を気にせずに過ごせるようにしました。

② 景観 (まちなみ)

瓦屋根が主流としている住宅が多くあり、一体感を出すため、平板瓦を屋根素材としました。

③ 地域特性

雨や雪など天候に左右されることが多いため、玄関には屋根を設け、洗濯物は室内に干せるように脱衣場兼物干し場を設けました。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2相当。断熱材にはアイシネン（吹付けウレタン断熱材）、樹脂サッシを使用し、気密測定を現場ごと行うなど、断熱性能も確保した暖かい住まいとしました。

⑤ コスト (費用)

窓や建具など規格品を採用。廊下などの移動だけの部分をなくし、無駄のないシンプルなデザインとしました。

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 トラスト住建(株)

所在地 石川県金沢市西金沢4丁目126番地4

代 表 者 中村 健

担当者 薮 昭彦

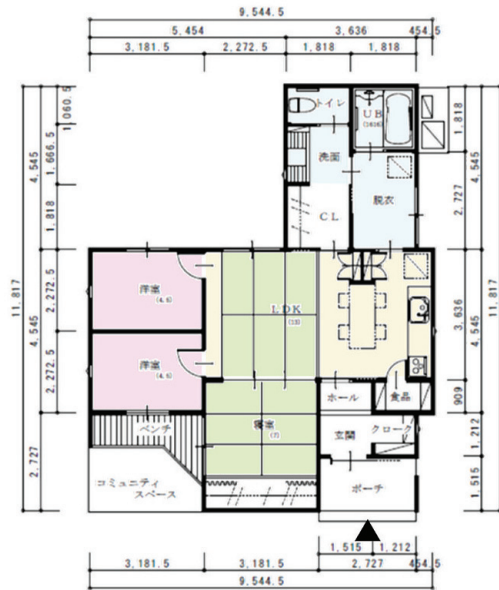
電話番号 076-240-3001

E-mail home@trust-jk.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



自由提案



外観パース



終(つい)の住処 2階建てプラン

モデルプランの特徴とメッセージ

終の住処と名付けました。コンパクトな家とは言え居場所を出来るだけ作って、住まいや生活を楽しんでいただけるよう工夫しました。

大きな玄関引き戸からLDKに光を入れ、近所の方とは開放的に道路からは納戸を配して中が見えない位置にして閉鎖的にしてプライバシーを守ります。2階は帰省時等のご家族が増えたときの部屋として&子育て世代にも対応。廊下を少し広くして将来的な身体の変化にも対応できるようにしています。

「末永く使っていただく」それを願ってモデルプランの名前を付けました。能登産の材料、能登の人たちの力を借りて建設し、産業復興の一助になりたいと願う建物です。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 73.23㎡ (22.2坪)・2階

標準工期 6ヶ月

設計 新協建設工業(株)
石川支店一級建築士事務所

概算工事費 2,486万円(税込)

施工 新協建設工業(株)石川支店

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板立平葺き

外壁 防火サイディング 弾性リシン吹付

建具 内部：木製 外部：アルミ(一部木)

主な内部仕上げ

床 杉フローリング

壁 和紙クロス

天井 和紙クロス

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事 屋外給排水工事 外構工事
家具工事 空調工事 地盤調査 地盤改良工事
カーテン工事 確認申請費用 登記費用
家電製品

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

大きな玄関引き戸で中の様子が確認できる開かれた住まいであるとともに、中庭を利用し、地域のコミュニティも大切に出来る間取りとしています。

② 景観 (まちなみ)

勾配屋根とし、地域の古い建物と違和感のない作りとしています。コア部分の板貼りもその一つです。

③ 地域特性

雨の多い地域ですから、軒が建物を守り庇は梅雨時期でも窓が開けられるよう配慮しています。雪対策は雪止めで落雪対策、荷重に対しては在来木造の地域性を活かして材料のサイズを決めます。風に対しても同様です。

④ 住宅の 基本性能

構造基準等級2
省エネ基準等級4

⑤ コスト (費用)

能登産を使うという事で商流を見直し、コストを検討します。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 新協建設工業(株) 石川支店 所在地 石川県金沢市法光寺町207-4

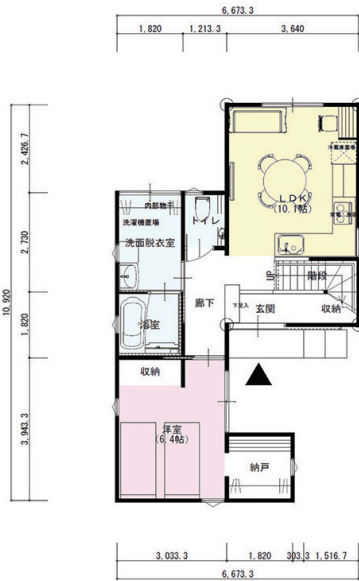
代表者 武田 正彦 担当者 栢森 公代

電話番号 076-257-2535 E-mail kayamori@shinkyo-ken.com

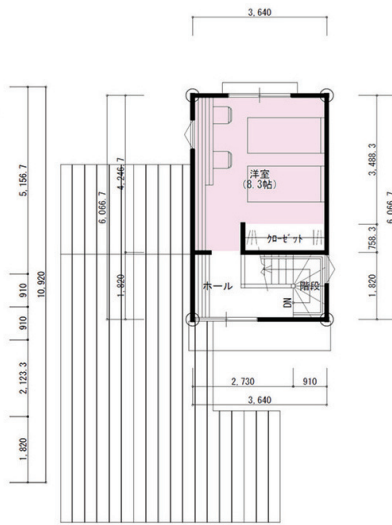
ホームページ2次元コード



1階平面図



2階平面図



立面図



内観パース



立面図



外観パース



大きな軒下のある平屋

モデルプランの特徴とメッセージ

伝統的な建築様式である「通り庇」を思わせる深い軒下空間はリビング・ダイニングからつながります。
 天気の良い日は家族や気の合う友人とお昼ごはんやおしゃべりを楽しんだり、前に広がる家庭菜園で収穫した野菜を広げて一服のお茶を楽しんだり、楽しみがいっぱいです。

4人家族から夫婦2人の生活はもちろん、親子や兄弟で暮らす間取りへの変更可能です。また、同プランと同じ特徴を持った2階建てでありながら平屋感覚で住める「1.5階建てプラン」もご用意しています。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	76.28㎡ (23.1坪)・平屋
標準工期	約4ヶ月 (基礎着工～完成)
設計	ニューハウス工業株式会社
概算工事費	2,144万円 (税込)
施工	ニューハウス工業株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

リビング・ダイニングを表の通りに向けて配置すれば、内と外の間に大きな軒下空間を設けたことで地域とのつながりが一層深まります。深い軒は雨除けとして夏の強い日差しからも守ってくれますから、縁側(濡れ縁)やデッキを設ければ外での楽しい生活が広がります。キッチンの正面に設けたミニ出窓からは風や光、そして外の気配も感じられます。

② 景観 (まちなみ)

軒と勾配がある切妻屋根に防災性の高い瓦を使うことで北陸の気候に適した屋根にしました。外壁は土壁風の仕上げをベースに玄関廻りに石川県産材の天然木の羽目板を使い既存の景観や風土に融和するようにしました。

③ 地域特性

雨や雪、湿気が多い石川県でも安心な高耐久設計だから実現する“長寿命な家”がニューハウスの特徴です。冬場に配慮した少し広めの玄関ポーチや大型ランドリーを取り入れた間取りも石川の生活には欠かせません。

④ 住宅の基本性能

耐震等級3 (許容応力度計算)と工業化ベタ基礎による高い耐震性能と省エネ義務基準 (2025年)を大きく上回った断熱性能で安全・安心かつ快適で省エネな高性能住宅を提供いたします。バリアフリー設計はもちろん、停電時に非常灯になる保安灯や大きな地震で発生する通電火災に備えた感震ブレーカーなど災害にも配慮しました。

⑤ コスト (費用)

廊下を最小とする設計をはじめ踏み型(ウォークイン型)収納をあえて採用しない収納設計などコンパクトな間取りでありながら居室の広さや収納量を重視しました。外の大きな軒下空間はリビング・ダイニングの一部としてもいかがでしょうか。これも広さを感じさせる工夫の一つです。

主な外部仕上げ

屋根	平瓦 (F型/防災瓦)
外壁	窯業系サイディング/一部木製羽目板
建具	高性能樹脂窓 (ガス入りLow-E複層ガラス)

主な内部仕上げ

床	木質フローリング
壁	ビニルクロス
天井	ビニルクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、構造計算費、屋外給排水工事費、電気引込工事費、浄化槽設置費、エアコン、照明工事費、カーテン(本体)、外構工事費(縁側(濡れ縁)や植栽も外構工事)、移動可能な家具や家電製品、食器棚、借入経費等の諸手続き費用、登記費用、現場状況経費(建築地による)

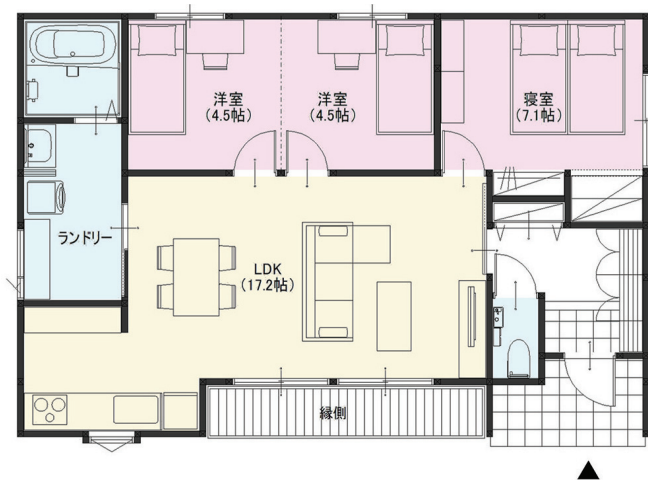
施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名	ニューハウス工業(株)	所在地	石川県金沢市西泉1丁目66番地1
代表者	村上 哲也	担当者	岡山 靖史 (金沢東支店)
電話番号	076-252-6100	E-mail	info@newhouse-newhouse.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



可搬型木造建物「モクタスキューブ」で作る復興住宅

モデルプランの特徴とメッセージ

当社が開発した可搬型木造建物「モクタスキューブ」を使った75㎡タイプの住宅です。
水回りまでセットした木造ユニット（1ユニット15㎡）を工場で生産し、現地まで運搬して連結・設置するため、現地での工事工程が少なく、短い工期での完成が可能です。
コンパクトで整形な、使い勝手の良い住宅です。
「モクタスキューブ」は能登半島地震において、復興支援者用宿舎や輪島塗工房として採用して頂きました。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	76.71㎡（23.2坪）・平屋
標準工期	約3ヶ月
設計	向設計合同会社
概算工事費	3,630万円（税込）
施工	東急建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

住人と近隣のお互いの顔が見える開かれた住宅を目指し、リビング・ダイニングには掃き出し窓を2か所設け、地域とのコミュニケーションを生むプランとしています。屋外に開いた明るく開放的な空間です。

② 景観 (まちなみ)

外壁には落ち着いた色味の木目調の金属サイディングを使用し、地域や街並みを問わず、景観に馴染む外観としています。

③ 地域特性

内装には木材を多く使用することで、木の温もりが感じられる空間としています。オプションにて県産材を使用することも可能です。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3、断熱等級4（Ua値0.6以下）を確保しています。
また、高齢者等配慮対策等級3を満たしたバリアフリーに配慮した計画としています。

⑤ コスト (費用)

ユニットを工場生産する為、現地での工事費用を抑えることができます。また、住宅設備や開口部のサッシは規格品を採用することでコスト低減を図ります。
※現在の概算工事費は遠方より施工者を派遣する想定費用となっており、地元業者にて現地工事が可能な場合、費用は下がることが想定できます。

主な外部仕上げ

屋根	金属折版屋根
外壁	金属サイディング
建具	アルミ樹脂複合サッシ (Low-e複層ガラス)

主な内部仕上げ

床	天然木フローリング
壁	ビニルクロス（腰壁部：シナ合板）
天井	シナ合板

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、屋外電気工事費、外構工事費、植栽工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、可動式家具、諸手続き費用、登記費用

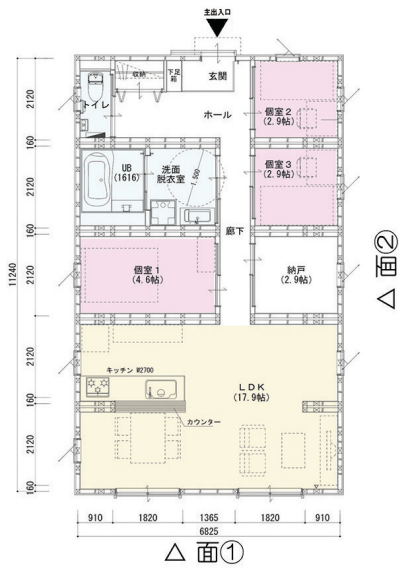
施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名	東急建設(株)	所在地	東京都渋谷区渋谷1-16-14
代表者	寺田 光宏	担当者	価値創造推進室 イノベーション推進部/野村
電話番号	03-5466-5077(価値創造推進室)	E-mail	a0113011@tokyu-cnst.co.jp

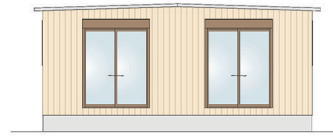
ホームページ2次元コード



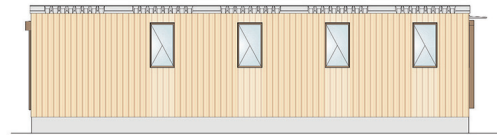
平面図



立面図



面①立面図



面②立面図

内観パース



LDKより屋外を望む

内観パースまたは自由提案

【モクタスキューブの特徴】



工場で建物を製作



トラックで運搬



現地で施工した基礎に
運んできた建物を設置



これにより、短い工期
での完成が可能です。



外観パース



※ウッドデッキを含む外構、植栽は別途工事になります。

耐震・省エネ高基礎平家25坪

モデルプランの特徴とメッセージ

家族が心地よく過ごせるように寝室ともう一室はリビングを中心にし、適度にプライバシーを守っています。ただ、気配や声は届きやすいように配慮しています。

またLDKと和室を合わせると約20帖と大空間になるため、今までの建物と同じように狭さを感じず過ごせ、和室は第3の居室としても使用可能。

そして、なんといっても水害に強い高さ1.2mの高基礎仕様。耐震等級3、断熱等級6以上で震度7にも耐え、光熱費もお得な建物でこれからも、ふるさとの『能登』で元気に過ごしてください。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 77.84㎡ (23.6坪)・平屋

標準工期 4～5ヶ月

設計 株式会社ひまわりほーむ
設計室石川

概算工事費 2,150万円 (税込)

施工 株式会社ひまわりほーむ

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

生まれ育った地はどんなに不便でも離れることはできません。特に『能登』は人と人とのつながりを大切に生きています。助け合い、励まし合うコミュニティを第1に考えた平屋計画は縁側を設け近所の方々とのお話を愉しむ時間を作っています。この近所とのコミュニティこそが能登の田畑を復活させ、人を元気にさせ、能登の復興につながります。

② 景観 (まちなみ)

平屋のまちなみは、低層であることから近隣の住民同士が顔を合わせやすく、自然と交流が生まれやすい環境です。窓や庭からお互いの気配が感じられ、挨拶や会話が自然に生まれることで、強いコミュニティの形成を促します。特に高齢者や小さな子供がいる家庭にとっては、安心して暮らせる温かみのあるまちづくりに貢献します。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるスペースを兼ねた脱衣室になっています。また、当社は全棟無垢材、国産ひのき無垢4寸角を使用しています。サッシはトリプルガラスで断熱性も高いため、寒い冬場も家じゅうあたたかな空間となります。

④ 住宅の 基本性能

住宅性能表示
構造等級3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3
省エネルギー断熱等級6/7一次エネルギー等級7/7
高基礎仕様

⑤ コスト (費用)

シンプルな形にすることで建物全体の構造費用が抑えることができます。また、工期短縮を目指すためにメーカーと交渉し能登復興プラン仕様を作成。ただし、耐震等級3と断熱等級6以上は必須とした建物となっています。

主な外部仕上げ

屋根 瓦または板金

外壁 窯業系サイディング

建具 外部：樹脂サッシトリプルガラス
内部：既製品建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア

壁 クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良、
電気引込ポール、家具工事、屋外給排水工事、
カーテン工事、エアコン工事、申請費用、
登記費用、諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)ひまわりほーむ 所在地 石川県金沢市新保本4丁目66-6

代表者 加葉田 和夫 担当者 池腰 正隆

電話番号 076-269-8103 E-mail contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



自由提案

ひまわりほーむの基礎は
100年以上もつ30N/m²強度のコンクリート



フルベース基礎

耐震性、地中からの湿気、シロアリ等の侵入を防ぐため、フルベース基礎を採用。断熱は全面にもしっかりと施され、地盤の湿気には家を固く支える強い構造となっています。



金物

基礎と土台を固定するオールダウン金物とアンカーボルト。漏れよりも多く入れることで、よりしっかりと固定します。



基礎断熱工法

基礎の内側に断熱材を貼り付けます。基礎を温めることで土壌と基礎の温度差を減らし、湿気の発生を防ぎます。家を冬も暖かく保ちます。断熱材は、家を冬も暖かく保ちます。

ひまわりほーむの高基礎仕様
※オプション

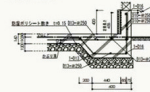
基礎高1.2mのメリット

1. 巨大な地下収納に
2. 全室の床下通気を防ぐ
3. 湿気、虫や鼠などによる害虫の発生防止
4. 断熱性の向上
5. 床下のメンテナンスが容易に
6. 断熱、断水、断電が容易に



一般的なコンクリート	(30年)	18N/m ²	建築基準法はクリア。でも...
ノーメンテコンクリート	(65年)	24N/m ²	27~33N/m ² で高層ビルと同じ
ひまわりほーむの基礎	(100年以上)	30N/m ²	ダムに使う強度と同じ

<標準基礎>



N/m²数が高いほど基礎は劣化しにくくなります!

- 鉄筋は16mmと13mmを使用。250mm間隔で入れます
- 基礎巾は160mm
- 換気硬口は設けず換気扇で強制排気します

内観パース



内観パース



外観パース



ひまわりほーむ
安心の住宅性能

耐震等級3
(最高等級)

地盤保証はもちろん
液状化検査つき

省令準耐火

火災の延焼を遅らせる
省令準耐火仕様
火災・地震保険も割引

断熱等級6以上

暖房光熱費削減ZEH仕様
さらに太陽光発電で
家計を手助け

能登の豊かな自然を取り込む「家族が集う」センターリビングの家

モデルプランの特徴とメッセージ

能登の豊かな自然を取り込む「家族が集う」センターリビングの家
リビングを中心にプライベートルームや水回りを配置することで
自然と家族が集まり、ぬくもりあふれる絆がいつまでも続きます。
家族のつながりを感じながら、能登の風土に寄り添い、家族が永
く安心して暮らせる住まいです。
センターリビングは開放的なウッドデッキとつながり、能登の豊
かな自然と地域コミュニティの中で子供を育む住まいです。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 78.25㎡ (23.7坪)・平屋

標準工期 4.5ヶ月

設計 株式会社クロダハウス
一級建築士事務所

概算工事費 2,400万円 (税込)

施工 株式会社クロダハウス

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

能登の風土に寄り添い、地域の温もりを感じられる
間口の広いウッドデッキは、LDKと一体化した開
放的な空間。ご近所とのふれあいや助け合い、人と
人とのつながりを大切に育む、心豊かなコミュニ
ティを生み出す間取りプランです。

② 景観 (まちなみ)

能登ならではの風情を感じる開放的な平屋が、能登
の豊かな自然な景観に溶け込みます。小さな子ども
を育む家庭にとって、能登の穏やかな暮らしと相
まって、安心感とぬくもりに満ちたまちづくりに
貢献します。

③ 地域特性

雨や雪の多い北陸地域に出番の多い、雨具や除雪用
品置き場を考慮した間口の広い玄関が特徴です。ま
た、天気の良い日は外で洗濯物が干せる、開放的な
ウッドデッキが北陸ならではの特徴的な間取りで
す。構造材は県産材を活用します。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級：3
断熱等級：5
一次エネルギー消費量等級：6

⑤ コスト (費用)

LDKを間取りのセンターに配置する事で廊下を無
くしたシンプルな間取りが実現しました。

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板AT葺き

外壁 窯業系サイディング

建具 外部：複層ガラス樹脂サッシ
内部：建材建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア

壁 クロス仕上

天井 クロス仕上

概算工事費に含まれない費用

外構・植栽・地盤調査
・地盤改良/地盤補強工事
・屋外電気工事・屋外給排水工事
・浄化槽工事・エアコン・カーテン
・家電品・置き家具・登記費用
・諸手続き費用・これらに係る諸経費

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)クロダハウス

所在地 石川県金沢市駅西新町3-13-2

代表者 東 一寛

担当者 黒澤 雄介

電話番号 076-234-3060

E-mail sweden@kurodahouse.jp

ホームページ2次元コード



SHIFT(シフト)4524

モデルプランの特徴とメッセージ

構造体スケルトン/内装インフィルの考え方で可変性という特別な性能を持ったロングライフ平家住宅

時代や環境の変化に合わせて建てた後でも自由に間取りを変化させられる「変わる家」をシンプルに「シフト」と名付けています。

建物は3LDK、間口4.5間/24坪の計画となり、サンルームも兼ねた洗面脱衣、縁側テラスも設け様々な使い勝手ができます。

勾配高天井側面にはハイサイド窓を設け、環境に配慮した風が吹き抜ける重力換気窓を設置しています。

高性能で安全なより長く快適に暮らせる住まいを提案致します。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 78.66㎡ (23.8坪)・平屋

標準工期 約4ヶ月

設計 株式会社 AXS デザイン

概算工事費 2,100万円 (税込)

施工 株式会社 AXS デザイン

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板

外壁 窯業系サイディング

建具 樹脂窓 (ペアガラス)

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニルクロス

天井 ビニルクロス

概算工事費に含まれない費用

地盤改良費、外構費用、屋外電気工事、屋外給排水工事、エアコン、カーテン、家具、登記費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

屋根のある縁側テラスで地域コミュニティに配慮しています

② 景観 (まちなみ)

切妻の勾配屋根で能登に街並みに配慮したデザインになっています

③ 地域特性

サンルーム洗面脱衣やファミリークローゼットを設け収納にも配慮しています

④ 住宅の 基本性能

断熱性能等級6 ZEH水準、耐震等級3 ※性能評価書取得の場合
重力換気装置、高性能でコストパフォーマンスの高い住まいです

⑤ コスト (費用)

シンプルな平面設計かつ規格化することでコストダウンを図っています

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)AXS デザイン

所在地 石川県金沢市藤江北一丁目380番地

代表者 多江 義教

担当者 土本 優

電話番号 0120-130-333

E-mail info@axs-inc.jp

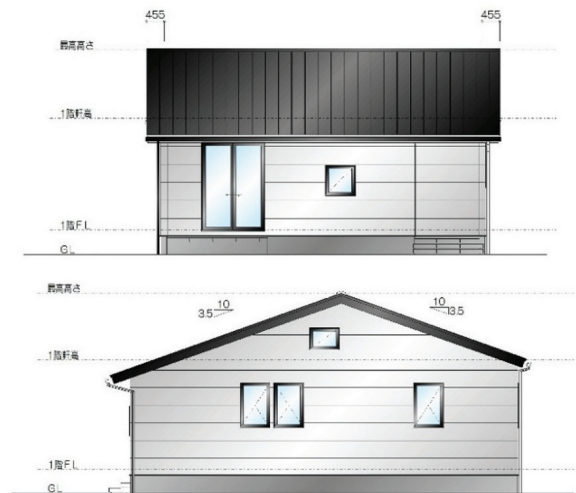
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



いしかわ和らぐファミリー

モデルプランの特徴とメッセージ

4人家族でもゆったりと暮らせます。1階に寝室があるので階段の上り下りが不要です。

※別途、高断熱かつ太陽光発電で光熱費を抑えられるプランもご提案できます。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 79.32㎡ (24.0坪)・2階

標準工期 約6ヶ月

設 計 株式会社 沢野建設工房

概算工事費 2,500万円(税込)

施 工 JBN(一社)石川県工務店協会

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

テラスが家族やお友達との憩いの場になります。

② 景観 (まちなみ)

黒瓦と外壁の一部を下見板として地域との調和をはかります。

③ 地域特性

広いテラスに除雪道具が置けます。

④ 住宅の 基本性能

断熱等級5

⑤ コスト (費用)

2500万円(税込)～
できるだけ無駄をなくしたシンプルな間取りで
コストの上昇を抑えています。
※諸条件や打合せ内容によって変動いたします。

主な外部仕上げ

屋根 日本瓦 4.0寸勾配

外壁 窯業系サイディング リシン吹付仕上
一部下見板張り

建具 ペアガラス樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

外構工事、エアコン工事、カーテン工事、
家具工事、地盤改良工事、屋外電気工事、
屋外設備工事、その他

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)沢野建設工房 所在地 石川県かほく市七窪木5-1

代 表 者 澤野 幸樹 担当者 上 仁史

電話番号 076-283-3360 E-mail sawano@sawano-kk.com

ホームページ2次元コード



24坪 二階建てプラン

モデルプランの特徴とメッセージ

壁付キッチンでDKスペースを最大限に活用し、玄関を含むLDK一体型で開放的な雰囲気を演出。

広々とした快適な住まいの間取りです。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 79.48㎡ (24.1坪)・2階

標準工期 5ヶ月

設 計 株式会社アントール

概算工事費 1,780万円 (税込)

施 工 株式会社アントール

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

建物前面に縁側を設け、リビングから直接行き来することでゆるやかに外へとつながる空間にした。

② 景観 (まちなみ)

落ち着いた色彩で町並みの景観を損なわないようにした。

③ 地域特性

構造材に県産木材を積極的に取り入れる。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3、ZEH基準とした。

⑤ コスト (費用)

コンパクトで廊下のないシンプルな構造とした。

主な外部仕上げ

屋根 ガルバニウム鋼板

外壁 ガルバリウム鋼板・防火サイディング

建具 メーカー既製品

主な内部仕上げ

床 カラーフロア張り

壁 ビニールクロス貼

天井 ビニールクロス貼

概算工事費に含まれない費用

外構工事 屋外給排水工事

屋外電気工事

地盤改良費

エアコン カーテン家具 登記費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)アントール

所在地 石川県七尾市小島町九部3番地

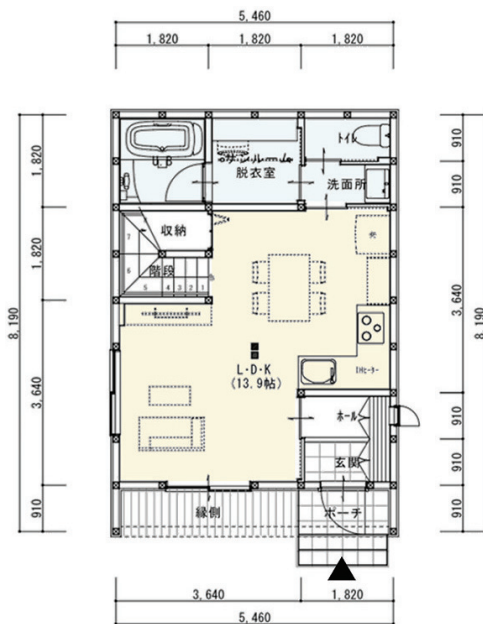
代 表 者 川上 孝一

担当者 白田

電話番号 0767-53-4311

E-mail m.shirata@antol.co.jp

1階平面図



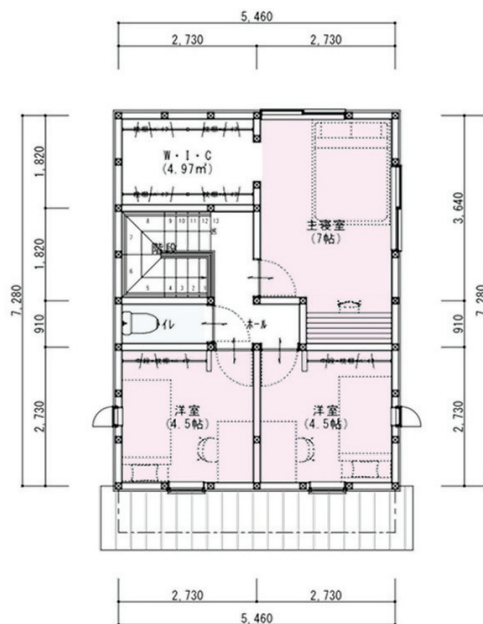
立面図



内観パース



2階平面図



外観パース



平屋PLAN「楽」・24坪 断熱6・準耐火・耐震3

モデルプランの特徴とメッセージ

ファミリー世帯でも嬉しい平屋プラン。
家族のつながりを感じながら生活できるだけでなく、将来的にも安心して暮らせる住まいです。
リビングを中心にプライベートルームや水廻りを配置することで使い勝手が良く、さらには家族が自然と集まり、今までの仲の良い家族コミュニティが保てます。
ワンフロアでエアコン1台で快適に過ごせ、光熱費もお得です。

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

生まれ育った地はどんなに不便でも離れることはできません。特に『能登』は人と人とのつながりを大切に生きています。助け合い、励まし合うコミュニティを第1に考えた平屋計画は縁側を設け近所方々との会話を愉しむ時間を作っています。この近所とのコミュニティこそが能登の田畑を復活させ、人を元気にさせ、能登の復興につながります。

② 景観 (まちなみ)

平屋のまちなみは、低層であることから近隣の住民同士が顔を合わせやすく、自然と交流が生まれやすい環境です。窓や庭からお互いの気配が感じられ、挨拶や会話が自然に生まれることで、強いコミュニティの形成を促します。
特に高齢者や小さな子供がいる家庭にとっては、安心して暮らせる温かみのあるまちづくりに貢献します。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるように脱衣室は広めに設け、サンルームと兼用です。断熱性も高いためエアコン1台で洗濯物も十分に乾きます。

④ 住宅の 基本性能

住宅性能表示
構造等級3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3・
省エネルギー断熱等級6/7一次エネルギー等級7/7

⑤ コスト (費用)

シンプルな形にすることで建物全体の構造費用が抑えることができます。また、工期短縮を目指すためにメーカーと交渉し能登復興プラン仕様を作成。ただし、耐震等級3と断熱等級6以上は必須とした建物となっています。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	80.32㎡ (24.3坪)・平屋
標準工期	4～5ヶ月
設計	株式会社ひまわりほーむ 設計室石川
概算工事費	2,110万円 (税込)
施工	ひまわりほーむグループ (ひまわりほーむ、イノベーション ンジャパン)

主な外部仕上げ

屋根	瓦または板金
外壁	塗装版サイディング
建具	外部：樹脂サッシトリプルガラス 内部：既製品建具

主な内部仕上げ

床	建材フロア
壁	クロス仕上げ
天井	クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良、
電気引込ポール、家具工事、
屋外給排水工事、カーテン工事、
エアコン工事、申請費用、登記費用、
諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名	(株)ひまわりほーむ	所在地	石川県金沢市新保本4丁目66-6
代表者	加葉田 和夫	担当者	池腰 正隆
電話番号	076-269-8103	E-mail	contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



ひまわりほーむ
安心の住宅性能

耐震等級3
(最高等級)

地盤保証はもちろん
液状化検査つき

省令準耐火

火災の延焼を遅らせる
省令準耐火仕様
火災・地震保険も割引

断熱等級6以上

暖房光熱費削減ZEH仕様
さらに太陽光発電で
家計を手助け

いしかわ家族の彩り

モデルプランの特徴とメッセージ

石川県の気候、家族のつながりを意識した間取りにしました。

収納スペースもしっかり確保されています。

また耐震等級3など快適に安心して生活していただけるよう性能も充実しています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 80.71㎡ (24.5坪)・平屋

標準工期 4ヶ月

設 計 みづほ工業株式会社

概算工事費 1,980万円 (税込)

施 工 みづほ工業株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

地域の方とのコミュニケーションを図るため、軒下に縁側を設けました。また家族間のコミュニケーションを図るため、LDKから直接居室につながる間取りにしました。

② 景観 (まちなみ)

屋根は瓦(黒)、破風板、軒裏は木目調にすることにより伝統的な街並みが残る地域でも馴染むように配慮しました。また屋根の形状でデザイン性をだし若い世代の方も意識した外観にしました。

③ 地域特性

石川県の気候を考慮し、除雪道具なども収納できるように広めの土間収納を設け、洗面脱衣兼サンルームを広くしました。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級3
断熱等級4
高齢者等配慮対策等級3

⑤ コスト (費用)

コスト低減に配慮した住宅とするため、規格品サイズのサッシを採用し、また床面積を減らすためLDKから直接居室に入るなど廊下を最小限にする間取りとなるように意識しました。

主な外部仕上げ

屋根 瓦

外壁 サイディング

建具 既製品

主な内部仕上げ

床 フローリング・CF

壁 クロス

天井 クロス

概算工事費に含まれない費用

- ・屋外電気工事
- ・屋外給排水工事
- ・地盤補強工事
- ・外構工事
- ・エアコン
- ・カーテン
- ・家具工事
- ・家電
- ・登記に要する費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 みづほ工業(株)

所在地 石川県金沢市八日市5丁目562番地

代表者 梅谷 基樹

担当者 松田 竜紀

電話番号 076-240-7010

E-mail info@mizuho-ie.com

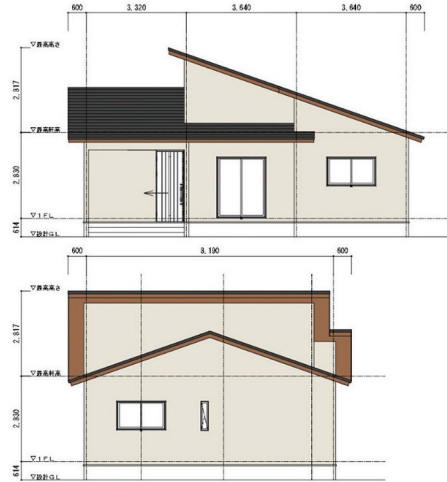
ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



内観パース



外観パース



まちと連続する小さな住まい（2階）

モデルプランの特徴とメッセージ

住人がその時の天候や気分、または行事に合わせて空間を使える、小さくても選択性のある暮らしを提案します。道から寝室に至るまで連続的な空間で、外部への開放度が段階的になっています。

住人がその場その時に合わせて使う場所を選択できます。（地域とより繋がりたい時は縁側や食堂、静かに本を読みたいときは居間など）別の空間に居ても空気が伝わるよう、また同じ空間に居ても1人にもなれるよう、床や天井の高さ、開口部を調整しています。それは外部との距離感や家族どうしの距離感を調整し、心地よい生活を送ることに繋がると考えています。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法+タテログ構法

延床面積・階数 86.12㎡（26.1坪）・2階

標準工期 2ヶ月

設計 株式会社kyma

概算工事費 2,460万円（税込）

施工 株式会社芳賀沼製作

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

食堂のコーナー窓・縁側はまちと繋がり、自発的な（受動的にも）コミュニケーションを誘導します。居間はそこから一段上げることで少し落ち着きを設け、そこから階段で2階の寝室へと連続していく計画としています。

② 景観 （まちなみ）

外壁は杉の羽目板、屋根は経済性を考慮し折板屋根を採用しました。既存のまちなみに色彩を合わせることで、折板屋根という異素材がよいアクセントとなるよう考慮しています。

③ 地域特性

雨や雪が多い能登の気候特性に合わせ、道に面して屋根付きの縁側を設けています。縁側が地域との接点となり、周辺住民との関係性を構築する1つの契機になればいいと考えています。

④ 住宅の 基本性能

（耐震）軸組構造+タテログパネルの耐震壁によって耐震性能を確保します。
（省エネ・環境負荷）外壁はタテログパネル、屋根はグラスウールによって、断熱性能を確保します。また大きく出た屋根は夏季の強い日射を遮蔽します。

⑤ コスト （費用）

ローコストでも水準以上の居住性を実現するために以下を計画。①容積を最小限に抑える。②シンプルな軸組構造+タテログパネルで工期を短縮。③内壁はタテログパネルで内装材を省略。④折板屋根を採用し、垂木・野地板を省略。

主な外部仕上げ

屋根 折板屋根（ガルバリウム鋼板）

外壁 スギ板縦張り 押縁押さえ

建具 複層樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床 フローリング+クッションフロア

壁 スギ現し仕上げ、一部クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

- ・地盤調査費
- ・外構工事
- ・屋外給排水工事
- ・エアコン
- ・登記に要する費用
- ・地盤補強工事
- ・屋外電気工事
- ・浄化槽設置費
- ・カーテン、家具工事
- ・諸手続き費用

施工者の基本情報（連絡窓口）

代表社名 ㈱芳賀沼製作

所在地 福島県南会津郡南会津町針生字小坂40-1 石川県輪島市河井町3-216-1 ホームページ2次元コード

代表者 芳賀沼 伸

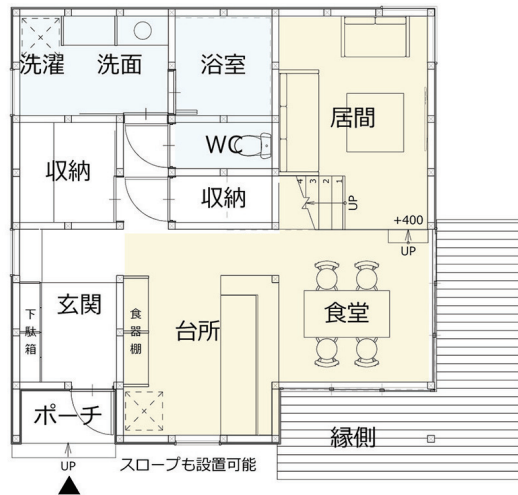
担当者 芳賀沼 克紀

電話番号 0241-64-2221

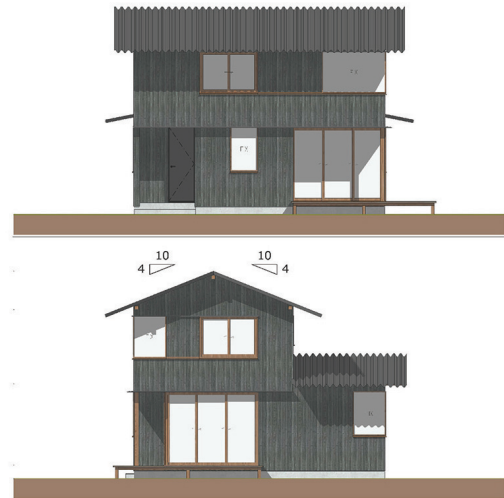
E-mail info@haganuma.co.jp



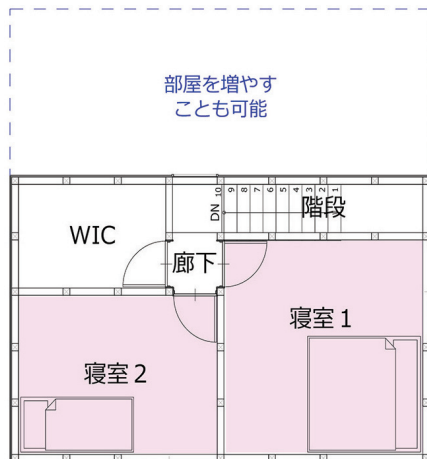
平面図



立面図



2階平面図



内観パース



外観パース



LDKに勾配天井を設けた開放感のある住まい

モデルプランの特徴とメッセージ

家族の気配を感じる空間として、リビングの上部に開放的な吹き抜けを設置。

床は無垢材の温かみと調湿機能で、住む方に安らぎと快適性をもたらします。

省エネで長持ちLED、オール電化を採用。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 87.21㎡ (26.4坪)・2階

標準工期 5～6ヶ月

設計 飛鳥住宅株式会社

概算工事費 2,650万円 (税込)

施工 飛鳥住宅株式会社

主な外部仕上げ

屋根 日本瓦

外壁 サイディング+下見板

建具 ダイケン製

主な内部仕上げ

床 無垢フローアー

壁 ビニールクロス

天井 ビニールクロス

概算工事費に含まれない費用

屋外給排水工事 地盤改良工事
外構工事 カーテン工事
エアコン工事 家具工事
屋外電気工事 浄化槽設置工事
家電 借入、登記に要する費用

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

LDKからつながるウッドデッキ。

② 景観 (まちなみ)

落ち着いた外観で、日本瓦の勾配屋根とし、太陽光発電の設置に配慮。

③ 地域特性

外壁に能登の町並みに馴染むように、茶色のサイディング+下見板を使用。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2 断熱等級6

⑤ コスト (費用)

シンプルな間取りで2階建てで下屋根を減らした設計。

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 飛鳥住宅(株)

所在地 石川県金沢市三口新町3-3-18

代表者 永原 慎之輔

担当者 竹本 聡

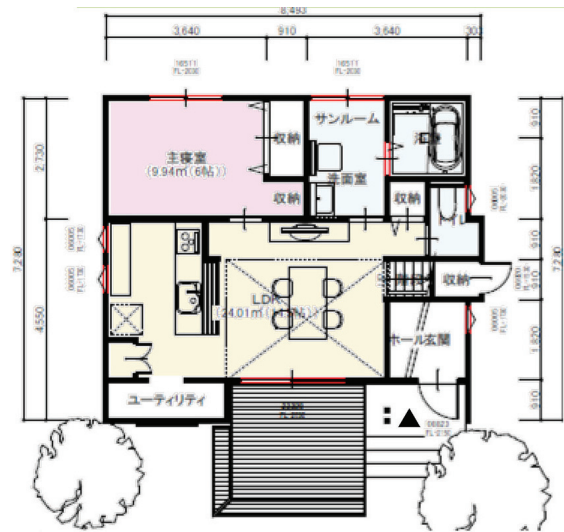
電話番号 076-222-1122

E-mail take@yoisumai.jp

ホームページ2次元コード



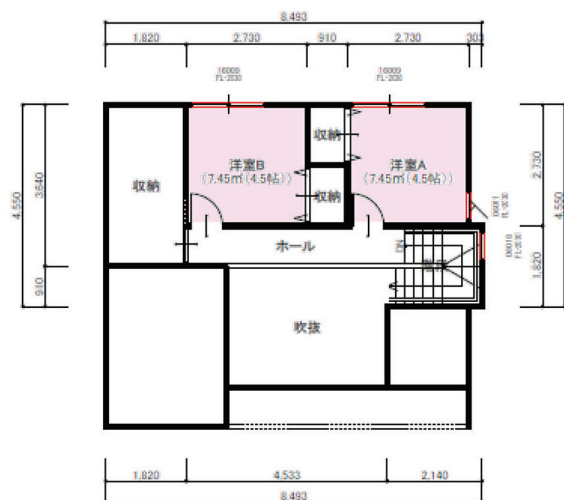
1階平面図



立面図



2階平面図



外観パース



JBN 2階建 27T・断熱6・準耐火・耐震2以上

モデルプランの特徴とメッセージ

建物の基礎や構造には、耐震性・耐風性を強化した工法を採用し、災害に備えた設計となっています。万が一の災害時にも家族が安全に過ごせるように、避難しやすい動線を設けています。各部屋には十分な収納スペースを設け、日常の片付けやすさを大切にしています。1階には動線に合わせたファミリークローク、ユーティリティを設けてあります。

玄関先には近所とのコミュニティを大切にしたい濡れ縁スペースを設けることで孤立を防ぎ、一人一人がこれからも元気に前向きに過ごせるようにと願っています。

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

生まれ育った地はどんなに不便でも離れることはできません。特に『能登』は人と人とのつながりを大切に生きています。助け合い、励まし合うコミュニティを第1に考えた平屋計画は縁側を設け近所の方々との会話を愉しむ時間を作っています。この近所とのコミュニティこそが能登の田畑を復活させ、人を元気にさせ、能登の復興につながります。

② 景観 (まちなみ)

平屋のまちなみは、低層であることから近隣の住民同士が顔を合わせやすく、自然と交流が生まれやすい環境です。窓や庭からお互いの気配が感じられ、挨拶や会話が自然に生まれることで、強いコミュニティの形成を促します。特に高齢者や小さな子供がいる家庭にとっては、安心して暮らせる温かみのあるまちづくりに貢献します。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるようにユーティリティを設けてあります。

④ 住宅の 基本性能

住宅性能表示
構造等級2or3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3・省エネルギー断熱等級6/7一次エネルギー等級7/7
断熱材は高性能グラスウール壁100mm 天井250mm

⑤ コスト (費用)

開口部の規格化を行い、総二階建ての建物にしました。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 88.18㎡ (26.7坪)・2階

標準工期 4～5ヶ月

設計 株式会社ひまわりほーむ
設計室石川

概算工事費 2,000万円 (税込)

施工 JBN(一社)石川県工務店協会

主な外部仕上げ

屋根 瓦または板金

外壁 窯業系サイディング

建具 外部:樹脂サッシ 内部:既製品建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア

壁 クロス仕上げ

天井 クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良、
電気引込ポール、家具工事、
屋外給排水工事、カーテン工事、
エアコン工事、申請費用、登記費用、
諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)ひまわりほーむ 所在地 石川県金沢市新保本4丁目66-6

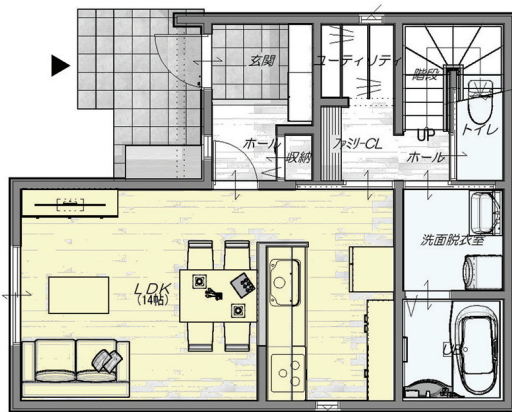
代表者 加葉田 和夫 担当者 池腰 正隆

電話番号 076-269-8103 E-mail contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



1階平面図



2階平面図



内観パース



内観パース



外観パース



ひまわりほーむ
安心の住宅性能

耐震等級3
(最高等級)

地震保証はもちろん
液状化検査つき

省令準耐火

火災の延焼を遅らせる
省令準耐火仕様
火災・地震保険も割引

断熱等級6
以上

暖房光熱費削減ZEH仕様
さらに太陽光発電で
家計を手助け

NOTOファミリーの家

モデルプランの特徴とメッセージ

赤ちゃんのお昼寝・子供の遊びスペース・書斎やパソコンコーナー等、色んな用途に使えるタタミコーナーを設けたシンプルながら使いやすい間取りの家

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 90.88㎡ (27.5坪)・2階

標準工期 5ヶ月

設計 梶谷建設建築設計事務所

概算工事費 2,420万円(税込)

施工 JBN(一社)石川県工務店協会

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

リビングの大きな窓を設けデッキやテラスなどを設置しやすくなっています。ご近所さんと井戸端会議やバーベキュー等で楽しんで頂けます。

② 景観 (まちなみ)

黒瓦を採用し周りの景観にも溶け込みやすい外観としました。

③ 地域特性

玄関前に雪が落ちない屋根形状となっています。また、県産材を使い気候風土に合った長持ちする家となっています。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2
断熱等級5
一次エネルギー消費量等級6
バリアフリー

⑤ コスト (費用)

被災者の住宅再建応援のためできるだけコスト低減できるよう配慮したプランとなっています。

主な外部仕上げ

屋根 和瓦葺き(4寸勾配)

外壁 防火サイディングの上弾性リシン吹付

建具 樹脂サッシ(ペアガラス)

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、
地盤補強工事、外構工事、エアコン、
カーテン、家具工事、登記に要する費用

施工者の基本情報(連絡窓口)

代表社名 (株)梶谷建設

所在地 石川県小松市軽海町ツ82番地1

代表者 梶谷 寛

担当者 多田 由香

電話番号 0761-47-3311

E-mail kazitani1848@kajic.co.jp

ホームページ2次元コード



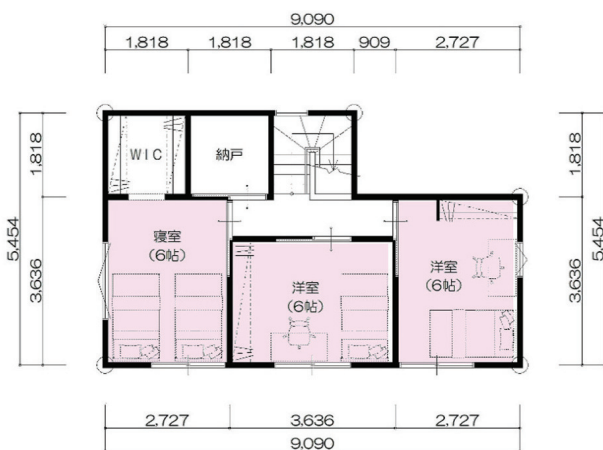
1階平面図



立面図



2階平面図



立面図



外観パース



「繋ぐ」 2階屋

モデルプランの特徴とメッセージ

夫婦と親、夫婦と子供の暮らしを想定しました。
これまでのコミュニティはそのままでも、コミュニケーションのとり方は変化せざるを得ないと思われるので、時間の流れに即したプランです。
外部スロープとウッドデッキは別途工事で、必要になった時に取り付け可能としました。屋根はメンテナンスがしやすい瓦、外壁は県産材の下見板張り及びサイディング張りとししました。水害時には、2階からの避難がしやすいよう、低勾配の下屋をもうけ、2階への階段は、家族一人一人に目が届くよう居間、食堂を経由したプランとしました。
女性建築士たちが仲間で集まり、暮らしやすさ、家族や地域、希望や将来・・・いろいろなものへの繋がりを考えたプランです。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	93.57㎡ (28.4坪)・2階
標準工期	着工後6ヶ月
設計	アーチェス一級建築士事務所/ 設計室タイム 一繪デザイン建築事務所/ ことり設計舎
概算工事費	2,600万円 (税込)
施工	有限会社 サカガミ 有限会社 角谷建設

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

地域の方が行き交う道から見えやすい場所に掃き出し窓を配置し、そこを経由してリビングにいる住人とコミュニケーションをとりやすくなるよう動線を考えました。リビングの中にキッチンを取り込み、住人と訪ねてこられた方が話しやすいようにしました。

② 景観 (まちなみ)

自然豊かな地域の景観に配慮し、屋根は黒瓦、外壁は県産材の杉を下見板張りし、塗装で仕上げました。

③ 地域特性

除雪の為に道具や工具など収納する外部収納を設け、天候の悪い土地柄を考慮し、ウッドデッキやサンルームを別途で計画できます。

④ 住宅の 基本性能

耐震等級は2の基準にし住宅の強度を高めました。省エネについては、断熱等性能等級は6かつ一次エネルギー消費量等級6で計画しました。バリアフリーに関しては、高齢者等配慮対策等級3にそって考えました。

⑤ コスト (費用)

コンパクトでシンプルなプランづくりに心掛けました。

主な外部仕上げ

屋根	日本瓦葺き (黒瓦) 4.5寸勾配 下屋 鋼板葺き1.0寸勾配
外壁	石川県産杉下見板張り塗装仕上 窯業系サイディング塗装板
建具	樹脂サッシュ (複層ガラス)

主な内部仕上げ

床	木質系フローアー張り
壁	クロス貼
天井	クロス貼

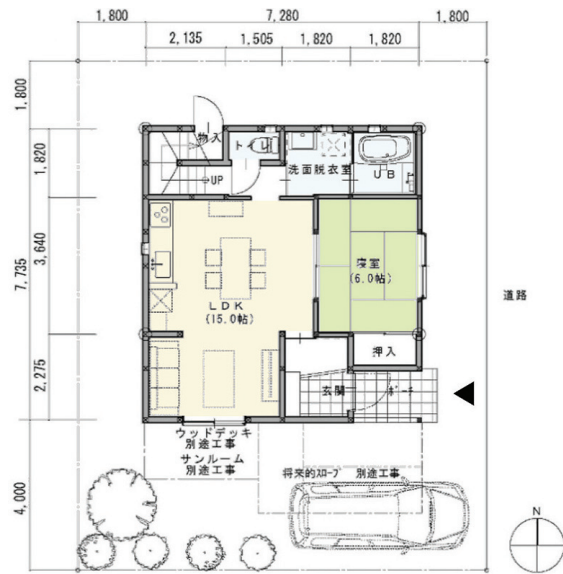
概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、地盤補強費、外構工事、エアコン工事、家具工事、カーテン・ブラインド工事、外部スロープ、ウッドデッキ、サンルーム、登記に関する費用、諸手続きに関する費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名	(有)サカガミ	所在地	石川県野々市市新庄2丁目228-1
代表者	坂上 ゆかり	担当者	坂上 ゆかり
電話番号	076-248-1818	E-mail	skgm1818@hop.ocn.ne.jp

1階平面図



立面図



2階平面図



内観パース



外観パース



KAJITANI能登モデル

モデルプランの特徴とメッセージ

家族団らんにプライベートもしっかりと永く住まう能登の家

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 94.18㎡ (28.5坪)・2階

標準工期 5ヶ月

設計 梶谷建設建築設計事務所

概算工事費 2,420万円 (税込)

施工 株式会社梶谷建設

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

LDKにデッキを設け近所にも開けた間取り

② 景観 (まちなみ)

黒瓦で能登らしさのある周りの景観も壊さない外観

③ 地域特性

石川の気候に合った県産材を使い永く気持ちよく暮らせる家

④ 住宅の 基本性能

耐震等級2
断熱等級5
一次エネルギー消費量等級6
バリアフリー

⑤ コスト (費用)

被災者の住宅再建を考慮しコンパクトでコスト低減に配慮した住宅

主な外部仕上げ

屋根 和瓦葺き (4寸勾配)

外壁 防火サイディングの上弾性リシン吹付

建具 樹脂サッシ (ペアガラス)

主な内部仕上げ

床 無垢フローリング

壁 ビニールクロス貼り

天井 ビニールクロス貼り

概算工事費に含まれない費用

屋外電気工事、屋外給排水工事、
地盤補強工事、外構工事、エアコン、
カーテン、家具工事、登記に要する費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)梶谷建設

所在地 石川県小松市軽海町ツ82番地1

ホームページ2次元コード

代表者 梶谷 寛

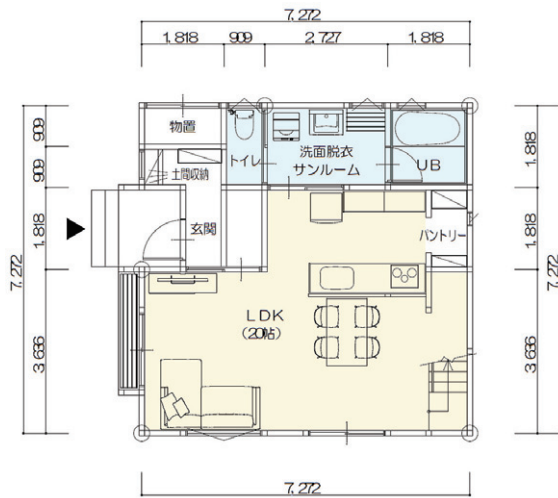
担当者 多田 由香

電話番号 0761-47-3311

E-mail kazitani1848@kajic.co.jp



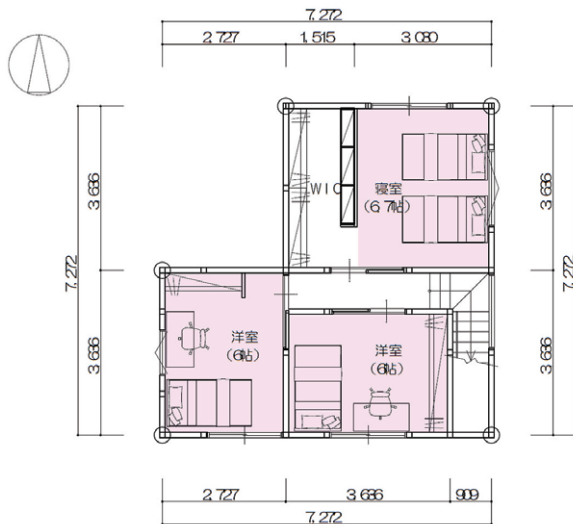
1階平面図



立面図



2階平面図



立面図



外観パース



B25 のとの家づくりチーム： ほそ川建設＋松川秀幸建築設計事務所

ファミリー世帯 横長敷地タイプ

モデルプランの特徴とメッセージ

中庭、中庭につながる玄関土間を、来客時や近隣とのコミュニティースペースとして設ける

外観は街並みに配慮し伝統的な町家型とした。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 94.6㎡ (28.7坪)・2階

標準工期 6ヶ月

設計 合同会社松川秀幸建築設計事務所

概算工事費 2,500万円 (税込)

施工 ほそ川建設株式会社

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ 近隣とのコミュニティースペースとして中庭を設け、隣家との交流をはかる

② 景観 (まちなみ) 能登地方の二階建て町家をモチーフとした外観
瓦葺き、下見板張り、出格子として、既存の街並みに合わせる

③ 地域特性 玄関ポーチを設け屋根雪が邪魔にならず出入りできる県産材の利用

④ 住宅の基本性能 壁を増やし、耐震等級を上げる
縁側庇の上に開口部を設け、室内に通風をとりこむ

⑤ コスト (費用) 建具は伝統的な標準寸法のものを使用
解体する民家などからの既存建具の再利用も可能とする

主な外部仕上げ

屋根 瓦葺き

外壁 下見板張り、サイディング

建具 木製格子戸、アルミサッシ

主な内部仕上げ

床 地産木材無垢フローリング

壁 クロス貼り

天井 木羽目板

概算工事費に含まれない費用

地盤調査費、地盤改良費、屋外給排水工事費、浄化槽設置費、エアコン、カーテン、移動可能な家具、諸手続き費用、登記費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 ほそ川建設(株)

所在地 石川県金沢市示野町西3番地

代表者 細川 顕司

担当者 佐々木 伊織

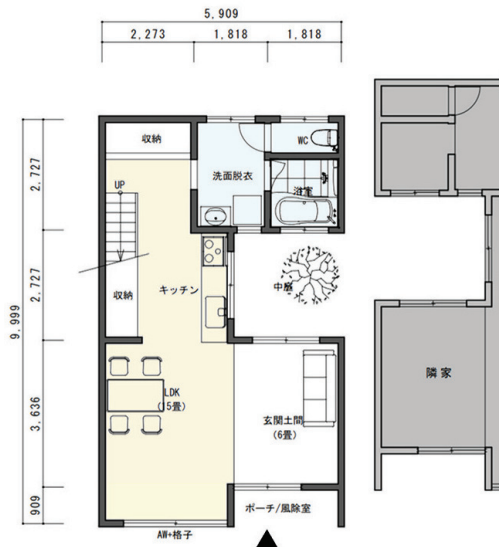
電話番号 076-267-8008

E-mail info@hosokawakensetsu.co.jp

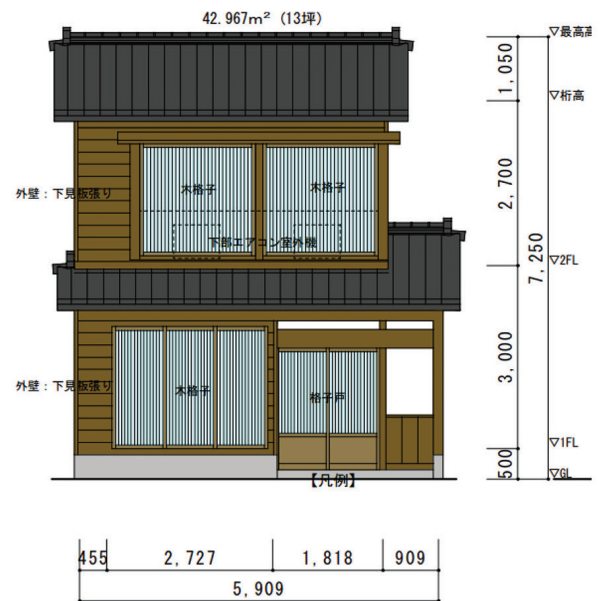
ホームページ2次元コード



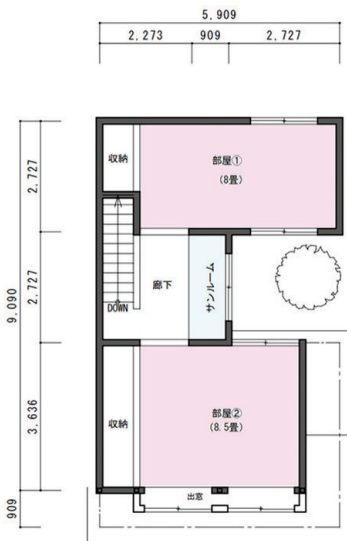
1階平面図



立面図



2階平面図



外観パース



能登の自然や景観に調和した「のともらい型子育て住宅」

モデルプランの特徴とメッセージ

安全性と利便性、開放的な住まいが実現できる平屋建ての家は一生豊かに暮らせるメリットがあります。

階段が不要で、バリアフリー設計とし、耐震性も高く、地震への備えも適しています。さらに、メンテナンスがしやすく、省エネ性能が高いため、将来的な維持費も抑えられるのが魅力のプランです。

提案プランの概要

構造・工法 木造・在来軸組工法

延床面積・階数 97.30㎡ (29.5坪)・平屋

標準工期 約3.5ヶ月

設計 株式会社駒沢建工
一級建築設計事務所

概算工事費 2,500万円 (税込)

施工 株式会社駒沢建工

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

広いテラススペースを設け、ご近所さんと気軽に屋外でコミュニケーションを取れるようにした。

② 景観 (まちなみ)

緑あふれる能登の環境に馴染むようにベージュ・ホワイトの外壁、木目の軒天材を採用。

③ 地域特性

除雪に必要な道具や雨具などを収納するための外部収納や広いシューズクロークを確保。

④ 住宅の 基本性能

バリアフリーを超えたユニバーサルデザイン住宅
耐震等級2、断熱等級5かつ一次エネルギー消費量等級6

⑤ コスト (費用)

床面積を抑えるため、廊下部分を少なくし、部屋を広くした。

主な外部仕上げ

屋根 ガルバリウム鋼板

外壁 サイディング張り、吹付仕上げ

建具 アルミ樹脂複合サッシ
断熱片開き戸

主な内部仕上げ

床 フロアー12mm張り

壁 クロス張り

天井 クロス張り

概算工事費に含まれない費用

外構工事・地盤改良費・屋外給排水工事・家具工事など

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名 (株)駒沢建工

所在地 石川県小松市今江町6丁目681番地

代表者 駒澤 茂

担当者 設計部 田中、北

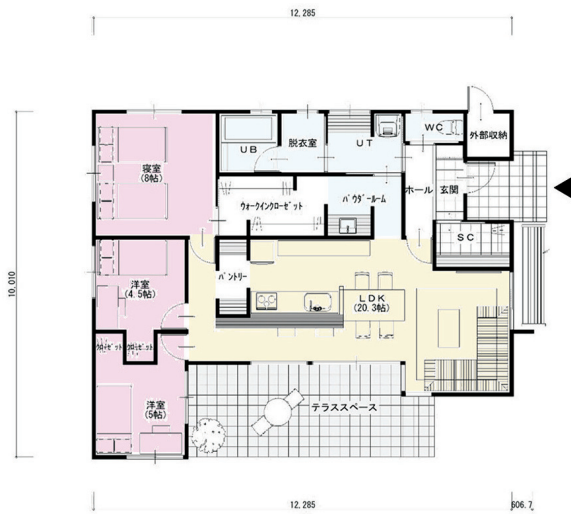
電話番号 0761-21-1289

E-mail (代表) carrot@carrot-home.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



立面図



内観パース



外観パース



B27 ひまわりほーむグループ + JBN(一社)石川県工務店協会

耐震「最高等級3」省エネ「最高等級7」高基礎(積雪・水害)太陽光(5kw)

モデルプランの特徴とメッセージ

- 1・水害に強い!・防犯も!・積雪にも強い! = 高基礎(1.2mの鉄筋構造) 安心・安全です
- 2・耐震は最高等級3! + 制振ダンパー付! で強い! = 大地震に耐える(消防署・警察署の強度) 安心・安全です。
- 3・省エネ最高等級7! = UA値0.26以下・w断熱・3w樹脂サッシ・夏も冬も光熱費が、安く・快適です。
- 4・太陽光発電5kwで省エネ! = 停電時にも、昼なら発電で! 蓄電池付(OP)なら夜も安心!・光熱費が、安く・快適です。
- 5・EV+外部コンセントと、エコキュートで安心! = 給水タンク代わりに460Lのエコキュート! 安心・安全です。
- 6・補助金(国+自治体)+太陽光補助金! = 省エネ補助金(GXで160万円)+太陽光・県365万+県ZEH20万など = この仕様なら! 245万もの補助金(要・相談!)なので、コストが安くなります
- 7・地盤改良工事・耐震診断費・耐震化費用などの補助金! = 地元なら「手厚い補助金が!」また、品質の高い家は、メンテが安く・コストが安くなります

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

「能登」の人たちはご近所さんを大切にします。協調性を重んじ、自分が作った野菜や米をお裾分けすることを楽しみにしています。そんなコミュニティこそが元気の源。そんな日常を送れるようにリビングから縁側を設けてあります。そしていつ起こるか分からない異常気象に備え、孤立せず、周囲が避難できる安心の高基礎仕様になっています。

② 景観 (まちなみ)

平屋は構造的に家全体が地面に接しているため、まちなみ全体としても人との距離感が近くなります。玄関先や庭が通りに面していることが多く、隣人やご近所さんとの交流が生まれやすい環境です。能登のアイデンティティを大切にすることで、より、まちなみが活きる。新しい「能登」の在りが誕生です。

③ 地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるようにユーティリティを設けてあります。また、子ども達が町外に出ていることが多いため、たまに帰省した際に寝泊まり出来る部屋が欲しくなります。普段は使わないかもしれませんが「孫が泊まれるもう一部屋」が必要です。

④ 住宅の 基本性能

GX仕様(補助金160万)・太陽光(補助金最大65万)・ZEH(補助金20万) = 計最高245万円+高基礎(120cm鉄筋構造)+耐震3最高等級(大地震の1.5倍)+省エネ7最高等級(UA値0.26以下)+w断熱+3w樹脂サッシ・住宅性能表示(設計・建設)・長期優良住宅(4つの税制優遇)

⑤ コスト (費用)

シンプルな形にすることで建物全体の構造費用が抑えることができます。また、工期短縮を目指すためにメーカーと交渉し能登復興プラン仕様を作成。ただし、耐震等級3と断熱等級6以上は必須とした建物となっています。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法
延床面積・階数	123.38㎡ (37.4坪)・平屋
標準工期	4~5ヶ月
設計	株式会社ひまわりほーむ 設計室石川
概算工事費	3,326万円(税込)
施工	JBN(一社)石川県工務店協会

主な外部仕上げ

屋根	瓦または板金
外壁	窯業系サイディング
建具	外部：樹脂サッシ 内部：建材建具

主な内部仕上げ

床	建材フロア
壁	クロス仕上げ
天井	クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良、電気引込ポール、家具工事、屋外給排水工事、カーテン工事、エアコン工事、申請費用、登記費用、諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名	(株)ひまわりほーむ	所在地	石川県金沢市新保本4丁目66-6
代表者	加葉田 和夫	担当者	池腰 正隆
電話番号	076-269-8103	E-mail	contact@e-himawari.co.jp

ホームページ2次元コード



平面図



自由提案



内観パース



内観パース



外観パース



ひまわりほーむ
安心の住宅性能

耐震等級3
(最高等級)

地盤保証はもちろん
液状化検査つき

省令準耐火

火災の延焼を遅らせる
省令準耐火仕様
火災・地震保険も割引

断熱等級6以上

暖房光熱費削減ZEH仕様
さらに太陽光発電で
家計を手助け

Ⅲ 住まいの再建に関する支援策のご紹介

令和6年能登半島地震 「住まいの再建」 支援策

自宅再建
希望世帯

民間賃貸住宅
希望世帯

公営住宅
希望世帯

①被災者生活再建支援金

半壊以上

最大**300万円**

基礎支援金
最大**100万円**



加算支援金
最大**200万円**
(補修は最大100万円
賃借(※)は最大50万円)

※公営住宅は対象外

② と ③ は 併 用 不 可

②自宅再建利子 助成給付金

半壊以上

仮設住宅

新規住宅ローンの
利子の一部を助成

最大**300万円**

③生活再建のための新たな給付金 (地域福祉推進支援臨時特例給付金)

半壊以上

能登6市町

最大**300万円**

家財等給付金
最大**100万円**
(家財50万円+自動車50万円)



住宅再建給付金
最大**200万円**
(賃借(※)は最大100万円)

※公営住宅は対象外

④二重ローンの 負担軽減

罹災証明

既存住宅ローンの
利子の一部を助成

最大**50万円**

⑤民間賃貸住宅への 入居費を助成

半壊以上

仮設住宅

初期契約費用

一律**20万円**

⑥公営住宅への 入居費を助成

半壊以上

仮設住宅

初期設備費用

一律**10万円**

⑦引っ越し時の転居費用を助成

半壊以上

仮設住宅

一律**10万円**

※住宅ローン等の返済にお困りの方は、『自然災害ガイドライン』を利用してローンの免除・減額を申し出ることができます (P124)
※市町により⑤⑥⑦の実施有無は異なります。

制度の詳細はコチラからご覧ください



半壊以上 半壊以上の被災世帯が対象
県内全域 県内全域が対象
県申請 石川県に申請

仮設住宅 応急仮設住宅等からの退去世帯が対象
罹災証明 一部損壊以上の被災世帯が対象
能登6市町 七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町が対象
市町申請 被災時にお住まいの市町に申請

1. 被災者生活再建支援金

半壊以上 県内全域 市町申請

自然災害により居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し、生活再建を支援するために支給します

各市町の問合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

- ・半壊以上の被災をした世帯
- ・半壊解体、敷地被害解体、長期避難世帯

※一部市町では、支給額の上乗せや準半壊・一部損壊世帯への支援も実施

最大300万円

基礎支援金最大100万円
 加算支援金 【建設・購入】最大200万円
 【補修】最大100万円
 【賃借（公営住宅除く）】最大 50万円

支援額

	基礎支援金	加算支援金	合計
全壊、半壊解体、敷地被害解体、長期避難世帯	100万円	建設・購入 200万円	300万円
		補修 100万円	200万円
		賃借 50万円	150万円
大規模半壊	50万円	建設・購入 200万円	250万円
		補修 100万円	150万円
		賃借 50万円	100万円
中規模半壊	—	建設・購入 100万円	100万円
		補修 50万円	50万円
		賃借 25万円	25万円
半壊	—	建設・購入 100万円	100万円
		補修 50万円	50万円
		賃借 25万円	25万円

※1人世帯は、記載額の3/4を支給します

※加算支援金は、自己負担がある場合に対象となります

※「半壊解体」は、「大規模半壊」「中規模半壊」及び「半壊」の住家を解体した場合に対象となります（一部解体は対象となりません）

半壊以上	半壊以上の被災世帯が対象	仮設住宅	応急仮設住宅等からの退去世帯が対象
県内全域	県内全域が対象	罹災証明	一部損壊以上の被災世帯が対象
県申請	石川県に申請	能登6市町	七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町が対象
		市町申請	被災時にお住まいの市町に申請

2. 自宅再建利子助成事業給付金

半壊以上

仮設住宅

県内全域

県申請

県内での自宅再建（建設・購入・補修）のために融資を受けた場合、利子の一部を支援します
（リバースモーゲージ型融資も対象）

※「3. 生活再建のための新たな給付金」との併給はできません。

各市町の間合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

次の①～③のいずれかに該当し収入要件を満たす、県内での自宅再建世帯

- ① 半壊以上の被災をした世帯
- ② 敷地被害解体、長期避難世帯
- ③ 応急仮設住宅等から供与期間内に退去した世帯

収入要件

- ・ 給与収入のみの世帯 : 世帯年収が600万円以内
- ・ 給与収入以外の収入がある世帯 : 世帯所得が440万円以内

※ 23歳未満の被扶養者がいる世帯は世帯収入（所得）の制限なし
※ 高齢者、障害者がいる世帯は、世帯収入（所得）要件の控除あり

支援額

最大300万円

借入額、利率*と借入期間に基づき元利均等返済の利子計算方法で算出します

※補助上限利率：借入月の住宅金融支援機構「災害復興住宅融資」（団信に加入しない場合）の利率

3. 生活再建のための新たな給付金 (地域福祉推進支援臨時特例給付金)

半壊以上

能登6市町

県申請

能登地域6市町で半壊以上の被災をした高齢者のいる世帯等に対し、当該地域での生活再建を支援します

※「2. 自宅再建利子助成事業給付金」との併給はできません。

各市町の間合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

能登6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）において住宅に半壊以上の被害が生じているもしくは敷地被害解体、長期避難の認定を受けている、以下のいずれかを満たす世帯

- ① 65歳以上の高齢者のいる世帯
- ② 障害者手帳の交付を受けている者がいる世帯、又は障害福祉サービスを利用している者がいる世帯
- ③ 児童扶養手当受給世帯
- ④ 住民税非課税世帯・住民税均等割のみ課税世帯
- ⑤ 令和6年能登半島地震を受けて離職・廃業した者がいる世帯
- ⑥ 一定のローン残高がある世帯
- ⑦ 住宅再建に係る資金の借入が受けられない世帯
- ⑧ 家計急変世帯

支援額

最大300万円

- ・家財給付金 50万円
- ・自動車給付金 50万円（自動車）
- ・住宅再建給付金※ 最大200万円（貸借：最大100万円）
※住宅再建に要した費用から被災者生活再建支援金（うち加算支援金）の受給額を差し引いた額を上限額まで支援
※能登6市町内に住宅を再建した場合に対象となります

4. 二重ローンの負担軽減

罹災証明

県内全域

県申請

新たな住宅ローンを組む場合に、被災住宅に係る既存住宅ローンの利子の一部を助成します

各市町の問合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

次のいずれも満たす者

- ①お住まいだった住宅が被災し、発災以前から被災住宅に係る住宅ローンを有している
- ②県内での住宅再建のために300万円以上の新たな住宅ローンを契約
- ③能登半島地震により被災した住宅に係る既存住宅ローンが500万円以上（新たな住宅ローンを契約した日の前月末時点）
- ④前年の収入が1,000万円以下の者（課税所得805万円以下）

支援額

最大50万円

融資残高、利率と残返済期間に基づき元利均等返済の利子計算方法で算出します

5. 民間賃貸住宅への入居費用助成

半壊以上

仮設住宅

県内全域

市町申請

民間賃貸住宅に入居した際の敷金・礼金などの初期費用相当額を助成します

※市町により実施有無は異なります。

各市町の問合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

次のいずれかを満たし、県内の民間賃貸住宅に入居する世帯

- ①半壊以上の被災をした世帯
- ②敷地被害解体、長期避難世帯
- ③応急仮設住宅等（建設型応急住宅、賃貸型応急住宅、公営住宅（目的外使用））から供与期間内に退去した世帯

支援額

一律20万円

※賃貸型応急住宅として入居している世帯が2者契約に切り替えた場合も適用されます。

半壊以上 半壊以上の被災世帯が対象

県内全域 県内全域が対象

県申請 石川県に申請

仮設住宅 応急仮設住宅等からの退去世帯が対象

罹災証明 一部損壊以上の被災世帯が対象

能登6市町 七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町が対象

市町申請 被災時にお住まいの市町に申請

6. 公営住宅への入居費用助成

半壊以上

仮設住宅

県内全域

市町申請

公営住宅・災害公営住宅に入居した際の照明・コンロなどの初期設備費用相当額を助成します

※市町により実施有無は異なります。

各市町の問合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

次のいずれかを満たし、県内の公営住宅・災害公営住宅に入居する世帯

- ①半壊以上の被災をした世帯
- ②敷地被害解体、長期避難世帯
- ③応急仮設住宅等(建設型応急住宅、賃貸型応急住宅、公営住宅(目的外使用))から供与期間内に退去した世帯

支援額

一律10万円

※被災者として入居している世帯が通常入居に切り替えた場合も適用されます。

7. 引っ越し時の転居費用助成

半壊以上

仮設住宅

県内全域

市町申請

応急仮設住宅等から恒久的な住まい(自宅、民間賃貸住宅、公営住宅)への転居、賃貸型応急住宅から建設型応急住宅への転居の際の引っ越し費用を助成します

※市町により実施有無は異なります。

各市町の問合せ先や制度の詳細はこちら→



支援対象

次のいずれかを満たし、応急仮設住宅等から県内の恒久的な住まいへ転居する世帯、賃貸型応急住宅から建設型応急住宅へ転居する世帯

- ①半壊以上の被災をした世帯
- ②敷地被害解体、長期避難世帯
- ③応急仮設住宅等(建設型応急住宅、賃貸型応急住宅、公営住宅(目的外使用))から供与期間内に退去した世帯

支援額

一律10万円

※賃貸型応急住宅として入居している世帯が2者契約に切り替えた場合など、引っ越しを伴わない場合は対象とはなりません。
※賃貸型応急住宅から建設型応急住宅への転居、応急仮設住宅等から恒久的な住まいへの転居は、それぞれ1回受給できます。

金融庁・北陸財務局からのお知らせ

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨により、各種ローン^(※)の返済にお困りの方は、免除・減額の申し出ができる制度があります。

(※) 住宅ローン、マイカーローン、教育ローン、個人向け事業性ローンなど

こちらのQRコードからウェブサイトへアクセスいただけます。

(北陸財務局 HP)「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」のご案内
https://lfb.mof.go.jp/hokuriku/content/013/pagehr_cnt_20240208001.html



「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」に基づく債務整理は、下記のようなメリットがあります。

メリット1

手続支援は**無料**

弁護士等の「登録支援専門家」による手続支援を無料で受けられます。

メリット2

義援金等に加え財産の一部を**手元に残せる**

具体的には、債務者の被災状況や生活状況などの個別事情により異なります。

メリット3

個人情報情報として**登録されない**

債務整理をしたことが個人情報情報として登録されないため、新たな借り入れに影響が及びません。

- ・債務の免除・減額には、一定の要件を満たすことや、ローンの借入先の同意が必要です。
- ・免除・減額の対象となり得るのは令和6年能登半島地震・奥能登豪雨発生前に借り入れた債務に限られます。
- ・ガイドライン利用後に手元に残せる財産は、具体的には、被災状況、生活状況等の個別事情によります。

まずは、借入金額が一番多い金融機関等にお問い合わせください。
 わからないことは、金沢弁護士会（☎076-221-0242）へのご相談も検討ください。

「自然災害ガイドライン」の利用による債務免除・減額のイメージ

下記のケースは、過去の実例を基にアレンジしたものです。実際の債務整理の結果は、各債務者の具体的な状況等によって異なります。

Aさんの場合 住宅ローン、マイカーローンの例

地震で自宅が全壊。みなし仮設住宅に入居。
 家計収入も減少し、住宅を再築する場合、返済が困難になるおそれがあった。

[被災状況] 自宅全壊(減失)
 [家計収入] (夫)変化なし
 (妻)震災前8万円→震災後5万円

ガイドライン利用前

資 産	・預貯金 300万円 ・被災者生活再建支援金 100万円 ・土地(350万円) ・義援金 80万円 ・自動車
負債残高	・住宅ローン 800万円 ・マイカーローン 100万円

ガイドライン利用で

自動車を返却し、マイカーローンの免除を受け、また住宅ローン450万円の免除を受けて生活再建に必要なお金と土地を残しつつ、土地の価格相当額350万円を分割返済していくことにした。

資 産	・預貯金 300万円 ・義援金 80万円 ・被災者生活再建支援金 100万円 ・土地(350万円)
負債残高	・350万円

ガイドライン利用で債務を大幅にカットでき、新たな生活設計を立てる目途がついた！

Bさんの場合 教育ローンの例

地震で家業の自宅兼店舗が全壊。営業ができなくなったことから収入がなくなり、教育ローンの返済が困難になった。

[被災状況] 自宅全壊(父名義)
 [家計収入] 震災前20万円→震災後0万円

ガイドライン利用前

資 産	・預貯金 50万円 ・義援金 40万円 ・生命保険(解約時見込額) 150万円
負債残高	・教育ローン 250万円

ガイドライン利用で

教育ローン250万円の免除を受けて生活再建に必要な資産を全て残すことができた。

資 産	・預貯金 50万円 ・義援金 40万円 ・生命保険(解約時見込額) 150万円
負債残高	・0万円

ガイドライン利用で債務が0円になり、生活を立て直す活力が湧いてきました！

Ⅳ 住宅再建時の資金計画や返済計画の立て方

被災された皆さまが無理なく住まいの再建を進めていくために、想定外の支出に備えて一定の貯蓄を確保した上で、再建に必要な費用に対応した資金計画を立てる必要があります。また、住宅ローンの借入を行う場合は、無理のない返済計画を立てる必要があります。住宅金融支援機構は石川県内の各地で住宅資金相談会を実施しておりますので、資金計画や返済計画をご検討される際には、ぜひご活用ください。

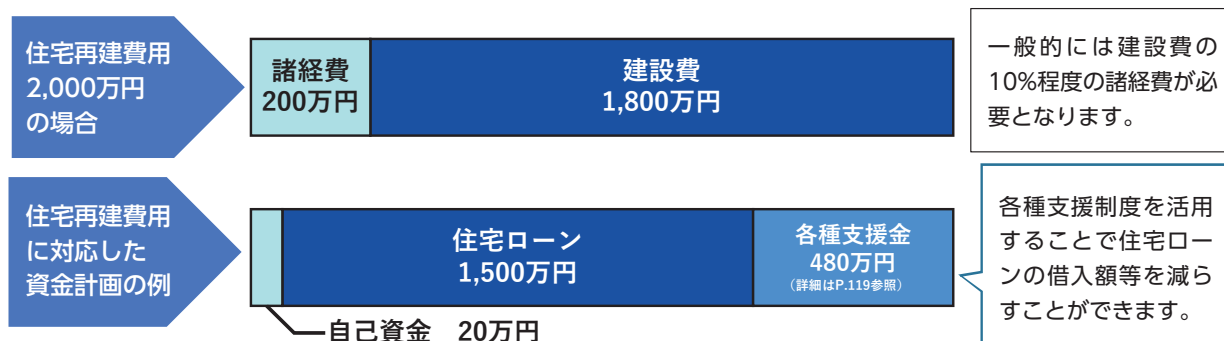
住宅金融支援機構
(住まい再建支援用)
LINE公式アカウント



相談会の日程・最新の金利情報などのご案内のほか、返済額をシミュレーションすることができます。

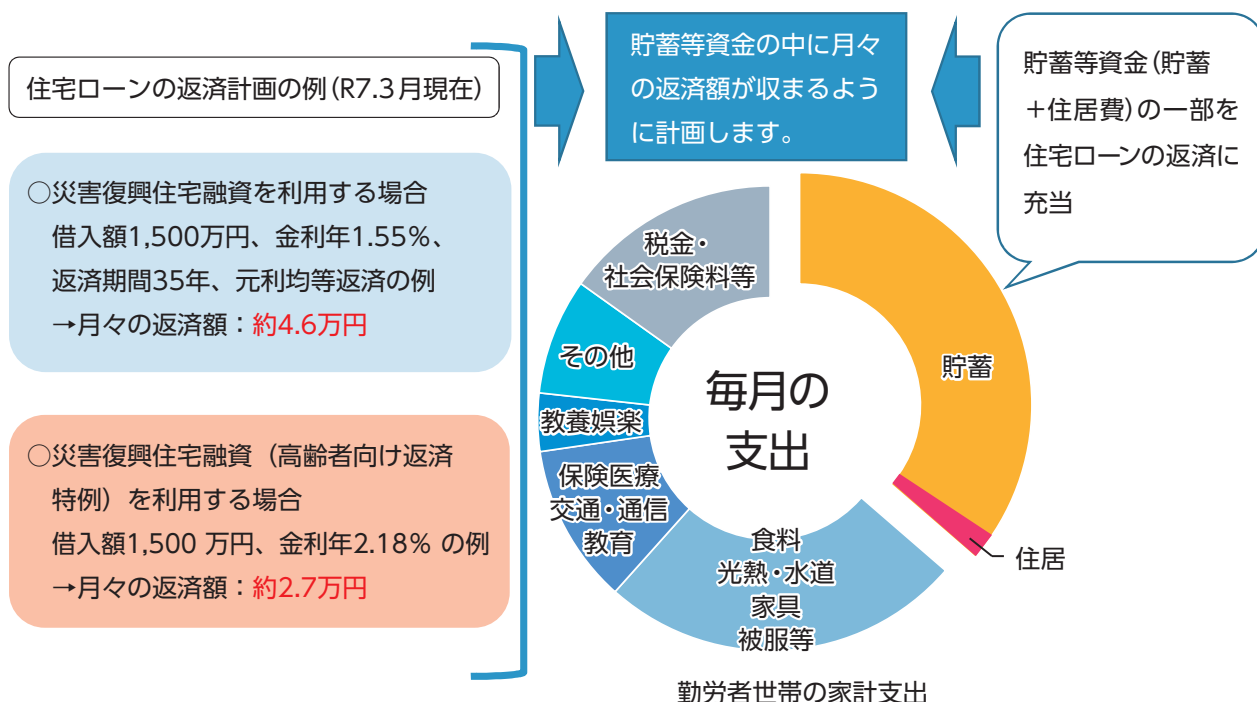
資金計画の基本的な考え方

住宅再建費用に対応した資金計画を検討します。貯蓄や保険金など、住宅建設に充てられる自己資金を確認します。住宅ローンを利用する場合、借入可能額や金利、返済期間、返済方法等について、金融機関等と相談します。また、各種支援金が利用できる場合がありますので、市役所や町役場等で確認します。



返済計画の考え方

住宅ローンを利用する場合、月々の返済額が家計に与える影響を考慮し、無理のない返済計画を立てます。返済期間が長いほど月々の返済額は少なくなりますが、総支払額が増えるため注意が必要です。また、返済計画に無理がありそうな場合は、再度、住宅再建費用や資金計画の見直しが必要となります。



出典：2019年全国家計構造調査石川県内経済圏Ⅱ(奥能登) (<https://www.e-stat.go.jp/>)

住宅金融支援機構の災害復興住宅融資の主なポイント

住宅金融支援機構では、震災等により被害を受けられた方に、住宅再建に必要な資金に対する住宅ローン「災害復興住宅融資」(P. 143参照)を提供しています。また、満60歳以上の方は、月々のお支払を利息のみとする「災害復興住宅融資(高齢者向け返済特例)」(P. 147参照)をご利用いただくこともできます。

さらに、民間の金融機関でも被災された方向けの融資がありますので、併せてご検討ください。

お申込みいただくためには

地方公共団体が発行する「り災証明書」の提出等の条件があります。

り災証明書

市町が発行した「り災証明書」を提出する必要があります。

「り災証明書」の被害区分に応じてご利用いただける融資メニューが異なります。

被害区分	融資メニュー
全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊	建設資金、購入資金、補修資金
準半壊、一部損壊 等	補修資金

融資限度額(建設資金)

融資額は、所要額又は次表の融資限度額のいずれか低い額が上限となります(10万円以上1万円単位)。

融資限度額	土地を取得する場合(注)：5,500万円	土地を取得しない場合：4,500万円
-------	----------------------	--------------------

(注) 土地を取得する場合とは、り災日後に申込本人が有償で土地の所有権又は借地権を取得する場合をいいます。

返済期間

次の①又は②のいずれか短い期間で設定していただきます(1年以上1年単位)。

①35年

②「80歳」－「申込本人又は収入合算者^(注1)のいずれか年齢が高い方の申込時の年齢(1歳未満切上げ)」^(注2)

(注1) 収入合算を希望する金額が収入合算者の収入の50%を超える場合に限りです。

(注2) 親子リレー返済をご利用いただく場合は、「80歳」－「後継者の申込時の年齢(1歳未満切上げ)」となります。

返済方法

元利均等返済、元金均等返済、60歳以上の方は「高齢者向け返済特例」が選択可能です。

担保(抵当権)

原則として、融資の対象となる建物及び土地に機構のための第1順位の抵当権を設定していただきます。

※融資額が300万円以下の場合は抵当権の設定は不要です(高齢者向け返済特例の場合を除きます。)

総返済負担率

申込条件の一つに、総返済負担率の基準があります。

※総返済負担率：年収に占める全てのお借入れの年間合計返済額の割合

(例：年収が400万円未満の場合、総返済負担率の基準は30%以下となります。)

ご注意：災害復興住宅融資のお借入れには審査があります。審査結果によってはお客さまのご希望に沿えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

親子リレー返済・親孝行ローン

災害復興住宅融資には、条件を満たせば、親子リレー返済や親孝行ローンを選択することもできます。住宅ローンの返済を無理なく続けられるよう、お子さまやお孫さまがいらっしゃるご高齢の方はご検討ください。

■親子リレー返済

申込本人のお子さまやお孫さまなど、定期的な収入がある方を**後継者（連帯債務者）**として一緒に申し込むことにより、後継者の収入を合算することができ、融資可能額を増額できる場合があります。

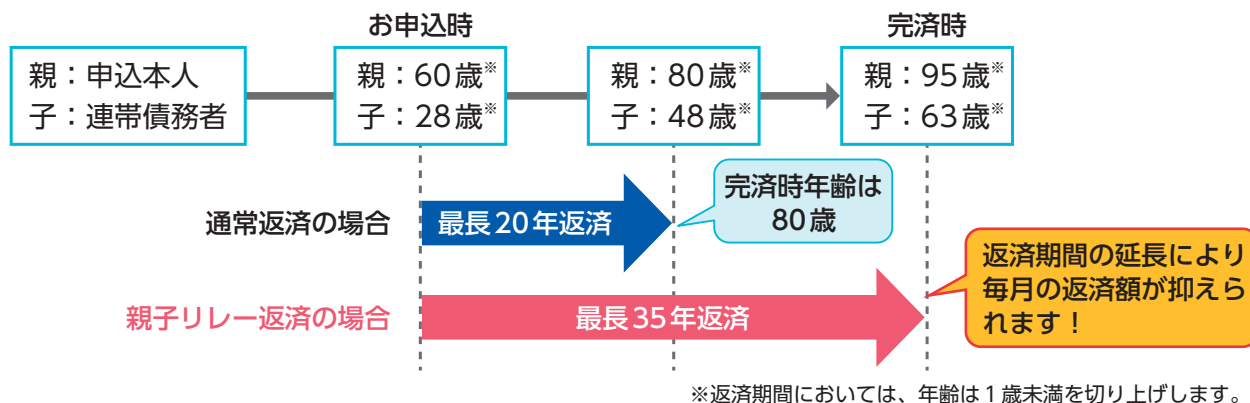
また、後継者の年齢をもとに返済期間を設定できるため、毎月の返済額を抑えることもできます。



親子リレー返済のメリット① 同居の有無にかかわらず、子（後継者）の収入全額の合算が可能！



親子リレー返済のメリット② 返済期間は、子（後継者）の年齢をもとに算出！



■親孝行ローン

被災した60歳以上の親などが居住する住まいを再建するための費用について、**お子さまやお孫さまが融資を申し込むことができます。**



※建設資金または購入資金をお申込みいただく場合は、申込本人に持分を有していただきます。なお、持分の割合を問いません。

災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）の特徴

リバースモーゲージ型住宅ローンの災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）は、60歳以上の方が住宅ローンのお支払を無理なく続けられる返済方法の融資です。住宅と土地を担保に融資を受け、月々のお支払は利息のみとし、元金は申込者全員が亡くなった後に相続人が住宅を売却するなどにより支払います。

■融資限度額（建設資金）

融資額は、所要額又は次表の①機構による担保評価額（土地と建物の合計額）若しくは②融資限度額のうち最も低い額が上限となります（10万円以上1万円単位）。

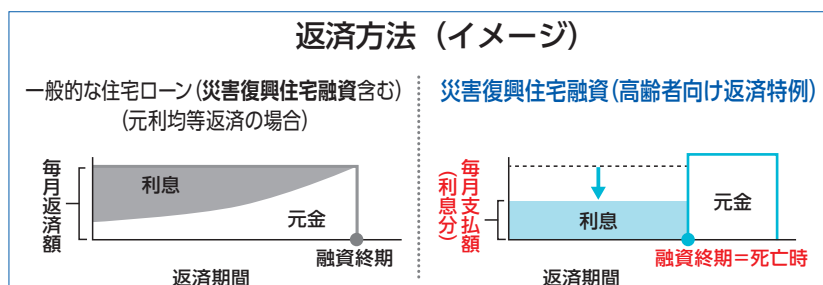
① 機構による担保評価額		② 融資限度額	
土地を取得する場合(注)	土地を取得しない場合	土地を取得する場合(注)	土地を取得しない場合
●建物 工事請負契約書の建設費×60% ●土地 土地売買契約書の売買価額×60%	●建物 工事請負契約書の建設費×60% ●土地 固定資産税評価額×10/7×60%	5,500万円	4,500万円

(注) 土地を取得する場合とは、被災日後に申込本人が有償で土地の所有権又は借地権を取得する場合をいいます。

■返済方法

毎月のお支払は利息のみです。そのため、通常の災害融資と比べて月々のご負担を低く抑えられます。

借入金の元金は申込者全員が亡くなったときに、相続人の方から、手元金による支払、融資住宅及び土地の売却等の方法により一括してご返済いただきます。

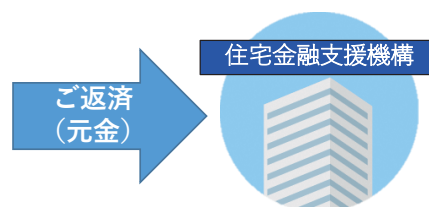
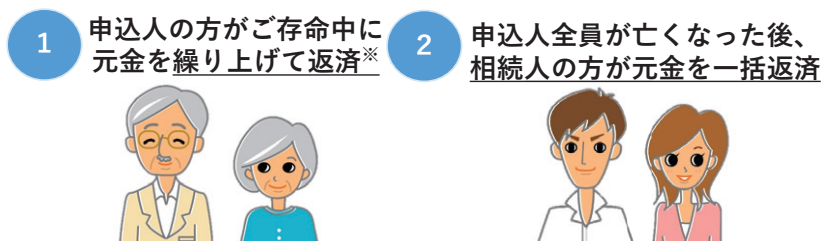


1. 土地と建物を親族に残す必要がない場合



申込者全員が亡くなったときに相続人の方が融資住宅と土地を売却し、一括してご返済いただきます。
この場合は、債務が残ったときでも、**残った債務について相続人の方に請求しません（ノンリコース）。**

2. 土地と建物を親族に残したい場合



※一部繰り上げ返済の場合は、元金100万円以上であることが必要です。

返済シミュレーション

※「支援金等（480万円）」は、被災者生活再建支援金（300万円）と、災害義援金（180万円）の合計額を示します。

ケース① 災害復興住宅融資（新機構団信加入 元利均等返済（ボーナス払いなし） 元金据置期間なしの場合）

- ・ 申込入年齢60歳*の場合
- ・ 返済期間：80－60＝20 最長20年返済が可能。

※返済期間においては、年齢は1歳未満を切り上げします。

①住宅再建費用1,500万円、支援金等480万円（全壊）

資金計画（①＝②＋③＋④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の返済額	
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額		20年返済	15年返済
1,500万円	480万円	20万円	1,000万円	年1.55%	48,484円	62,299円

②住宅再建費用2,000万円、支援金等480万円（全壊）

資金計画（①＝②＋③＋④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の返済額	
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額		20年返済	15年返済
2,000万円	480万円	20万円	1,500万円	年1.55%	72,727円	93,449円

③住宅再建費用2,500万円、支援金等480万円（全壊）

資金計画（①＝②＋③＋④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の返済額	
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額		20年返済	15年返済
2,500万円	480万円	20万円	2,000万円	年1.55%	96,969円	124,599円

※上記支援金等に加え、臨時特例給付金（最大300万円）、利子助成給付金（最大300万円）等の各種支援制度が活用できる場合があります。

ケース② 災害復興住宅融資（新機構団信加入 元利均等返済（ボーナス払いなし） 元金据置期間なしの場合）

(ア) 申込入年齢45歳*の場合

(イ) 申込入（親）年齢60歳*、（子）年齢35歳*（親子リレー返済）の場合

- ・ 返済期間：(ア) 80－45＝35 最長35年返済が可能。

(イ) 80－60(親)＝20 80－35(子)＝45 親子リレー返済の場合、最長35年返済が可能。

※返済期間においては、年齢は1歳未満を切り上げします。

①住宅再建費用1,500万円、支援金等480万円（全壊）

資金計画（①＝②＋③＋④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の返済額	
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額		35年返済	25年返済
1,500万円	480万円	20万円	1,000万円	年1.55%	30,863円	40,228円

②住宅再建費用2,000万円、支援金等480万円（全壊）

資金計画（①＝②＋③＋④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の返済額	
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額		35年返済	25年返済
2,000万円	480万円	20万円	1,500万円	年1.55%	46,295円	60,343円

③住宅再建費用2,500万円、支援金等480万円（全壊）

資金計画（①＝②＋③＋④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の返済額	
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額		35年返済	25年返済
2,500万円	480万円	20万円	2,000万円	年1.55%	61,727円	80,457円

※上記支援金等に加え、臨時特例給付金（最大300万円）、利子助成給付金（最大300万円）等の各種支援制度が活用できる場合があります。

ケース③ 災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例の場合）

①住宅再建費用1,500万円（建設費1,350万円）、支援金等480万円（全壊）、申込年齢70歳、土地の固定資産税評価額250万円

- ・担保評価額：（建物）1,350万円×60%=810万円、（土地）250万円×10/7×60%=214万円
➡ 借入限度額は、1,024万円となります。

資金計画（①=②+③+④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の支払額 (利息のみ)	元金の支払 (死亡時)
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額			
1,500万円	480万円	20万円	1,000万円	年2.18%	18,166円	1,000万円

②住宅再建費用2,000万円（建設費1,800万円）、支援金等480万円（全壊）、申込年齢70歳、土地の固定資産税評価額250万円

- ・担保評価額：（建物）1,800万円×60%=1,080万円、（土地）250万円×10/7×60%=214万円
➡ 借入限度額は、1,294万円となります。

資金計画（①=②+③+④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の支払額 (利息のみ)	元金の支払 (死亡時)
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額			
2,000万円	480万円	320万円	1,200万円	年2.18%	21,800円	1,200万円

③住宅再建費用2,500万円（建設費2,250万円）、支援金等480万円（全壊）、申込年齢70歳、土地の固定資産税評価額250万円

- ・担保評価額：（建物）2,250万円×60%=1,350万円、（土地）250万円×10/7×60%=214万円
➡ 借入限度額は、1,564万円となります。

資金計画（①=②+③+④）				借入金利 (R7.3月現在)	毎月の支払額 (利息のみ)	元金の支払 (死亡時)
①再建費用	②支援金等	③自己資金	④借入額			
2,500万円	480万円	520万円	1,500万円	年2.18%	27,250円	1,500万円

※上記支援金等に加え、臨時特例給付金（最大300万円）、利子助成給付金（最大300万円）等の各種支援制度が活用できる場合があります。

災害復興住宅融資をご利用されたお客さまの声（平成28年熊本地震）

災害復興住宅融資

熊本地震で被災した益城町木山では大規模な区画整理が計画され、私の土地もその対象となりました。令和3年10月に宅地の引き渡しを受け、再建が可能になりました。年金生活のため住宅ローンを組むことが難しい状況でしたが、益城町役場で紹介された「災害復興住宅融資」を利用でき、親から受け継いだ土地を次世代に引き継ぎたいという思いから、10年間の返済期間で融資を申込みました。機構熊本センターや肥後銀行の支援を受け、無事に自宅を再建でき、再建に協力いただいた方々に本当に感謝します。

融資実行：令和4年3月
〈資金計画〉

所要額（建設費）：1,220万円
融資額：453万円 手持金：767万円
毎月の返済 39,175円 ※元利均等返済、返済期間10年間

災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）

熊本地震で家が全壊したため、私は2年間仮設住宅で生活していました。娘が地元青年団のOB会で「リバースモーゲージという高齢者向けの制度がある」と聞き、私に教えてくれました。当初は土地と建物が他人のものになると誤解していましたが、機構の相談会で、生前に元金を返済すれば所有権を保持できると知り、制度を利用することにしました。再建から4年が経ちますが、今でも快適な「くまもと型復興住宅」に満足しています。将来は田んぼを売却し繰上返済をし、家は孫たちに譲る予定です。この制度を利用して良かったです。

融資実行：平成30年7月
〈資金計画〉

所要額（建設費）：1,188万円
融資額：920万円 手持金：268万円
毎月の支払 21,083円 ※利息のみ（高齢者向け返済特例）

災害復興住宅融資のご利用例

相談1 毎月の返済額

建設費1,500万円で住宅を再建しようと思っています。自己資金として500万円用意できるので、災害復興住宅融資を1,000万円お借りしようと思っています。

毎月の返済額はいくらになるのでしょうか。

〈前提条件〉

新機構団信加入 金利 年1.55%（令和7年3月現在）

元利均等返済（ボーナス払いなし） 元金据置期間なし

毎月の返済額は、借入れの期間によって変わります。

返済期間が長いと毎月の返済額が少なくなりますが、返済期間が短いと毎月の返済額は多くなります。また、返済期間は、完済時年齢が80歳という上限があります。

返済期間を35年と仮定して計算すると、毎月の返済額は30,863円となりますが、仮に申込人の年齢が64歳の場合は、返済期間は最長で15年となり、毎月の返済額は62,299円となります。

災害復興住宅融資の融資額を計算するシミュレーションが、住宅金融支援機構のホームページにございます。利用方法はP.135をご参照ください。

なお、資金計画の検討は、住宅を再建する上で大変重要です。できるだけ早めに住宅金融支援機構または金融機関にご相談ください。

また、「高齢者向け返済特例」を利用する場合は、P.134の「相談5」のご利用例をご参照ください。

【ご注意】

モデルケースは、毎月の返済額の算出を分かりやすく説明するため、他の借入れなし等一定の条件の中で試算したものです。お申込み後の審査の結果、融資をお断りすることや融資額を減額する場合があります。

相談2 「親子リレー返済」の利用

私（親・64歳）は高齢のため、返済期間が短くなり、希望する資金計画がたてられません。返済については、息子（子・35歳）の協力が得られそうです。何かいい方法はありませんか？

「親子リレー返済」という方法があります。親（64歳）が単独でお申込みをする場合、完済時年齢の上限（80歳）により、返済期間は15年となりますが、「親子リレー返済」をご利用いただくことで、後継者（連帯債務者）である息子さまの年齢をもとに計算し、最長35年の返済期間でお借り入れいただくことができます。

なお、申込本人（親）は、持分を必ず持っていただきますが、持分の割合には制限がありません。

親子リレー返済

申込本人だけでは十分な返済期間で申込みができない場合でも、申込本人の子、孫等で定期的な収入のある方を後継者（連帯債務者）にすることによって、長い返済期間で申込みができます。後継者の申込時の年齢をもとに、「年齢による最長返済期間（80歳－「後継者」の申込時の年齢（1歳未満切上げ）」）を計算する制度です。

※将来、後継者の方が別の住宅取得で借入をする際には、親子リレー返済での借入が審査に影響する場合があります。

返済できる額から考えた資金計画の進め方の例（親子リレー返済活用）

私(64歳)は、毎月の返済額を50,000円以内にしたいのですが、災害復興住宅融資をいくらまで借りることができますか？

〈前提条件〉

新機構団信加入 金利 年1.55%（令和7年3月現在）

元利均等返済（ボーナス払いなし）

元金据置期間なし

返済期間が長いと毎月の返済額が少なくなりますが、返済期間が短いと毎月の返済額は多くなります。また、返済期間は、完済時年齢が80歳という上限があります。この場合、年齢による最長返済期間は、「80歳－申込時年齢（1歳未満切上げ）」となり、返済期間は最長で15年となります。

返済期間15年で、毎月の返済額を50,000円以内である49,839円におさえると、融資額は800万円となります。なお、この場合、総返済負担率の基準を満たすためには約200万円以上の年収が必要です。

また、国民年金等の安定した収入である年金であれば、収入（返済原資）としてみることができます。

※災害復興住宅融資の融資額を計算するシミュレーションが、住宅金融支援機構のホームページにあります。

利用方法はP.135をご参照ください。

もう少し融資額を増やしたいので、後継者：息子（40歳）と一緒に返済しようと思うのですが、災害復興住宅融資をいくらまで借りることができますか？

親子リレー返済を利用する場合は、申込人の年齢に関わらず、後継者の申込時の年齢をもとに、「年齢による最長返済期間」を計算できますので、この場合の返済期間は最長で35年となります。

返済期間35年で、毎月の返済額を49,382円におさえると、融資額は1,600万円となります。

なお、親子リレー返済を利用する場合は、後継者との同居の有無は問いませんし、収入は全額合算して計算できます。申込本人は必ず再建する住宅に持分をお持ちいただきますが、その割合は問いません。

【ご注意】

親子リレー返済の効果を分かりやすく説明するため、他の借入れなし、建設費が融資額を上回る等一定の条件の中で試算したものです。

お申込み後の審査の結果、融資をお断りすることや融資額を減額する場合があります。

相談3 「収入合算」の利用

私（65歳）は、年金収入のみで年収が少ないので、総返済負担率からみると、工事費全額の融資を受けられないようです。何かいい方法はありませんか？

「収入合算」という方法があります。「収入合算」とは、申込本人の年収に加えて、連帯債務者の年収を合算した上で、総返済負担率を計算する制度です。なお、同居しない連帯債務者の年収を合算できる場合があります。また、複数名の収入合算もできます。

※総返済負担率については、P. 144参照

収入合算

融資住宅に同居する配偶者（内縁関係を含みます。）や親族、将来同居する配偶者（内縁関係を含みます。）や直系親族は年収の全額を、同居しない直系親族や将来同居する直系親族以外の親族は年収の5割までを合算することができます。

（親子リレー返済の場合は、同居の有無にかかわらず、後継者（連帯債務者）の収入全額の合算が可能です。また、後継者の年齢により返済期間を選択できます。）

〈収入合算の例〉

例1	夫（申込本人）	年収150万円	合計額
	妻（同居する）	年収300万円	450万円
例2	親（申込本人）	年収150万円	合算額
	子（同居する）	年収250万円	400万円
例3	親（申込本人）	年収150万円	合計額
	子（同居しない）	年収200万円	350万円

（例3は親子リレー返済を利用しています。）

【ご注意】

収入合算者の合算額が、収入合算者の収入の5割を超える場合は、収入合算者の年齢によって借入期間が短くなることがあります。

相談4 「親孝行ローン」の利用

親は、現在70歳と高齢であり、建設資金を借りるには年齢的に難しいので、子供（遠隔地に居住）である自分が支援したいのですが、何かいい方法はありませんか？

子が申込本人となり、被災した親のために住宅を建設する費用に対する融資の制度として、「親孝行ローン」という方法があります。

「親孝行ローン」をご利用いただいた場合、子（申込本人）は、借入の債務者となりますが、融資住宅に居住する必要はありません。

また、申込本人（子）は、持分を必ず持っていただきますが、持分割合に制限はありません。

なお、融資住宅の建設場所にも制限はありません。

（例）

親の住所
↓
輪島市

子の住所
↓
東京都

融資住宅の場所

輪島市 ○
東京都 ○
金沢市 ○

※建設場所を問いません。

※ただし、石川県外に建設する場合は、住宅ローンに関する利子助成を受けることができませんので、ご注意ください。

親孝行ローン

自然災害により被災した家屋に居住していた親（満60歳以上の父母・祖父母等）が居住するため、子などが住宅を建設するための費用に対する融資の制度です。

相談5 「高齢者向け返済特例」の利用

新築を考えていますが、自分（60歳）は、年金収入のみで年収が少なく、頼れる家族もおらず困っています。何かいい方法はありませんか？

満60歳以上の方であれば、毎月のお支払を利息のみとする「高齢者向け返済特例」を利用することで、毎月のご負担を低く抑えられます。

借入金の元金は、申込入全員の死亡時に、相続人の方からの手元金による一括返済や、担保提供された融資住宅と敷地を売却すること等によりご返済いただきます。

また、申込入がご存命中に元金の全部又は一部を繰り上げて返済することもできます（一部を繰り上げて返済する場合は、元金100万円以上であることが必要です。）。

なお、高齢者向け返済特例は、通常の災害復興住宅融資と比べて金利水準が高く、担保評価による融資額の上限がある等特有の取扱いがありますので、詳しくは、P.147をご参照いただくか、住宅金融支援機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）0120-086-353（通話無料）にご照会ください。

〈借入金額 1,000 万円の場合の返済額の比較〉

	毎月の返済額	1年間の返済額
高齢者向け返済特例（※1）	18,166円	217,992円
通常の災害復興住宅融資（※2） （返済期間19年）	50,662円	607,944円

〈前提条件〉

（※1）金利 年2.18%（令和7年3月現在）

（※2）新機構団信加入 金利 年1.55%（令和7年3月現在）

元利均等返済（ボーナス払いなし）

元金据置期間なし

災害復興住宅融資シミュレーションの使い方

住宅金融支援機構のホームページには災害復興住宅融資のシミュレーションをご用意しています。

(<https://www.simulation.jhf.go.jp/saigai2/index.html>)

災害復興住宅融資の利用を検討される際に、返済額や借入可能額を簡単に計算することができるシミュレーションです。

災害復興住宅融資シミュレーションには、「借入額から返済額を計算する方法」と「年収から借入可能額を計算する方法」があります。

また、資金使途が「建設・購入」と「補修」の場合で利用するシミュレーションが異なります。



借入額から返済額を計算する場合の画面構成

必要な項目を入力し、「試算実行」をクリックすることで、計算できます。

なお、金利の項目には、自動的に計算日現在の金利が入力されますが、任意の数値を入力することもできます。

利用上のご注意

- シミュレーション結果は、概算であり、あくまで目安としてご利用していただくことを目的としております。
- 当初の返済額だけでなく、全返済期間を通じた返済の可能性を踏まえて、生活費や固定資産税および各種保険料等のさまざまな支出を考慮するなど、確実な返済計画を立てましょう。
- 融資をご利用いただくためには、お申込みする方、住宅などに条件があります。また、お申込みの条件を満たしていても、審査の結果、融資をお断りしたり、希望融資額を減額することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 融資額や金利、返済期間を入力される際には、以下の点にご留意ください。
 - (1) 融資額は、各所要額（建設費、購入費、補修費など）の合計額又は融資限度額のいずれか低い額が限度となります（10万円以上1万円単位）。融資限度額は、資金（「建設」、「購入」、「補修」）毎に異なります。
 - (2) 現在の融資金利を初期値として表示していますが、任意の金利を入力して計算することも可能です。なお、金利は、お申込みいただいた時点での融資金利が適用されます。

V 令和6年能登半島地震 住宅耐震化・宅地復旧に関するご案内

1. 石川県住宅耐震化促進事業

住まいの耐震化は、①耐震診断、②補強計画、③耐震改修の手順に沿って実施します。まずは耐震診断を実施することが重要です。結果に応じて補強計画や耐震改修を行いきましょう。

手 順	① 耐震診断 住宅が地震に対して、どの程度の強さを持っているかを調べます	② 補強計画 診断結果に基づいて、補強方法を決めます	③ 耐震改修 補強計画に従って補強工事を行います
依頼先	建築士事務所など		工務店・大工など
費 用 (補助金適用前)	5～25万円	20～50万円	100～300万円

※費用は目安であり、住宅の建築時期や規模等により異なります。

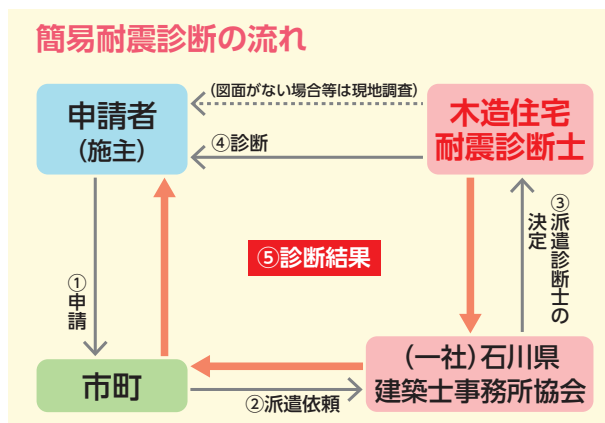
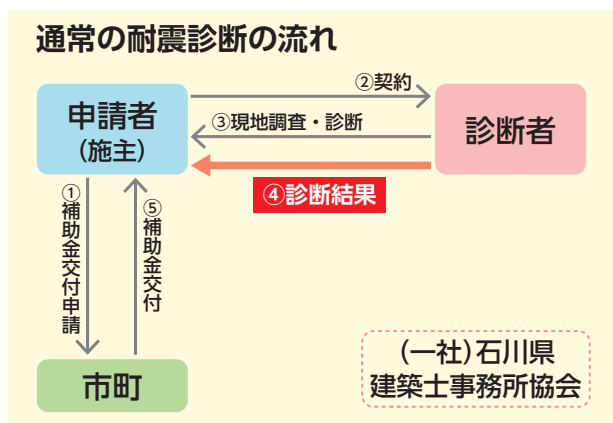
■補助対象

1981(昭和56)年以前建築の住宅、又は**令和6年能登半島地震で被災した住宅**の、耐震診断や耐震改修を行う際に、県と市町が連携して補助を実施しています。

※地震で被災し、耐震診断で「倒壊の危険がある」と判定された住宅については、建替も対象となります。(ただし公費による解体をするものは対象外)

■耐震診断(簡易耐震診断制度)について

耐震診断では建物の状態、壁の強さや配置、劣化の状態などを調べます。具体的にどの部分が弱いのか、どのような補強が有効かといった診断結果から、家の弱点と補強のポイントがわかります。**中でも簡易耐震診断制度は、原則自己負担なしで耐震診断を受けられる制度です。**専門家を探す必要がなく、市町の窓口で申請書を提出するだけで、耐震診断書が申請者の手元に届きます。



■耐震改修について

耐震診断の結果から作成された補強計画に基づき耐震改修工事を行います。石川県では耐震改修工事費について、**180万円まで全額補助**する手厚い補助制度を設けています。限度額を更に引き上げている市町もありますので、詳細は下記QRコードからご確認ください。また、次ページで実際の耐震改修の事例を紹介していますので、そちらもご確認ください。

参考

いしかわ住宅耐震事業者リスト

住まいの耐震化を進めたいが
誰に頼んでよいかわからない…

耐震化に取り組む建築士事務所・工務店等をまとめた
「いしかわ住宅耐震事業者リスト」を公開

いしかわ 耐震 リスト

検索

各市町の問合せ先や
制度の詳細はこちら



耐震改修工事の事例紹介

耐震改修は、構造用合板により強い壁を増やしたり、柱や梁の接合部を金物を使って補強するなどの工事を行い、地震に強い住まいにするものです。壁や床、天井を壊さず補強でき、安価で迅速な対応が可能となる低コスト工法と呼ばれるものもあります。

ここでは実際に耐震改修した住宅の事例を紹介します。

事例1 田の字型間取りの改修事例

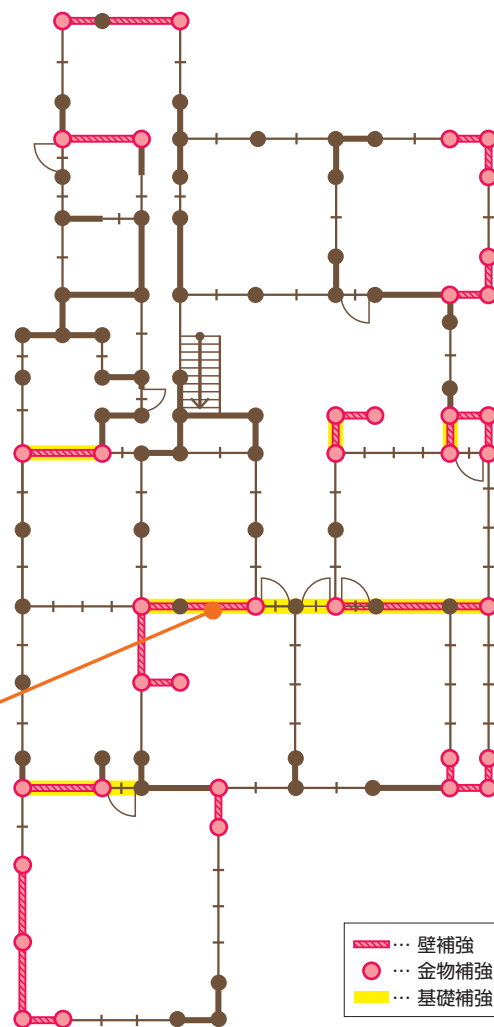
Before



After



Point 壁が少ない部分にバランスよく補強壁を配置する



--- 壁補強
● 金物補強
--- 基礎補強

建物概要

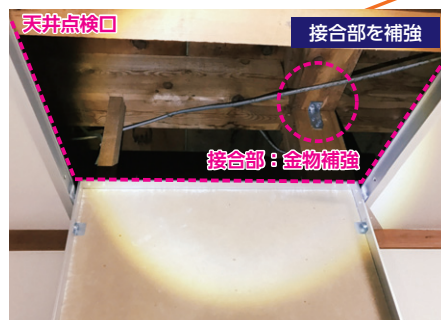
- ・工事費：450万円(補助金200万円)
- ・評点：第一段階0.70(改修前0.16)
- ・規模：木造2階建250㎡
- ・建築年：S44

※工事費は改修当時の金額です。補助金の額は、市町によって異なります。
※耐震性能を示す評点1.0が「建築基準法で定める最低限の耐震性能レベルと同程度」と言われています。
※全面的な耐震改修が困難な場合、二度に分けて(段階的に)改修を行う段階的耐震改修があります。

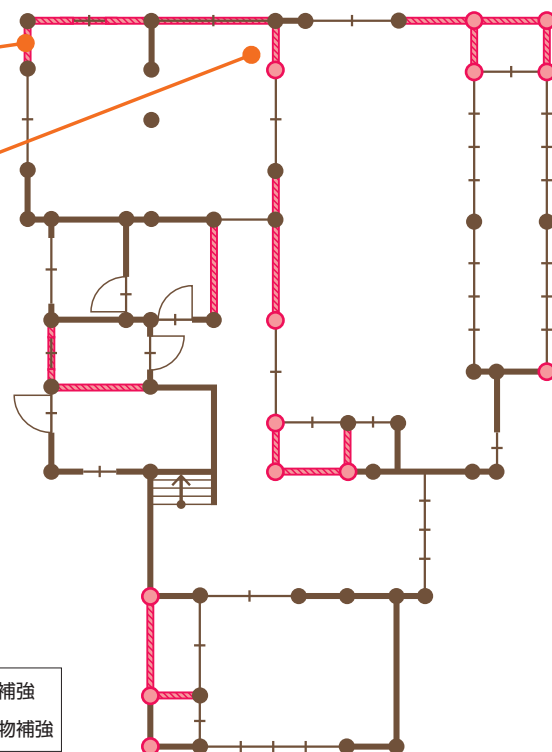
事例2 外部補強型の改修事例



Point 外部から補強し、壁や窓を壊さずに補強する



Point 天井点検口を設けて、柱と梁の接合部を金物で補強する

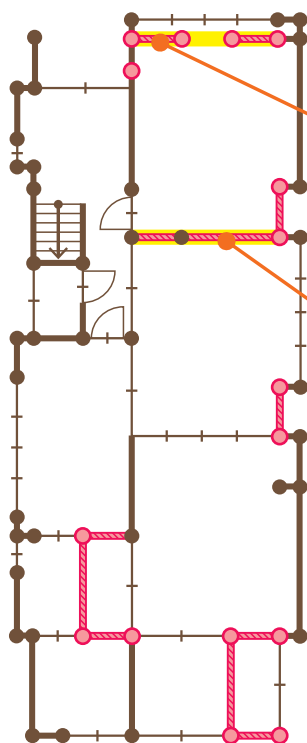


建物概要

- ・工事費：289万円(補助金200万円)
- ・評点：改修後1.00(改修前0.30)
- ・規模：木造2階建147㎡
- ・建築年：S54

--- 壁補強
● 金物補強

事例3 通風・採光重視型の改修事例



建物概要

- ・工事費：253万円(補助金200万円)
- ・評点：改修後1.05(改修前0.09)
- ・規模：木造2階建83㎡
- ・建築年：S46



Point 通風や採光を確保した耐力壁による補強を実現する



Point 基礎の補強は部分的に実施し、必要最低限とする

--- 壁補強
● 金物補強
--- 基礎補強

2. 被災宅地等復旧支援事業

地震による液状化などで宅地や住宅に被害が出た方々に活用いただける制度をご紹介します。

■補助額

最大766万円（最大の補助対象額：1,200万円）
 ※補助対象額から50万円を控除した額の2/3を補助
 ※限度額を更に引き上げている市町もありますので、
 詳細は、P.140下記QRコードからご確認ください。

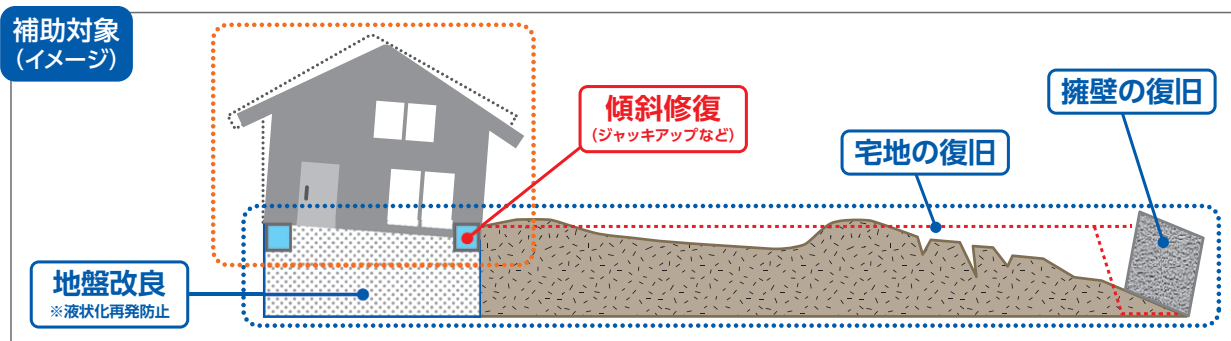
〈イメージ〉

補助対象の工事費用		
補助額 2/3	所有者 1/3	50万円 (※)

※応急修理などの少額工事相当額50万円は所有者負担

■対象となる工事

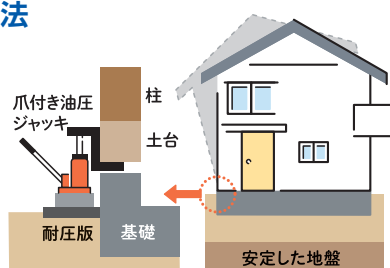
擁壁・地盤・宅地のり面等の復旧、住宅の地盤改良、
 傾斜修復など



沈下・傾斜した建物の主な復旧方法について

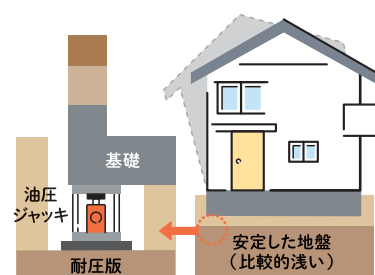
■ポイントジャッキ工法

基礎天端と建物土台の間にジャッキを挿入し、建物土台を持ち上げる
 ・200～300万円程度



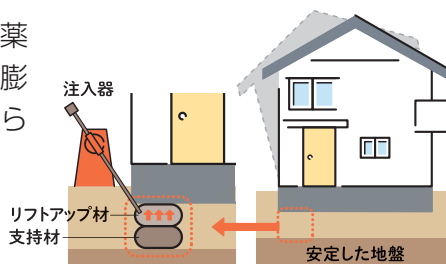
■耐圧版工法

基礎底版の下を掘削して安定した地盤面に耐圧版を設置し、ジャッキで基礎から持ち上げる
 ・500～700万円程度



■薬液等注入工法

基礎底版の下に薬液などを注入して膨張圧により基礎から持ち上げる
 ・300～600万円程度



■鋼管圧入工法（アンダーピニング工法）

基礎底版の下を掘削して、鋼管杭を安定した地盤まで圧入し、ジャッキで基礎から持ち上げる
 ・600～1000万円程度



復旧にかかる費用は200万円～1,000万円程度

※木造2階建て（建坪15～20坪）を想定

※建物の構造や地盤により使える工法が異なるため、建築士など専門家に相談してください

液状化対策の主な工法について

液状化対策の工法等	新築における費用感 (坪単価)	対応可能な住宅	
		新築	既存住宅
締固め工法 (例：丸太による密度増大工法)	5～12万円／坪 程度	○	×
小口径鋼管杭	5～7万円／坪 程度	○	○
柱状地盤改良	4～5万円／坪 程度	○	×
浅層地盤改良 (流動化処理工法を含む)	2～3万円／坪 程度	○	○

費用は60万円～200万円

※表内の費用感は木造2階建て(建坪15～20坪程度)を想定したものであり、「敷地条件」ならびに「地盤性状」などにより異なります。

液状化の発生そのものを抑制する工法



例：砂杭や丸太で地盤を締固める工法 など

液状化は発生しても建物被害を軽減させる工法

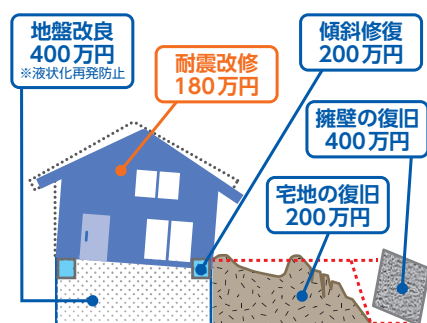


例：小口径鋼管杭、柱状地盤改良、浅層地盤改良(流動化処理工法を含む) など

(出典) 一般財団法人 日本建築防災協会「住まいの液状化被害で困らないために」

2つの制度の活用事例

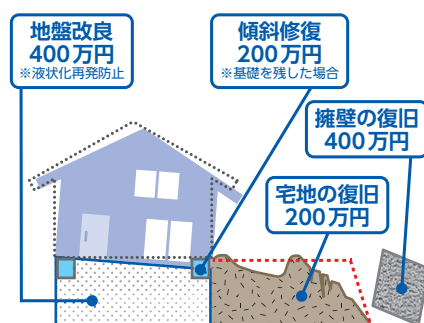
事例1 宅地の復旧と住宅の耐震化を行う場合 (傾斜修復はいずれかの補助を選択可)



対象事業費：1,380万円

補助額	宅地復旧：766万円
	住宅耐震化：180万円
	計：946万円

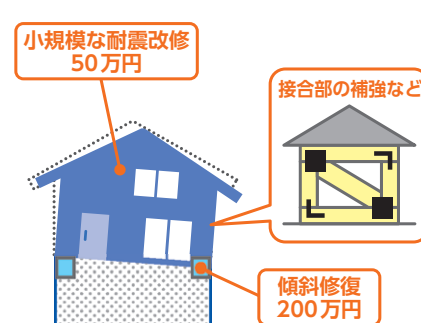
事例2 住宅が全壊し、住宅再建とあわせて宅地復旧を行う場合 (耐震改修は実施しない)



対象事業費：1,200万円

補助額	宅地復旧：766万円
	計：766万円

事例3 小規模な耐震改修にあわせ傾斜修復を行う場合



対象事業費：250万円

補助額	住宅耐震化：180万円
	計：180万円

住まいの再建(建替え・修理・宅地復旧)に関する相談窓口
石川県木造住宅協会・石川県建設業協会 事務局内
電話番号：0120-123-688 (フリーダイヤル)
受付URL：<https://www.jiwood.or.jp/reconstruction/>

受付二次元コード



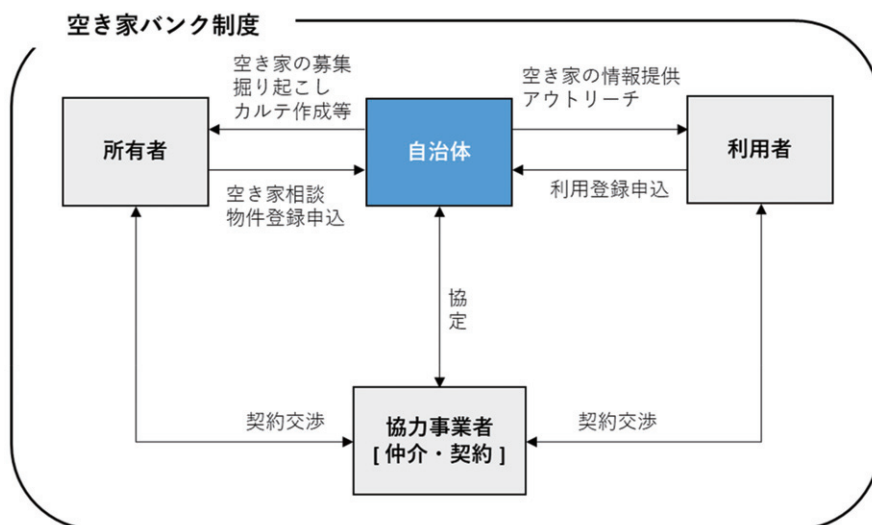
各市町の問合せ先や
制度の詳細はこちら



Ⅵ 空き家の活用に関する情報

空き家バンクの活用

住宅の再建にあたって、新築住宅の建設、購入や自宅の改修の他に、中古住宅の購入、賃貸という選択肢もあります。不動産業者に相談するだけでなく、自治体が運営する「空き家バンク」は利用希望者に向けて物件情報が広く公開されています。UIターンや移住者だけでなく、地元在住者も利用できますのでご検討下さい。



図：空き家バンク運営の例



石川県へUIターン・移住したい人のためのポータルサイト

いしかわ暮らし情報ひろば

<https://iju.ishikawa.jp/akiya/>



～県や市町があなたの住まいづくりを応援します～ 住まいづくり補助制度のご案内

空き家を購入したり、改修する際、一部の市町より補助金が出る場合があります。石川県における住宅関連の補助制度全般について、下記URLよりご確認ください。

石川県住宅関連支援制度ポータルサイト

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenju/zyutaku_yusi.html



■空き家の活用イメージ



Before



After



Before



After

VII 県産材の活用支援に関する情報

いしかわの森で作る住宅推進事業

いしかわ森林環境基金事業

～石川県産材を使用した住宅へ助成します～
能登半島地震、奥能登豪雨からの再建は助成額を増額!!

事業の趣旨

住宅分野における県産材利用を通じ、森林資源の循環利用を促進することで、森林の持つ公益的機能の維持増進を図り、県民共有の財産である森林を、健全な姿で未来の世代に承継していくことを目的とした補助事業です。

助成内容・申請条件

- ①「県産材建築ビルダー※」が建築する住宅等の新築・増改築又は購入であること。
※いしかわ森林環境税を活用した県産材利用促進の趣旨に賛同する旨を宣誓し、県による登録を受けた事業者
- ② 延べ床面積70㎡以上（新築の場合のみ）であり、引渡日が、令和7年4月1日以降の住宅等であること。ただし、特例措置についてはこの限りではない。
- ③ 木塀・ウッドデッキについては、県産材を使用した施工面積に助成単価（木塀5千円/㎡、ウッドデッキ10千円/㎡）を乗じた金額が5万円以上であること（上限15万円）。
- ④ 県産材取扱業者（合法木材供給事業者）発行の「県産材産地及び合法木材証明書」を提出すること。
- ⑤ 「いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業」の補助金助成の採択を受けていないこと。
- ⑥ 特例措置は、令和6年能登半島地震、令和6年奥能登豪雨で住宅が全壊・半壊となった者を対象とし、罹災証明書を提出すること。また、令和6年1月1日以降に本事業の助成を受けていないこと。

助成単価

県産材の使用量に応じて下記の単価で助成します。

通常枠	区分	-	5～7m ³	7～15m ³	15～20m ³	20m ³ ～	25m ³ 以上、かつ 県産材使用率90%以上	木塀、 ウッドデッキ
	単価	-	7万円	10万円	15万円	30万円	50万円	5～15万円
特例 措置	区分	3～5m ³	5～7m ³	7～15m ³	15～20m ³	20m ³ ～	25m ³ 以上、かつ 県産材使用率90%以上	木塀、 ウッドデッキ
	単価	10万円	15万円	20万円	30万円	60万円	100万円	-

お問合せ先・お申し込み

お問合せ、お申し込みはお近くの農林総合事務所までお願いします。

農林総合事務所	南加賀	小松市園町ハ108-1	0761-23-1717
	石川	白山市鶴来本町4丁目75番地	076-272-1171
	県央	金沢市直江南2丁目1番地	076-239-1753
	中能登	七尾市小島町233番地	0767-52-6600
	奥能登	輪島市三井町洲衛10部11番1	0768-26-2329
石川県農林水産部 森林管理課		金沢市鞍月1丁目1番地（県庁）	076-225-1643

詳しくはHP
をチェック



詳細は石川県森林管理課HPをご覧ください（申請書や宣誓書のダウンロードもできます）
（<http://www.pref.Ishikawa.lg.jp/shinrin/mokuzai/morisumai.html>）



VIII 参考・災害復興住宅融資のご案内

1. 住宅金融支援機構の災害復興住宅融資の概要（建設資金）

災害復興住宅融資は、令和6年能登半島地震などの自然災害で被災された方が、ご自分で居住する住まいを再建するためにご利用いただける融資です。

■融資金利【令和7年3月現在】・融資限度額

加入する団体信用生命保険の種類等に応じて融資金利が異なります。

融資額は、所要額又は次表の融資限度額のいずれか低い額が上限となります（10万円以上1万円単位）。

融資金利			融資限度額	
団信に加入する場合			土地を取得する場合(注) 5,500万円	土地を取得しない場合 4,500万円
	新機構団信	年1.55%		
	新機構団信 (デュエット)	年1.73%		
	新3大疾病付 機構団信	年1.79%		
団信に加入しない場合		年1.35%		

（ご参考）100万円あたりのご返済額の目安（新機構団信加入、元利均等毎月払いの場合）

返済期間		35年	30年	25年	20年
毎月の返済額	新機構団信 年1.55%	3,086円	3,475円	4,022円	4,848円

【融資金利について】

※お申込み時の金利が適用される「全期間固定金利」です。

※融資金利は、原則として毎月改定します。融資金利の詳細及び最新金利は、機構お客さまコールセンターにお問い合わせいただくか、機構ホームページ（www.jhf.go.jp）でご確認ください。

【融資限度額について】

（注）土地を取得する場合とは、り災日後に申込本人が有償で土地の所有権又は借地権を取得する場合をいいます。

※土地を取得する場合、建設費及び土地取得費（借地権取得費を含みます。）の合計額が所要額となります。

※土地を取得しない場合、建設費が所要額となります。

※土地取得のみを目的としたご利用はいただけません。

※住宅の建設に併せて行う、敷地の整地工事（堆積土砂の排除、切土、盛土、擁壁の築造又は地盤改良等による土地整備に係る工事）のための費用、損壊家屋の除去費用も融資対象として建設費に含めることができます。

※国、地方公共団体等から住宅再建のための補助金を受けられる方は、融資額が減額される場合があります。

■ご利用いただける方

次の(1)から(4)までの**全て**にあてはまる方です。

※既に被災したご自宅の復旧が行われている場合は、融資をご利用いただけませんので、ご注意ください。

(1) 自然災害により被害が生じた住宅（以下「被災住宅」といいます。）の所有者又は居住者で、地方公共団体から「リ災証明書」を交付されている方

住宅が「全壊」、「大規模半壊」、「中規模半壊」又は「半壊」した旨の「リ災証明書」を交付されている方（「準半壊」及び「一部破損」等を除きます。）

※住宅が「大規模半壊」、「中規模半壊」又は「半壊」した旨の「リ災証明書」を交付されている方は、被災住宅が修理不能等の場合に関り、申し込むことができます。

(2) ご自分が居住するための住宅を建設する方

※親孝行ローン（被害が生じた住宅にお住まいになっていた満60歳以上の父母・祖父母等が住むための住宅を建設する場合の融資）もご利用いただけます。被災住宅に居住していた方が、融資を利用する方又はその配偶者の親族であること等が要件となります。

(3) 年収に占める全てのお借入れ^{*}の年間合計返済額の割合（総返済負担率）が次表の基準を満たしている方

年収	400万円未満	400万円以上
総返済負担率基準	30%以下	35%以下

※全てのお借入れとは、災害復興住宅融資のほか、災害復興住宅融資以外の住宅ローン、自動車ローン、教育ローン、カードローン（クレジットカードによるキャッシングや商品の分割払いによる購入を含みます。）、家賃、地代等ご融資後も支払が継続する借入等をいいます。ただし、携帯電話端末の割賦購入に係る分割代金は全てのお借入れに含める必要はありません。

(4) 日本国籍の方又は永住許可等を受けている外国人の方

■住宅の要件

- 融資を受ける住宅には、居住室、台所及びトイレが備えられていることが必要です。
- 床面積の制限はありません。ただし、店舗併用住宅等の場合は、住宅部分の床面積が全体の約2分の1以上必要です。
- 機構が定める技術基準に適合していることが必要です。技術基準への適合については、お客さまにご確認いただきます。詳しくは、「災害復興住宅融資のご案内」をご確認ください（機構ホームページで入手できます。）。

■返済期間

次の①又は②のいずれか短い期間となります（1年以上1年単位）。

①**35年** ご融資の契約日から最長3年間（1年単位）の元金据置期間（利息のみの支払期間をいいます。以下同じです。）を設定でき、元金据置期間の設定を希望すると元金据置期間分返済期間が延長されます。

②**「80歳」－「申込本人又は収入合算者^(注)のいずれか年齢が高い方の申込時の年齢（1歳未満切上げ）」**

（注）収入合算を希望する金額が収入合算者の収入の50%を超える場合に限りです。

【親子リレー返済を利用する場合】

「80歳」－「後継者の申込時の年齢（1歳未満切上げ）」

※元金据置期間を設定した場合も、完済時年齢の上限は80歳です。

■返済方法

元利均等毎月払い 又は 元金均等毎月払い

※ボーナス払いをご利用いただく場合であっても、元金据置期間を設定するときは、元金据置期間中の返済は毎月払いのみとなります。

※ボーナス払いは、融資額の10分の4以内で、1万円単位となります。

※返済額の試算は、機構ホームページ又は機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）で承ります。

■担保（抵当権）

原則として、融資の対象となる建物及び土地に機構のための第1順位の抵当権を設定していただきます。ただし、融資額が300万円以下の場合は、抵当権の設定は不要です。

※申込時点で既融資（機構（旧住宅金融公庫を含みます。）からの無担保の借入れをいいます。以下同じです。）がある場合で、今回の災害復興住宅融資の融資額に既融資の残高を加えた額が300万円を超えるときは、既融資のための抵当権と今回の災害復興住宅融資のための抵当権の設定がそれぞれ必要となります。

※抵当権の設定費用（登録免許税、司法書士報酬等）は、お客さまのご負担となります。

■火災保険

返済終了までの間、融資の対象となる建物に、火災保険（損害保険会社が扱う火災保険又は法律の規定による火災共済）を付けていただきます。建物の火災による損害を補償対象としていただきます。保険金額は、機構からの総借入額以上^(*)としていただきます。

*総借入額が建物の評価額を超える場合は、建物の評価額と同額としていただきます。

※火災保険料は、お客さまのご負担となります。

■団体信用生命保険

団体信用生命保険には、「新機構団信（一般）」、「新機構団信デュエット（ペア連生団信）」及び「新3大疾病付機構団信」があり、いずれかを選択し、ご加入いただけます。

健康上の理由その他の事情で団体信用生命保険に加入されない場合も、災害復興住宅融資をご利用いただけます。

■保証人

必要ありません。

■融資手数料

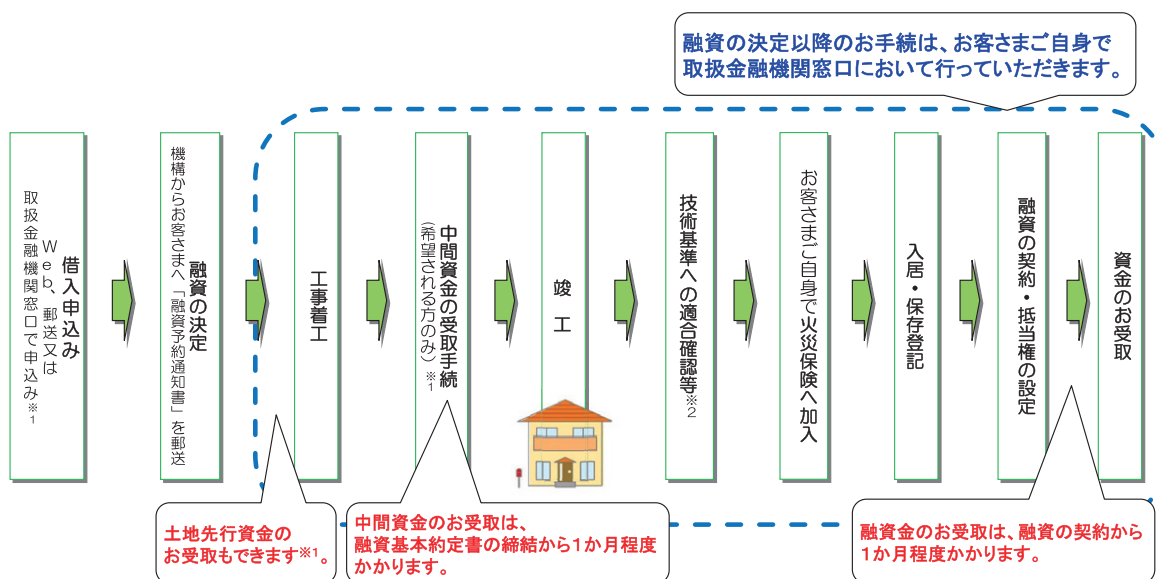
必要ありません。

■申込受付期間

原則として、被災日から2年間です。

※申込受付期間は、延長する場合があります。詳細は機構ホームページ等でご確認ください。

■手続の流れ



※1 必要な提出書類は、「災害復興住宅融資のご案内」をご覧ください。Web又は取扱金融機関窓口でのお申込みを希望される場合は、機構ホームページをご参照ください。

※2 機構が定める技術基準に適合していること等について、「災害復興住宅融資等に関する確認書」等の提出により、お客さまにお申出いただきます。詳しくは、「災害復興住宅融資のご案内」をご覧ください。

■お申込先

Web、郵送（機構本店郵送申込係あて）又はお客さまが希望された災害復興住宅融資取扱金融機関の窓口にてお申込みください。

※返済等の手続は、お客さまが希望された災害復興住宅融資取扱金融機関で行います。

■繰上返済

ご返済の途中で、融資金の全部又は一部を繰り上げて返済することができます。

繰り上げてご返済される1か月前までに、ご返済中の取扱金融機関にお申出ください。なお、融資金の一部を繰り上げて返済できる額は100万円以上で、繰り上げて返済できる日（ご入金日）は毎月の返済日です。

※この手続には、手数料はかかりません。

※「住・My Note（す・まい・のーと）」（ご返済中のお客さま向けインターネットサービス）をご利用いただいた場合、10万円以上から一部繰上返済することができます。詳しくは、機構ホームページをご覧ください。

■お問合せ先・申込関係書類の請求先

融資等のご相談、「災害復興住宅融資のご案内」（パンフレット）及び申込みに必要な書類のご請求は、こちらへご連絡ください。

住宅金融支援機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）

0120-086-353（通話料無料）

※国際電話等でご利用いただけない場合は、【TEL：048-615-0420】におかけください（通話料金がかかります。）。

※電話相談は、土曜日及び日曜日も実施します（受付時間：9：00～17：00）（祝日及び年末年始を除きます。）。

この「いしかわ型復興住宅モデルプラン集」では、災害復興住宅融資の概要を説明しています。融資の詳細は、機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）にお問合せいただくか、機構ホームページ（www.jhf.go.jp）でご確認ください。

【ご注意】

- (1) お申込みの条件を満たしている場合であっても、審査の結果、ローンの延滞履歴がある等返済に懸念がある方については、融資をお断りしたり、融資額が減額されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- (2) お申込みに当たり、申込本人及び連帯債務者の個人信用情報が機構の加盟する個人信用情報機関及び同機関と提携する個人信用情報機関に登録されている場合は、その個人信用情報を機構の融資審査

に利用します。また、融資に当たり、融資内容を機構の加盟する個人信用情報機関に登録します。

- (3) 反社会的勢力である者からの借入申込みは、一切お断りします。また、後日、反社会的勢力であることが判明した場合は、直ちに手続を中止し、ご融資はいたしません。お借入後に反社会的勢力であることが判明した場合は、融資金の残金全額を一括して繰上返済していただきます。

機構ホームページはこちら



2. 災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）の概要（建設資金）

災害復興住宅融資は、令和6年能登半島地震などの自然災害で被災された方が、ご自分で居住する住まいを再建するためにご利用いただける融資です。高齢者向け返済特例※は、満60歳以上の方が利用できる制度です。

※通常の返済方法（元利均等返済又は元金均等返済）の場合と、融資金利や融資限度額、融資条件等が異なりますので、ご注意ください。

■融資金利【令和7年3月現在】・融資限度額

融資金利：年2.18%

融資額は、所要額又は次表の①機構による担保評価額（土地と建物の合計額）若しくは②融資限度額のうち最も低い額が上限となります（10万円以上1万円単位）。

① 機構による担保評価額		② 融資限度額	
土地を取得する場合（注）	土地を取得しない場合	土地を取得する場合（注）	土地を取得しない場合
●建物 工事請負契約書の建設費×60% ●土地 土地売買契約書の売買価額×60%	●建物 工事請負契約書の建設費×60% ●土地 固定資産税評価額×10/7×60%	5,500万円	4,500万円

【融資金利について】

※お申込み時の金利が適用される「全期間固定金利」です。

※融資金利は、原則として毎月改定します。融資金利の詳細及び最新金利は、機構お客さまコールセンターにお問い合わせいただくか、機構ホームページ（www.jhf.go.jp）でご確認ください。

【融資限度額について】

（注）土地を取得する場合とは、リ災日後に申込本人が有償で土地の所有権又は借地権を取得する場合をいいます。

※土地を取得する場合、建設費及び土地取得費（借地権取得費を含みます。）の合計額が所要額となります。

※土地を取得しない場合、建設費が所要額となります。

※土地取得のみを目的としたご利用はいただけません。

※住宅の建設に併せて行う、敷地の整地工事（堆積土砂の排除、切土、盛土、擁壁の築造又は地盤改良等による土地整備に係る工事）のための費用、損壊家屋の除去費用も融資対象として建設費に含めることができます。

※国、地方公共団体等から住宅再建のための補助金を受けられる方は、融資額が減額される場合があります。

■ご利用いただける方

次の(1)から(5)までの**全て**にあてはまる方です。

※既に被災したご自宅の復旧が行われている場合は、融資をご利用いただけませんので、ご注意ください。

- (1) 借入申込時の年齢が満60歳以上の方
- (2) 自然災害により被害が生じた住宅（以下「被災住宅」といいます。）の所有者又は居住者で、地方公共団体から「リ災証明書」を交付されている方

住宅が「全壊」、「大規模半壊」、「中規模半壊」又は「半壊」した旨の「リ災証明書」を交付されている方（「準半壊」及び「一部破損」等を除きます。）

※住宅が「大規模半壊」、「中規模半壊」又は「半壊」した旨の「リ災証明書」を交付されている方は、被災住宅が修理不能等の場合に限り、申し込むことができます。

- (3) ご自分が居住するための住宅を建設する方

- (4) 年収に占める全てのお借入れ^{*}の年間合計返済額の割合（総返済負担率）が次表の基準を満たしている方

年 収	400万円未満	400万円以上
総返済負担率基準	30%以下	35%以下

※全てのお借入れとは、災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）のほか、災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）以外の住宅ローン、自動車ローン、教育ローン、カードローン（クレジットカードによるキャッシングや商品の分割払いによる購入を含みます。）、家賃、地代等ご融資後も支払が継続する借入等をいいます。ただし、携帯電話端末の割賦購入に係る分割代金は全てのお借入れに含める必要はありません。

- (5) 日本国籍の方又は永住許可等を受けている外国人の方

■住宅の要件

- 融資を受ける住宅には、居住室、台所及びトイレが備えられていることが必要です。
- 床面積の制限はありません。ただし、店舗併用住宅等の場合は、住宅部分の床面積が全体の約2分の1以上必要です。
- 機構が定める技術基準に適合していることが必要です。技術基準への適合については、お客さまにご確認いただけます。詳しくは、「災害復興住宅融資のご案内（高齢者向け返済特例）」をご確認ください（機構ホームページで入手できます。）。

■返済期間

申込人（連帯債務者を含みます。）全員がお亡くなりになるときまでです。

■返済方法

毎月のお支払は、利息のみで、借入金の元金は、申込人（連帯債務者を含みます。）全員の死亡時に相続人の方から、手元金による支払、融資住宅と敷地の売却などにより、一括でご返済いただきます。

なお、相続人が、融資住宅及び土地の売却による売却代金等により、一括してご返済いただいた場合は、債務が残ったときでも、機構は、残った債務について相続人の方に請求しません。

このような返済方法を「ノンリコース」といいます。

※ボーナス併用払いは、ご利用いただけません。

※返済額の試算は、機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）で承ります。

■担保（抵当権）

融資の対象となる建物及び土地に機構のための第1順位の抵当権を設定していただきます。

※土地に他の借入金のための抵当権が設定されている場合でも、抵当権の順位変更等により、建物及び土地に必ず機構のための第1順位の抵当権を設定していただきます。

※抵当権の設定及び順位変更に係る費用（登録免許税、司法書士報酬等）は、お客さまのご負担となります。

■火災保険

返済終了までの間、融資の対象となる建物に、火災保険（損害保険会社が扱う火災保険又は法律の規定による火災共済）を付けていただきます。建物の火災による損害を補償対象としていただきます。保険金額は、機構からの総借入額以上^(*)としていただきます。

※総借入額が建物の評価額を超える場合は、建物の評価額と同額としていただきます。

※火災保険料は、お客さまのご負担となります。

■団体信用生命保険

ご加入いただけません。

■保証人

必要ありません。

■融資手数料

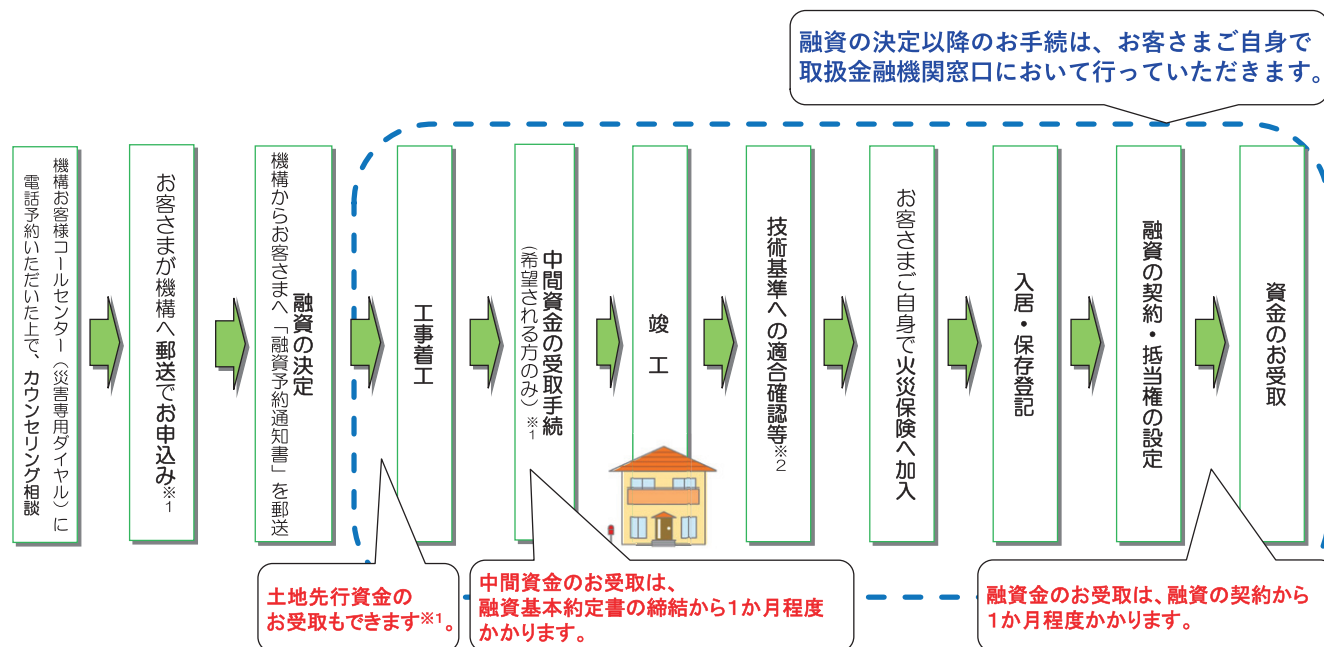
必要ありません。

■申込受付期間

原則として、り災日から2年間です。

※申込受付期間は、延長する場合があります。詳細は機構ホームページ等でご確認ください。

■手続の流れ



※1 必要な提出書類は「災害復興住宅融資のご案内〈高齢者向け返済特例〉」をご覧ください。

※2 機構が定める技術基準に適合していること等について、「災害復興住宅融資等に関する確認書」等の提出により、お客さまにお申出いただきます。詳しくは、「災害復興住宅融資のご案内〈高齢者向け返済特例〉」をご覧ください。

■お申込先

機構によるカウンセリング相談を受けた上で、郵送により機構本店郵送申込係にお申込みください。
 カウンセリング相談のお申込みは、機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）にご連絡ください。
 ※契約や返済等の手続は、お近くの災害復興住宅融資取扱金融機関で行います。

■繰上返済

ご返済の途中で、融資金の全部又は一部を繰り上げて返済することができます。
 繰り上げてご返済される1か月前までに、ご返済中の取扱金融機関にお申出ください。なお、融資金の一部を繰り上げて返済できる額は100万円以上で、繰り上げて返済できる日（ご入金日）は毎月の返済日です。
 ※この手続には、手数料はかかりません。

■お問合せ先・申込関係書類の請求先

融資等のご相談、「災害復興住宅融資のご案内〈高齢者向け返済特例〉」（パンフレット）及び申込みに必要な書類のご請求は、こちらへご連絡ください。

住宅金融支援機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）

0120-086-353（通話料無料）

※国際電話等でご利用いただけない場合は、【TEL：048-615-0420】におかけください（通話料金がかかります。）。

※電話相談は、土曜日及び日曜日も実施します（受付時間：9：00～17：00）（祝日及び年末年始を除きます。）。

この「いしかわ型復興住宅モデルプラン集」では、災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例）の概要を説明しています。融資の詳細は、機構お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）にお問合せいただくか、機構ホームページ（www.jhf.go.jp）でご確認ください。

【ご注意】

- (1) お申込みの条件を満たしている場合であっても、審査の結果、ローンの延滞履歴がある等返済に懸念がある方については、融資をお断りしたり、融資額が減額されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- (2) お申込みに当たり、申込本人及び連帯債務者の個人信用情報が機構の加盟する個人信用情報機関及び同機関と提携する個人信用情報機関に登録されている場合は、その個人信用情報を機構の融資審査

に利用します。また、融資に当たり、融資内容を機構の加盟する個人信用情報機関に登録します。

- (3) 反社会的勢力である者からの借入申込みは、一切お断りします。また、後日、反社会的勢力であることが判明した場合は、直ちに手続を中止し、ご融資はいたしません。お借入後に反社会的勢力であることが判明した場合は、融資金の残金全額を一括して繰上返済していただきます。

機構ホームページはこちら



〈参考〉「いしかわ型復興住宅」モデルプラン提案事業者(グループ)名簿

シート No	グループ名称	グループ代表者	プランの名称	施工業者	所在地 (市町)	設計業者	所在地 (市町)
A1 B8	トラスト住建(株)	トラスト住建(株)	・人との繋がりを感じる住まい ・コンパクトでも充実した暮らしができる住まい	トラスト住建(株)	金沢市	トラスト住建(株)	金沢市
A2 B18	みづほ工業(株)	みづほ工業(株)	・いしかわつどいの家 ・いしかわ家族の彩り	みづほ工業(株)	金沢市	みづほ工業(株)	金沢市
A3 B1	宏州建設(株)	宏州建設(株)	・強くコンパクトでエコな住まいの2LDK ・強くコンパクトでエコな住まいの3LDK	宏州建設(株)	金沢市	宏州建設(株)	金沢市
A4 B11	東急建設(株)	東急建設(株)	・可搬型木造建物「モクタスキューブ」で作る復興住宅 ・可搬型木造建物「モクタスキューブ」で作る復興住宅	東急建設(株)	東京都	向設計合同会社	東京都
A5 B22	(株)梶谷建設 +JBN(一社)石川県 工務店協会	(株)梶谷建設	・NOTO平屋の家 ・NOTOファミリーの家	JBN(一社)石川県工務店協 会		梶谷建設建築設計 事務所	小松市
A6 B23	ゆきわりそうの会	(有)サカガミ	・「繋ぐ」 平屋 ・「繋ぐ」 2階屋	(有)サカガミ	野々市市	設計室タイム	小松市
						一繪デザイン建築 事務所	金沢市
				(有)角谷建設	能美市	ことり設計舎	内灘町
						アーチェス 一級建築士事務所	能美市
A7 B17	ひまわりほーむグ ループ	(株)ひまわりほーむ	・平屋PLAN「和」15坪・断熱6・準耐火・耐震3 ・平屋PLAN「楽」・24坪断熱6・準耐火・耐震3	(株)ひまわりほーむ 設計室 石川	金沢市	ひまわりほーむグ ループ(ひまわり ほーむ、イノベー ションジャパン)	金沢市
A8 B5	のどの家づくりチーム: ほそ川建設+i Architects	ほそ川建設(株)	・土間のある家 ・田の字の家	ほそ川建設(株)	金沢市	一級建築士事務所 i Architects	能美市
A9 B10	ニューハウス工業(株)	ニューハウス工業(株)	・軒下と出窓ベンチの家 ・大きな軒下のある平屋	ニューハウス工業(株)	金沢市	ニューハウス工業(株)	金沢市
A10 B4	北陸リビング社	(株)北陸リビング社	・ホクリビモデル「やすらぎ」 ・ホクリビモデル「つどい」	(株)北陸リビング社	能美市	(株)北陸リビング社	能美市
A11 B24	(株)梶谷建設	(株)梶谷建設	・KAJITANI平屋モデル ・KAJITANI能登モデル	(株)梶谷建設	小松市	梶谷建設建築設計 事務所	小松市
A12	沢野建設工房	(株)沢野建設工房	・いしかわ和らぐミニ	(株)沢野建設工房	かほく市	(株)沢野建設工房	かほく市
A13 B26	駒沢建工 /キャロットホーム	(株)駒沢建工	・今と10年後を見据えた「のともらい型健康住宅」 ・能登の自然や景観に調和した「のともらい型子育て住宅」	(株)駒沢建工	小松市	(株)駒沢建工 一級建築士事務所	小松市
A14 B25	のどの家づくりチーム: ほそ川建設+松川秀幸 建築設計事務所	ほそ川建設(株)	・夫婦世帯 横長敷地型 ・ファミリー世帯 横長敷地タイプ	ほそ川建設(株)	金沢市	合同会社松川秀幸 建築設計事務所	金沢市
A15 B6	チドリススタジオ+新 協+岸田木材+中野	新協建設工業(株) 石川支店	・能登杉トラスの住宅(コンパクトタイプ) ・能登杉トラスの住宅(ファミリータイプ)	新協建設工業石川 支店	金沢市	チドリススタジオ	金沢市
A16	都市建設エンジニア リング+松本大建築 設計事務所 共同体	都市建設エンジニ ヤリング(株)	・のびやかな縁側のある住まい	都市建設エンジニ ヤリング(株)	白山市	松本大建築設計事 務所	白山市
A17 B20	飛鳥住宅(株)	飛鳥住宅(株)	・陽だまりテラスのある住まい ・LDKに勾配天井を設けた開放感のある住 まい	飛鳥住宅(株)	金沢市	飛鳥住宅(株)	金沢市
A18 B13	(株)クロダハウス	(株)クロダハウス	・能登の豊かな自然と暮らす「終の棲家」コ ンパクトな平屋 ・能登の豊かな自然を取り込む「家族が集 う」センターリビングの家	(株)クロダハウス	金沢市	(株)クロダハウス 一級建築士事務所	金沢市
A19	(株)ココ地建	(株)ココ地建	・畳リビングと縁側デッキのある平屋住宅	(株)ココ地建	白山市	(株)ココ地建	白山市
A20 B9	しんぎょうSTYLE	新協建設工業(株) 石川支店	・終(つひ)の住処 平屋プラン ・終(つひ)の住処 2階建てプラン	新協建設工業(株) 石川支店	金沢市	新協建設工業(株)石川 支店一級建築士事務所	金沢市

シート No	グループ名称	グループ代表者	プランの名称	施工業者	所在地 (市町)	設計業者	所在地 (市町)
A21 B3	(株) 家元	(株) 家元	・景観配慮型 平屋建てフレキシブル住宅 (15坪タイプ) ・景観配慮型 平屋建てフレキシブル住宅 (20坪タイプ)	(株) 家元	金沢市	(株) 家元	金沢市
A22 B15	沢野建設工房 + JBN(一社) 石川県 工務店協会	(株) 沢野建設工房	・いしかわ和らぐバリアフリー ・いしかわ和らぐファミリー	JBN(一社) 石川県工務店協会		(株) 沢野建設工房	かほく市
A23 B19	芳賀沼製作 + kyma	(株) 芳賀沼製作	・まちと連続する小さな住まい(平屋) ・まちと連続する小さな住まい(2階)	(株) 芳賀沼製作	輪島市	(株) kyma	金沢市
A24 B16	(株) アントール	(株) アントール	・16坪 平屋プラン ・24坪 二階建てプラン	(株) アントール	七尾市	(株) アントール	七尾市
A25 B7	タマダ(株) ・(株) ビーエムシー	タマダ(株)	・CONNECTIA(コネクティア) ・CONNECTIA(コネクティア)	タマダ(株)	金沢市	ビーエムシー建築 設計事務所	愛知県
A26 B14	さくらホームグループ (株) AXS デザイン	(株) AXS デザイン	・cutto with(キュット ウイズ)4018 ・SHIFT(シフト)4524	(株) AXS デザイン	金沢市	(株) AXS デザイン	金沢市
A27 B12	ひまわりほーむ	(株) ひまわりほーむ	・防災・高基礎平屋18坪 ・耐震・省エネ高基礎平屋25坪	(株) ひまわりほーむ	金沢市	(株) ひまわりほーむ 設計室 石川	金沢市
A28 B21	ひまわりほーむ + JBN(一社) 石川県 工務店協会	(株) ひまわりほーむ	・JBN・平屋建物PLAN 20T断熱6・準耐 火・耐震2以上 ・JBN 2階建 27T・断熱6・準耐火・耐震 2以上	JBN(一社) 石川県工務店協会		(株) ひまわりほーむ 設計室 石川	金沢市
B2	家元・坂茂建築設計 グループ	(株) 家元	DLT復興住宅	(株) 家元	金沢市	(株) 坂茂建築設計	東京都
B27	ひまわりほーむグループ + JBN(一社) 石川県 工務店協会	(株) ひまわりほーむ	耐震「最高等級3」省エネ「最高等級7」高基 礎(積雪・水害)太陽光(5kw)	JBN(一社) 石川県工務店協会		(株) ひまわりほーむ 設計室 石川	金沢市

※ JBN(一社) 石川県工務店協会

(株) 中部ジェイ・シー、(株) ひまわりほーむ、(株) 大島、LANDER WORKS、(株) リッツインターナショナルオールワークス、(株) たくみ工務店、(株) 梶谷建設、
相川建設(株)、(株) 沢野建設工房、(株) 宮崎工建、宮川内装工事(株)
津幡木材(株)、山岸建設工業(株)、(株) アライホーム、(株) トモ工建業、(株) サンリーハウス、(株) 村田建工、今村建設産業(株)、(株) 岡田工務店、オリジナルウッ
ド、(株) サンエキ、(株) 喜多建設、(株) DEN

〈参考〉支援制度等に関するお問い合わせ先
「住まいの再建支援策」 お問い合わせ電話番号一覧
〈①⑤⑥⑦は被災時にお住まいだった市町に申請をお願いします〉

	①被災者生活再建支援金	②自宅再建利子助成給付金 ③臨時特例給付金 ④二重ローンの負担軽減	⑤民間賃貸住宅入居助成 ⑥公営住宅入居助成 ⑦転居助成
金沢市	生活支援課 076-220-2292	〈自宅再建利子助成給付金〉 石川県生活再建支援課 076-225-1962 〈臨時特例給付金〉 給付金コールセンター 076-225-1956 〈二重ローンの負担軽減〉 石川県生活再建支援課 076-225-1962	住宅政策課 076-220-2553
七尾市	総合支援窓口 0570-200-491		都市建築課 0767-53-8429
小松市	ふれあい福祉課 0761-27-8051		建築住宅課 0761-24-8095
輪島市	被災者生活再建支援課 0768-23-4871		被災者生活再建支援課 0768-23-4871
珠洲市	危機管理室 0768-82-7725		⑤⑥ー ⑦ 市民相談室 070-2650-2042
加賀市	福祉政策課 0761-72-7854		建築課 0761-72-7936
羽咋市	災害復興推進室 0767-22-7156		⑤⑦災害復興推進室 0767-22-7156 ⑥ 地域整備課 0767-22-1119
かほく市	防災環境対策課 076-283-7124		都市建設課 076-283-7104
白山市	危機管理課 076-274-9536		建築住宅課 076-274-9567
能美市	福祉課 0761-58-2230		ー
野々市市	総務課、福祉総務課 076-227-6051		ー
川北町	総務課 076-277-1111		⑤⑦町民課 076-288-2124 ⑥ 都市建設課 076-288-6703
津幡町	総務課 076-288-2120		⑤⑦企画課 076-286-6727 ⑥ 都市建設課 076-286-6710
内灘町	総務課 076-286-6720		まち整備課 0767-32-9211
志賀町	環境安全課 0767-32-9321		地域整備課 0767-29-8160
宝達志水町	健康福祉課 0767-28-5506 被災者支援総合窓口 0767-28-8112		土木建設課 0767-72-3921
中能登町	住民窓口課 0767-72-3132		⑤⑦復旧復興対策室 0768-52-0934 ⑥ 地域整備課 0767-52-3680
穴水町	住民福祉課 0768-52-3621		建設水道課 0768-62-8523
能登町	住民課 0768-62-8510		

体制が整った市町から順次掲載します。最新の情報は右のQRコードからご確認ください。
 石川県生活再建支援課 076-225-1962



「耐震改修・宅地復旧支援制度」お問い合わせ電話番号一覧

	耐 震 改 修		宅 地 復 旧	
金沢市	建築指導課	076-220-2059	被災者生活支援総合窓口	076-220-2858
七尾市	都市建築課	0767-53-8429	都市建築課	0767-53-8429
小松市	建築住宅課	0761-24-8106	建築住宅課	0761-24-8106
輪島市	まちづくり推進課	0768-23-1156	まちづくり推進課	0768-23-1156
珠洲市	環境建設課	0768-82-7756	環境建設課	0768-82-7756
加賀市	建築課建築指導室	0761-72-7935	建築課	0761-72-7934
羽咋市	地域整備課	0767-22-9645	すまいの支援窓口	0767-22-7196
かほく市	都市建設課	076-283-7104	都市建設課	076-283-7104
白山市	建築住宅課	076-274-9561	建築住宅課	076-274-9567
能美市	まち整備課	0761-58-2251	まち整備課	0761-58-2251
野々市市	建築住宅課	076-227-6087	建築住宅課	076-227-6087
川北町	土木課	076-277-1108	土木課	076-277-1108
津幡町	都市建設課	076-288-6703	都市建設課	076-288-6703
内灘町	都市建設課	076-286-6710	都市建設課	076-286-6710
志賀町	まち整備課	0767-32-9211	まち整備課	0767-32-9211
宝達志水町	地域整備課	0767-29-8160	地域整備課	0767-29-8160
中能登町	土木建設課	0767-72-3921	土木建設課	0767-72-3921
穴水町	地域整備課	0768-52-3680	地域整備課	0768-52-3680
能登町	建設水道課	0768-62-8523	建設水道課	0768-62-8523

最新の情報は、右のQRコードからご確認ください。
石川県建築住宅課 076-225-1777



『いしかわ21世紀住まいづくり協議会』とは…

県内の住宅生産産業に関わる17団体が石川県にふさわしい豊かな住宅の供給及び住宅環境の整備を促進する目的で、平成13年7月に発足した組織です。

関係団体

- ・一般財団法人 石川県建築住宅センター
- ・一般社団法人 石川県建設業協会
- ・一般社団法人 石川県木造住宅協会
- ・一般社団法人 石川県建築組合連合会
- ・公益社団法人 石川県宅地建物取引業協会
- ・一般社団法人 石川県建築士会
- ・一般社団法人 石川県建築士事務所協会
- ・一般社団法人 プレハブ建築協会中部支部北陸協議会
- ・石川県森林組合連合会
- ・公益社団 石川県木材産業振興協会
- ・石川県生コンクリート工業組合
- ・一般社団法人 石川県左官業組合連合会
- ・石川県電気工事工業組合
- ・石川県管工事協同組合
- ・石川県エクステリア協議会
- ・一般社団法人 石川県設備設計監理協会
- ・石川県住宅建築行政推進協議会

関係機関

- ・石川県土木部建築住宅課
- ・独立行政法人住宅金融支援機構北陸支店

